

函南町 高齢者実態調査
調査結果報告書

令和 2 年 3 月

函 南 町

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象及び調査方法	1
3	調査の実施時期	1
4	配布・回収の結果	1
5	報告書の表記及び注意点について	2
II	高齢者一般調査	3
	調査対象者の基本属性	3
	（1）調査票記入者	3
1	あなたご自身のことや生活状況について	4
	（1）性別	4
	（2）年齢	5
	（3）世帯構成	5
	（4）普段、介護・介助が必要か	6
	（5）現在の暮らしの状況	6
2	からだを動かすことについて	7
	（1）日常の生活動作	7
	（2）運動器の機能低下	8
	（3）転倒リスク	9
	（4）外出状況	11
	（5）閉じこもり傾向	11
	（6）外出回数	13
3	食えることについて	14
	（1）本人の身長・体重	14
	（2）食べにくさ	15
	（3）咀嚼機能の低下	15
	（4）入れ歯の利用状況	17
	（5）共食機会の有無	17
4	毎日の生活について	18
	（1）物忘れ	18

(2) 認知機能の低下について	18
(3) 日常生活の状況	20
(4) I A D Lの低下	21
5 地域での活動について	23
(1) グループ活動等の参加頻度	23
(2) 社会参加	24
6 たすけあいについて	25
(1) たすけあい	25
7 健康について	26
(1) 健康状態	26
(2) 現在の幸福度	26
(3) こころの健康	27
(4) うつ傾向	28
(5) 喫煙状況	29
(6) 病気（治療中又は後遺症）	30
(7) 健康のために心がけていること	31
(8) 健康について知りたいこと	32
(9) 生きがい	33
(10) 今後やってみたいこと	34
(11) 自動車の運転目的	35
(12) 運転免許証の返納	35
8 老人いきいの家について	37
(1) 老人いきいの家の利用状況	37
(2) 今後の施設の在り方	37
9 認知症にかかる相談窓口の把握について	38
(1) 認知症状の有無	38
(2) 認知症の相談窓口	38
10 介護保険サービスについて	39
(1) 必要と思う介護保険サービス	39
11 成年後見制度について	40
(1) 成年後見制度	40
12 人生のしまい方について	41
(1) 人生の最期を迎える場所	41
(2) 人生の最終段階の医療について	42
(3) 自宅療養の心配点	43

Ⅲ 在宅要支援認定者・総合事業対象者調査	45
調査対象者の基本属性	45
（１）調査票記入者	45
１ あなたご自身のことや生活状況について	46
（１）性別	46
（２）年齢	47
（３）認定状況	47
（４）世帯構成	48
（５）普段、介護・介助が必要か	48
（６）現在の暮らしの状況	49
２ からだを動かすことについて	50
（１）日常の生活動作	50
（２）運動器の機能低下	51
（３）転倒リスク	53
（４）外出状況	55
（５）閉じこもり傾向	55
（６）外出回数	57
３ 食べることについて	58
（１）本人の身長・体重	58
（２）食べにくさ	59
（３）咀嚼機能の低下	59
（４）入れ歯の利用状況	61
（５）共食機会の有無	61
４ 毎日の生活について	62
（１）物忘れ	62
（２）認知機能の低下について	62
（３）日常生活の状況	64
（４）I A D Lの低下	65
５ 地域での活動について	67
（１）グループ活動等の参加頻度	67
（２）社会参加	68
６ たすけあいについて	69
（１）「たすけあい」	69
７ 健康について	70
（１）健康状態	70

(2) 現在の幸福度	70
(3) こころの健康	71
(4) うつ傾向	72
(5) 喫煙状況	73
(6) 病気（治療中又は後遺症）	74
(7) 健康のために心がけていること	75
(8) 健康について知りたいこと	76
(9) 生きがい	77
(10) 今後やってみたいこと	78
(11) 自動車の運転目的	79
(12) 運転免許証の返納	79
8 老人いきいの家について	80
(1) 老人いきいの家の利用状況	80
(2) 今後の施設の在り方	80
9 認知症にかかる相談窓口の把握について	81
(1) 認知症状の有無	81
(2) 認知症の相談窓口	81
10 介護保険サービスについて	82
(1) 介護保険サービスの利用経験	82
(2) 介護保険制度について	82
(3) ケアマネジャーについて	83
(4) 必要な介護保険サービス	84
11 成年後見制度について	85
(1) 成年後見制度	85
12 人生のしまい方について	86
(1) 人生の最期を迎える場所	86
(2) 人生の最終段階の医療について	87
(3) 自宅療養の心配点	88
 IV 在宅要介護認定者調査	 89
調査対象者の基本属性	89
(1) 調査票記入者	89
1 調査対象者（あて名）ご本人について	90
(1) 性別	90
(2) 年齢	91
(3) 世帯構成	91

(4) 要介護度	92
(5) 施設等への入所・入居の検討状況	92
2 介護保険サービスについて	94
(1) 介護保険サービスの利用有無	94
(2) 介護保険サービスの利用状況	95
(3) 介護保険サービスの利用経験	97
(4) 介護保険制度全般について	98
(5) ケアマネジャーについて	98
(6) 必要な介護保険サービス	99
3 老人いきいの家について	100
(1) 老人いきいの家の利用状況	100
(2) 施設の在り方	100
4 成年後見制度について	101
(1) 成年後見制度	101
5 人生のしまい方について	102
(1) 人生の最期を迎える場所	102
(2) 人生の最終段階の医療について	103
(3) 自宅療養の心配点	103
6 介護の状況について	105
(1) ご家族やご親族の方からの介護	105
7 主な介護者について	106
(1) 介護を主な理由として、過去1年間に退職した方がいるか	106
(2) 主な介護者の年齢	107
(3) 主な介護者の方が不安に感じる介護等	108
(4) 主な介護者の方の現在の勤務形態	109
(5) 介護をするにあたり、働き方についての調整等をしたか	110
(6) 今後も働きながら介護を続けていけそうか	111

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

高齢者の暮らしや介護の状況、意見・要望等を把握し、「函南町高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査対象及び調査方法

種 類	高齢者一般調査	在宅要支援認定者・ 総合事業対象者調査	在宅要介護認定者調査
調査対象	町内在住の 65 歳以上の方	町内在住の要支援認定者 及び総合事業対象者	町内在住の要介護認定者
調査方法	郵送配布・郵送回収		

3 調査の実施時期

令和2年1月9日～令和2年1月21日まで

4 配布・回収の結果

種 類	高齢者一般調査	在宅要支援認定者・ 総合事業対象者調査	在宅要介護認定者調査
発送数	8 0 0	2 0 0	2 0 0
回収数	5 6 7	1 4 3	1 1 7
有効回収数	5 6 5	1 4 0	1 1 6
有効回収率	70.6%	71.5%	58.0%

※有効回収数・・・回収された調査票を精査し、白票や回答が著しく少なかったものを除いた数

5 報告書の表記及び注意点について

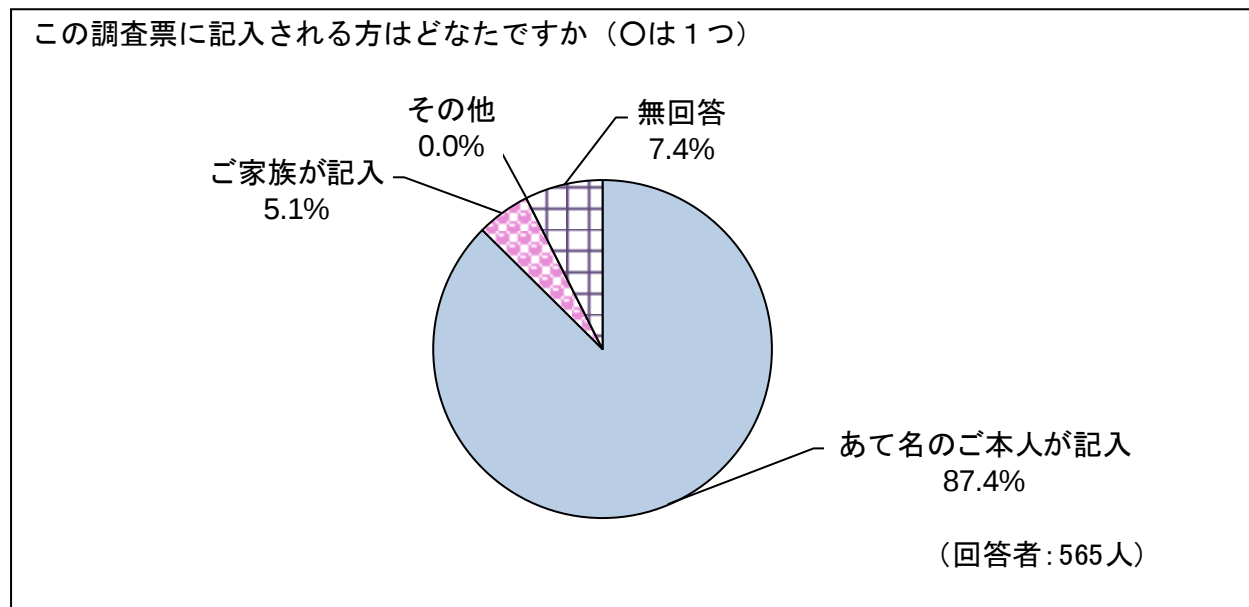
1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（％）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているので、回答比率の合計は100.0%を超える場合がある。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表している場合がある。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「回答者」と表記し、その数を表している。

Ⅱ 高齡者一般調査

Ⅱ 高齢者一般調査

調査対象者の基本属性

(1) 調査票記入者

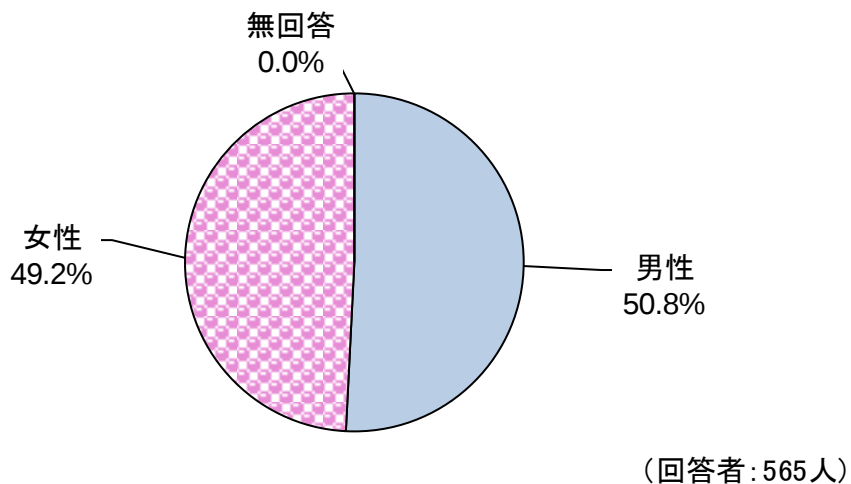


調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」が 87.4%、「ご家族が記入」が 5.1%となっている。

1 あなたご自身のことや生活状況について

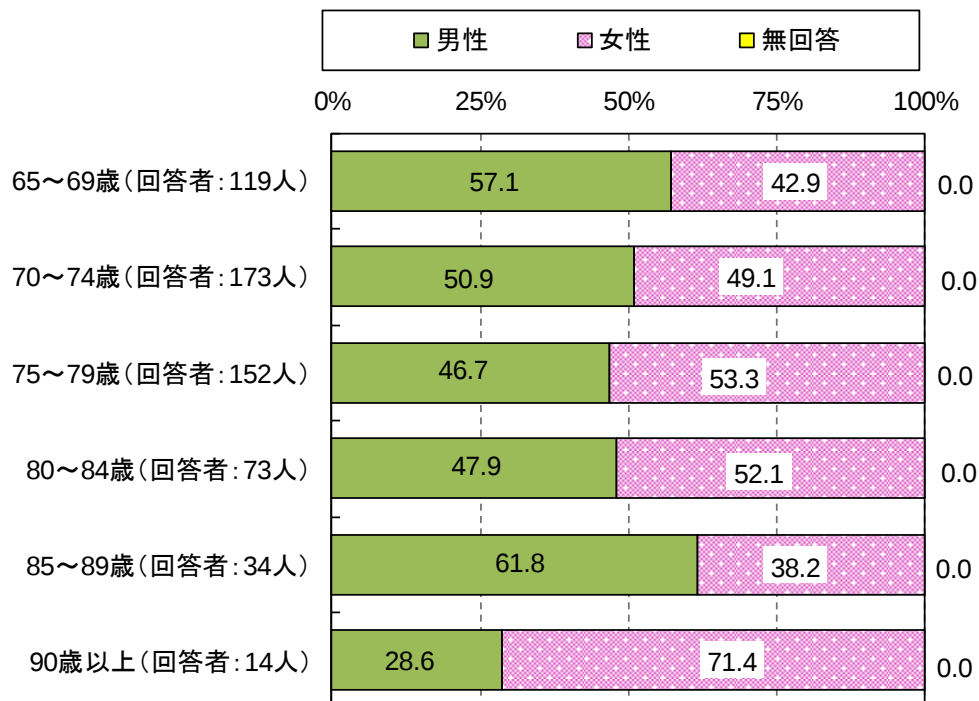
(1) 性別

問1 性別は、どちらですか。(○は1つ)



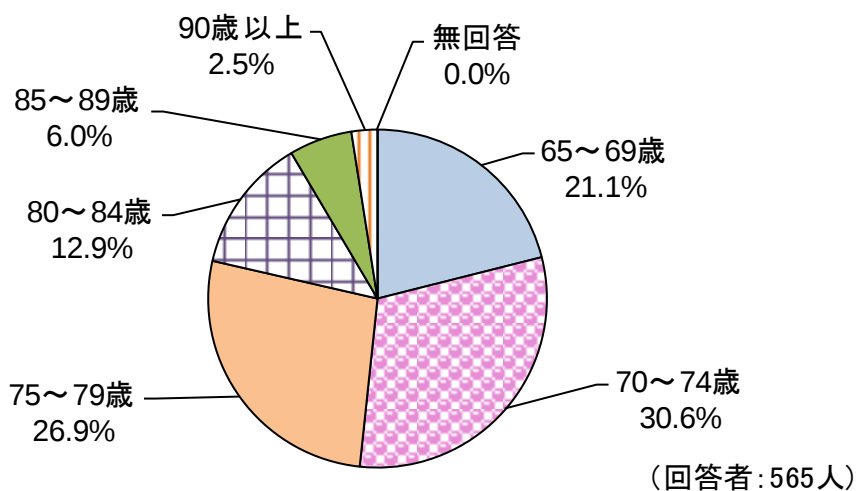
性別は、「男性」が50.8%、「女性」が49.2%となっている。

●年齢別男女比



(2) 年齢

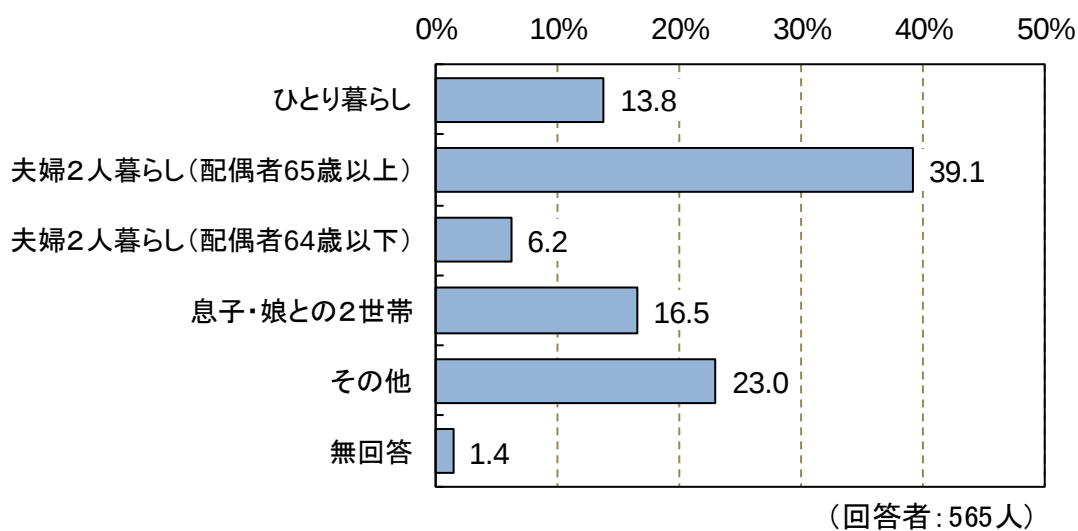
問2 年齢は、おいくつですか。(令和2年1月1日現在の年齢でお答えください。)



年齢は、「70～74歳」が30.6%で最も多く、次いで「75～79歳」(26.9%)、「65～69歳」(21.1%)、「80～84歳」(12.9%)、「85～89歳」(6.0%)、「90歳以上」(2.5%)となっている。

(3) 世帯構成

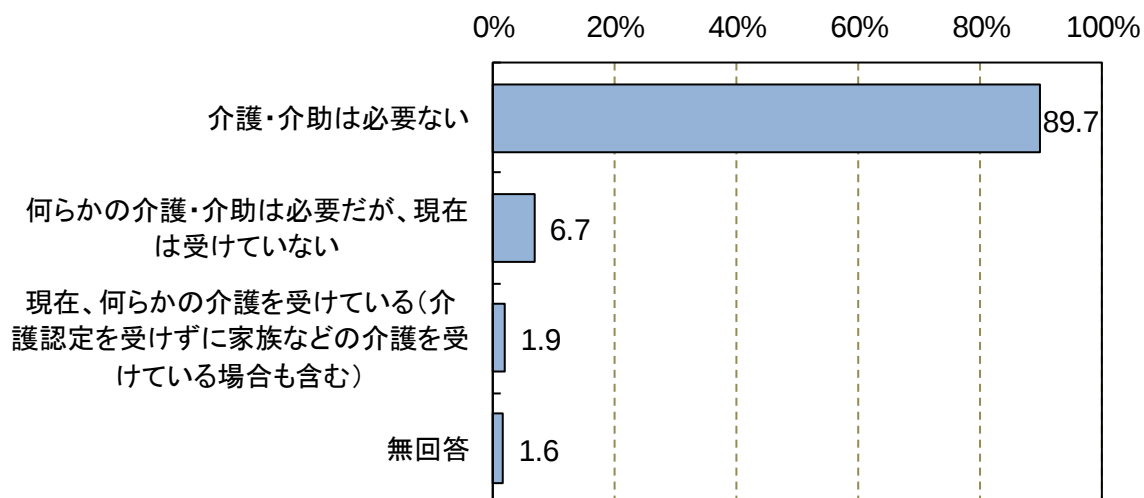
問3 ご家庭の世帯構成は、次のどれですか。(〇は1つ)



世帯構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が39.1%と最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」(16.5%)、「ひとり暮らし」(13.8%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(6.2%)となっている。

(4) 普段、介護・介助が必要か

問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

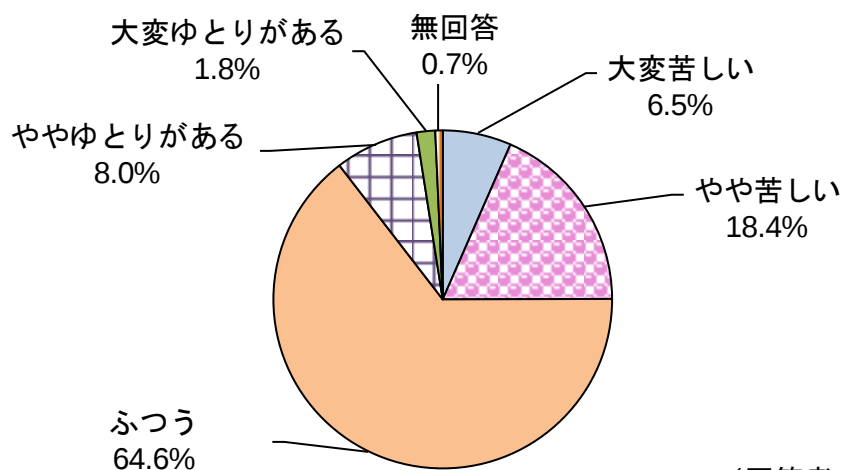


(回答者: 565人)

普段の生活で介護・介助が必要かでは、89.7%が「介護・介助は必要ない」と回答している。その他、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(6.7%)、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」(1.9%)となっている。

(5) 現在の暮らしの状況

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)



(回答者: 565人)

現在の暮らしの状況では、「ふつう」という回答が64.6%で最も多くなっている。

また、「大変苦しい」(6.5%)、「やや苦しい」(18.4%)を合わせると、24.9%が苦しいと回答している。

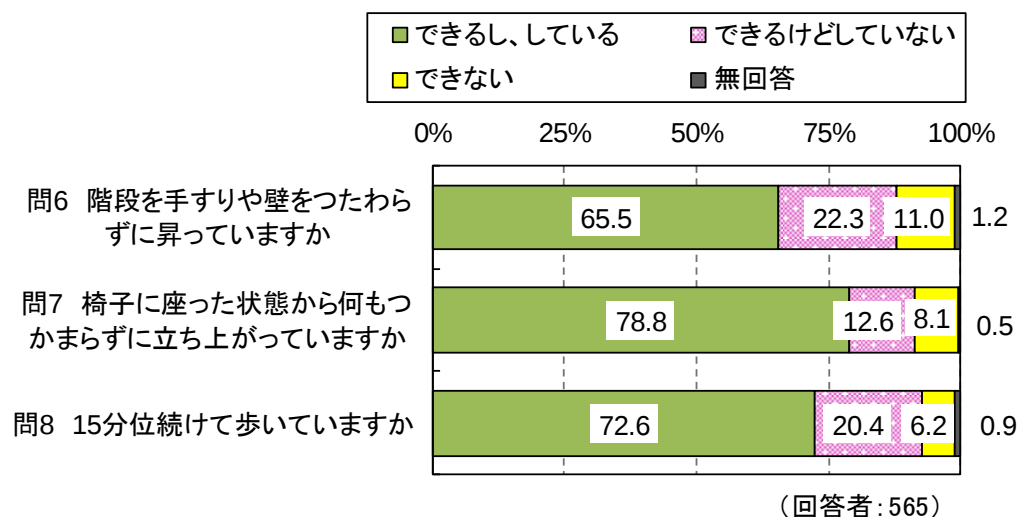
2 からだを動かすことについて

(1) 日常の生活動作

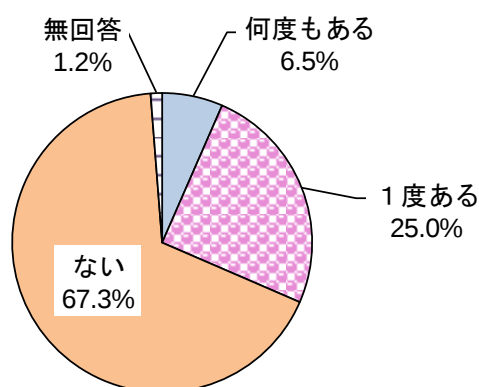
問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

問7 椅子に座った状態から、何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

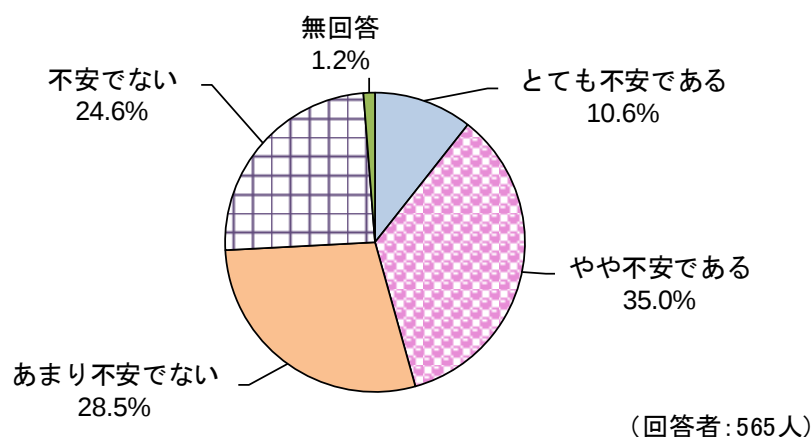
問8 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)



問9 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)



問10 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

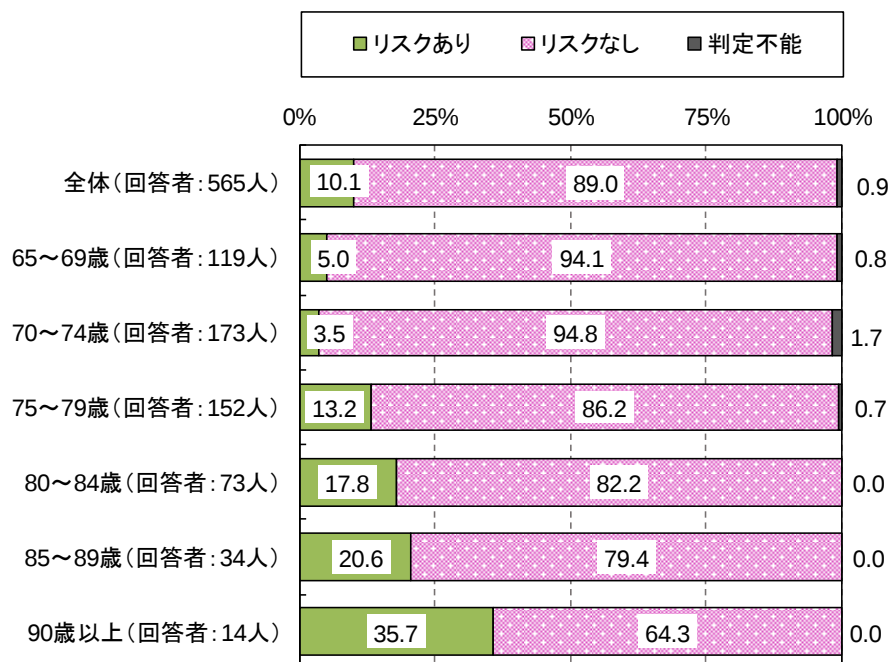


問6～10は運動器の機能低下を問う設問です。各項目の該当割合は、「問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」(11.0%：「できない」)、「問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」(8.1%：「できない」)、「問8 15分位続けて歩いていますか」(6.2%：「できない」)、「問9 過去1年間に転んだ経験がありますか」(6.5%：「何度もある」、25.0%：「1度ある」)、「問10 転倒に対する不安は大きいですか」(10.6%：「とても不安である」、35.0%「やや不安である」)となっており、これらの設問で、3問以上該当すると、運動機能が低下していると判定される。

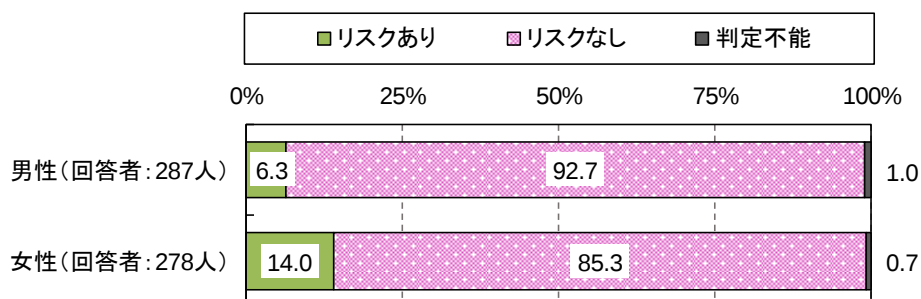
また、「過去1年間に転んだ経験がありますか」において(6.5%：「何度もある」、25.0%：「1度ある」)と回答した場合は、転倒リスクがあると判定される。

(2) 運動器の機能低下

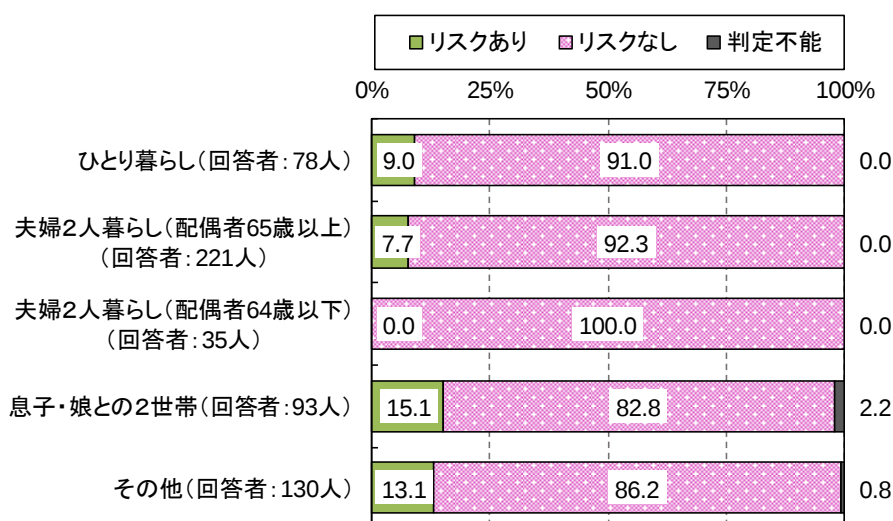
●年齢別運動器の機能低下状況



●男女別運動器の機能低下状況



●世帯構成別運動器の機能低下状況



運動器の機能低下は、全体の 10.1% が該当者となっている。

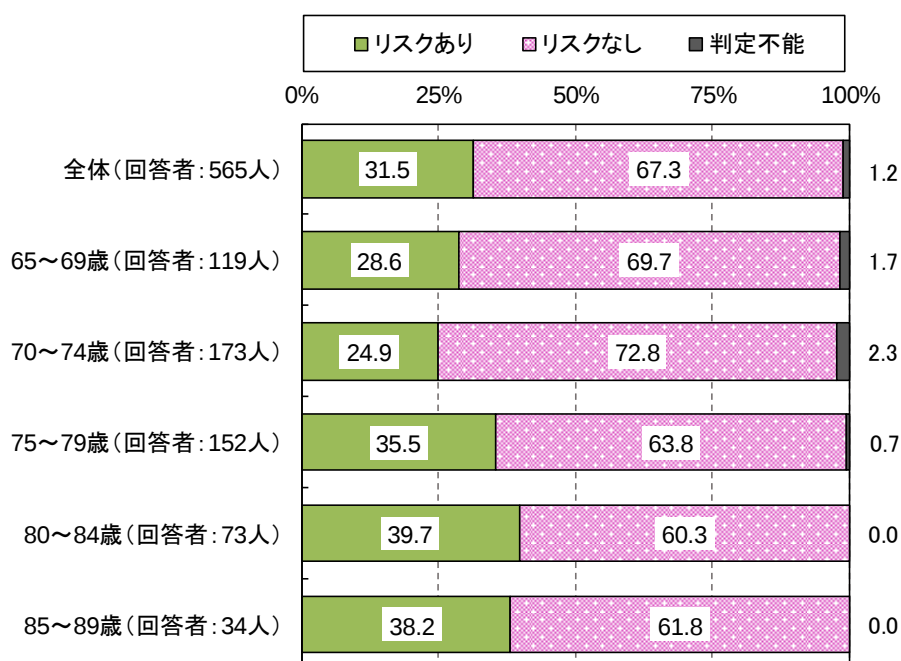
年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなる傾向にあり、90 歳以上の 35.7% が該当者となっている。

男女別では、「男性」の 6.3%、「女性」の 14.0% が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

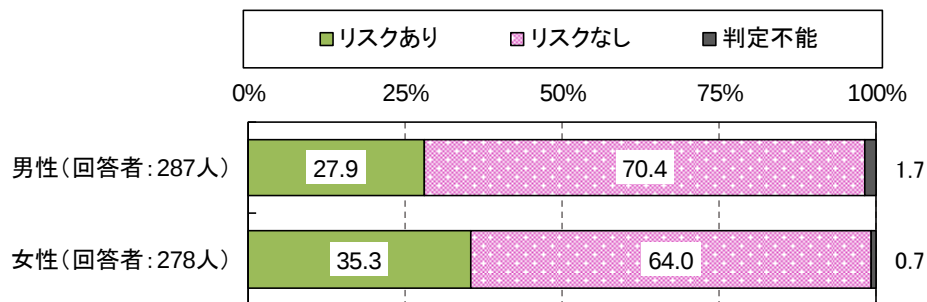
世帯構成別では、「息子・娘との2世帯」の 15.1% が該当者となっている。

(3) 転倒リスク

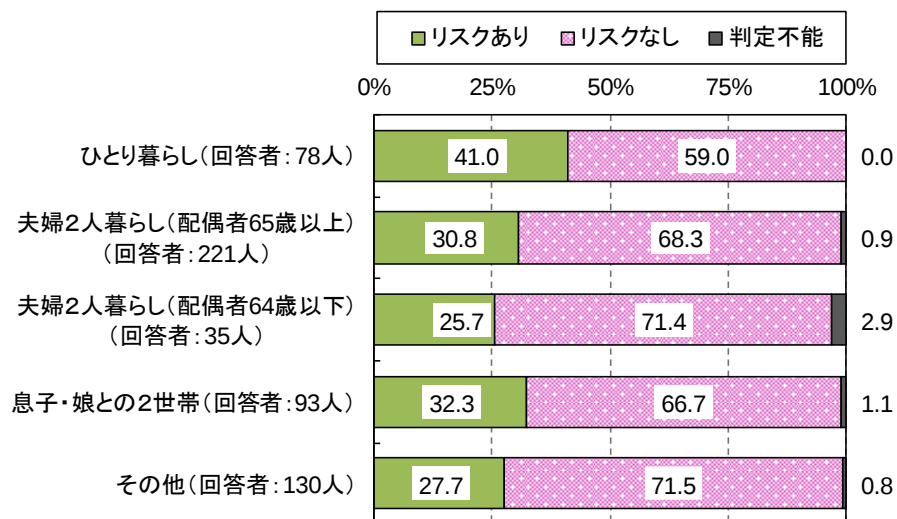
●年齢別転倒リスク状況



●男女別転倒リスク状況



●世帯構成別転倒リスク状況



転倒リスクは、全体の31.5%が該当者となっている。

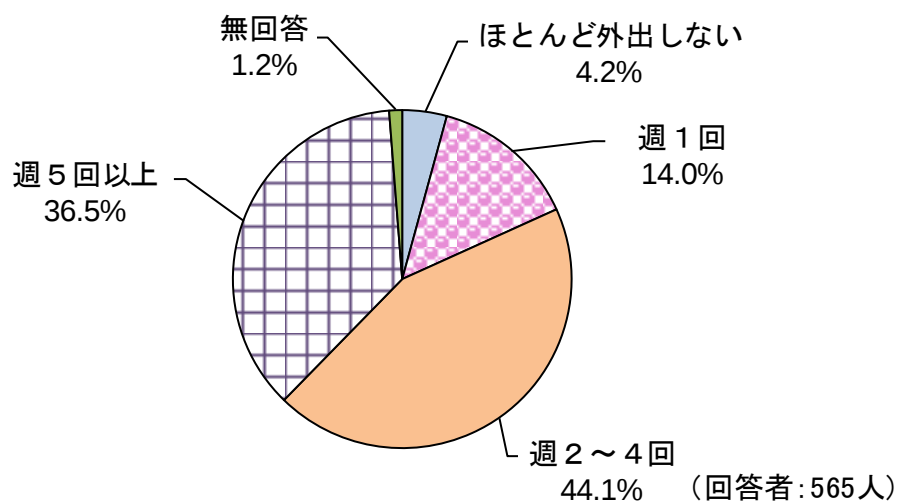
年齢別では、後期高齢者の3割以上にリスクがあり、80歳以上では約4割が該当者となっている。

男女別では、「男性」の27.9%、「女性」の35.3%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

世帯構成別では、「ひとり暮らし」の41.0%が該当者となっている。

(4) 外出状況

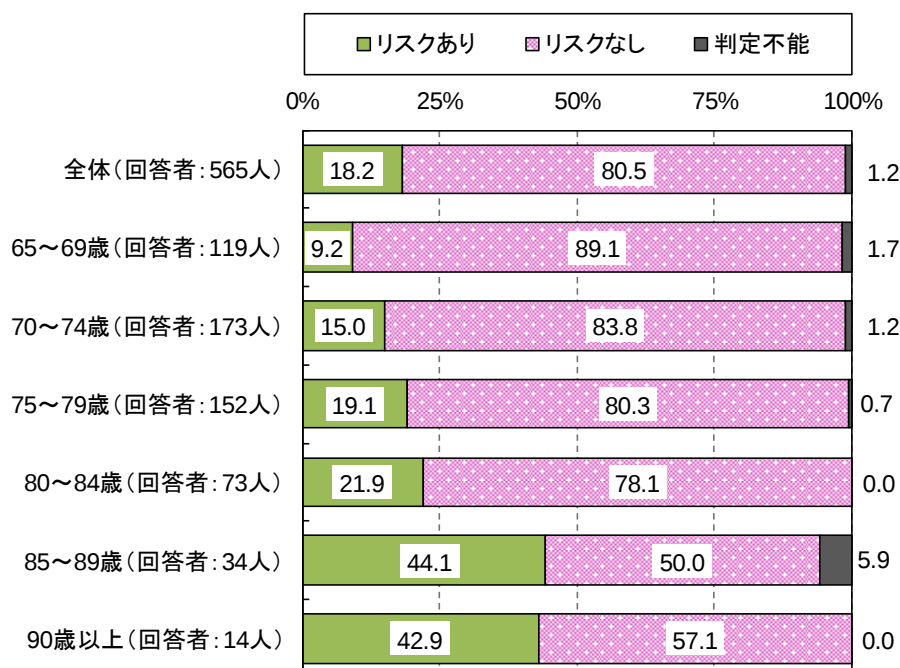
問 11 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)



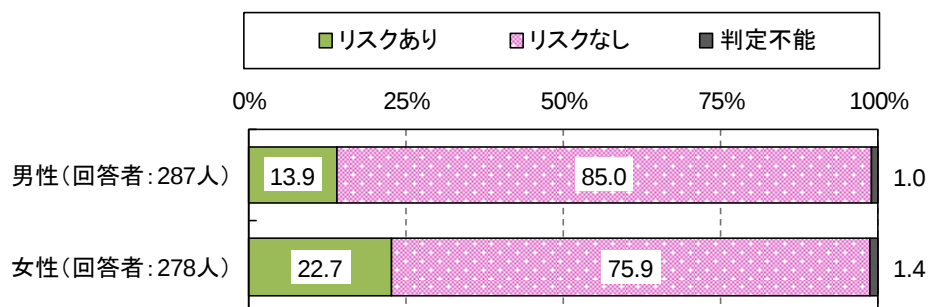
問 11 は、閉じこもり傾向を問う設問です。「問 11 週に1回以上は外出していますか」において(4.2% : 「ほとんど外出していない」、14.0% : 「週1回」と回答した場合は、閉じこもりリスクがあると判定される。

(5) 閉じこもり傾向

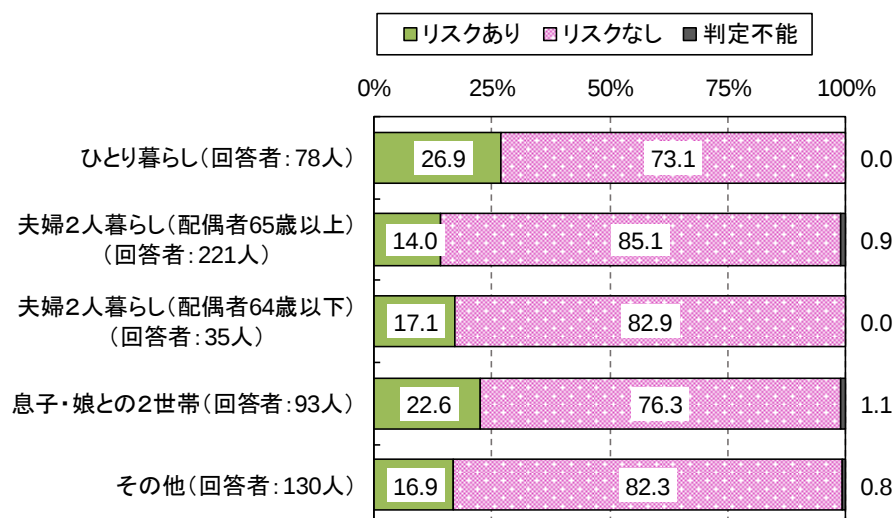
●年齢別閉じこもり傾向



●男女別閉じこもり傾向



●世帯構成別閉じこもり傾向



閉じこもり傾向は、全体の 18.2% が該当者となっている。

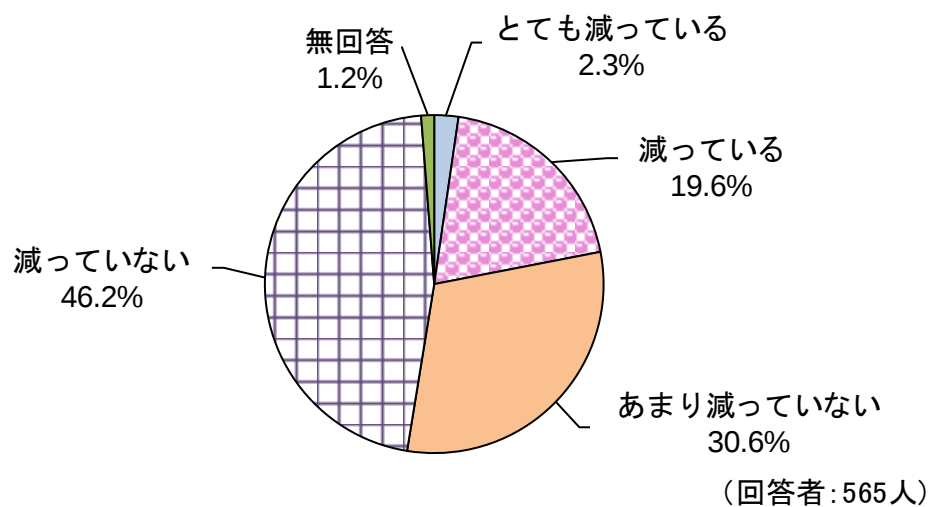
年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85 歳以上では、4 割以上が該当者となっている。

男女別では、「男性」の 13.9%、「女性」の 22.7% が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

世帯構成別では、「ひとり暮らし」の 26.9% が該当者となっている。

(6) 外出回数

問 12 昨年と比べて、外出の回数が減っていますか。(○は1つ)



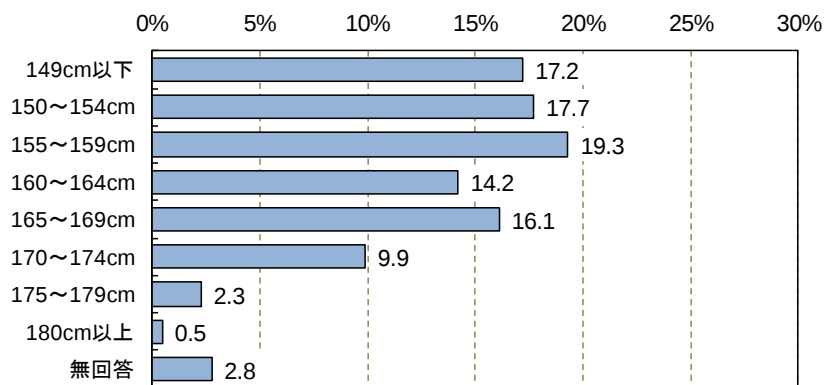
昨年と比べて外出の回数が減っているかは、「とても減っている」(2.3%)、「減っている」(19.6%)を合わせると、21.9%が減っている回答している。また、「減っていない」(46.2%)、「あまり減っていない」(30.6%)を合わせると、76.8%が減っていないと回答している。

3 食べることについて

(1) 本人の身長・体重

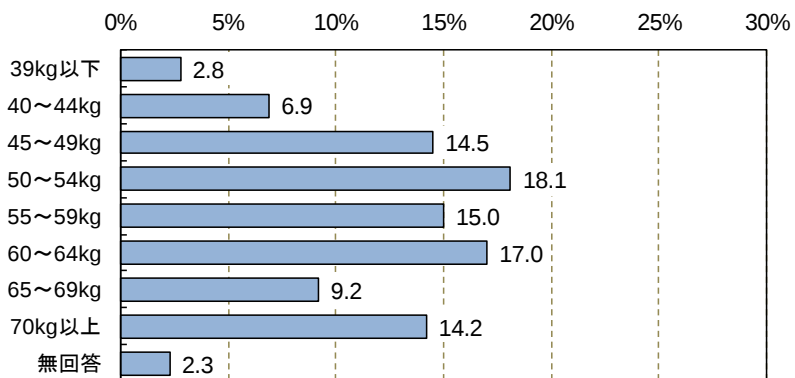
問13 身長と体重を教えてください。(数字で記入してください)

身長



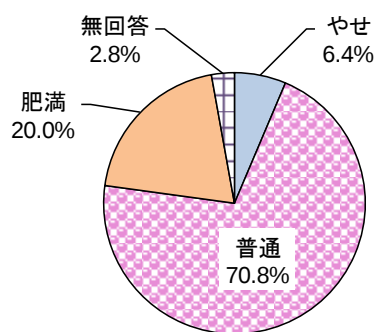
(回答者:565人)

体重



(回答者:565人)

BMI



(回答者:565人)

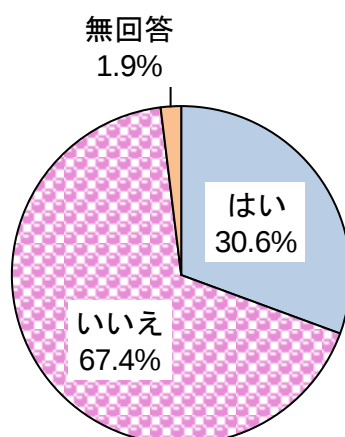
身長は、「155～159cm」が19.3%で最も多く、次いで「150～154cm」(17.7%)、「149cm以下」(17.2%) などとなっている。

体重は、「50～54kg」が18.1%で最も多く、次いで「60～64kg」(17.0%)、「55～59kg」(15.0%) などとなっている。

BMIについては、「18.5～25未満(普通)」が70.8%で最も多く、次いで「25以上(肥満)」(20.0%)、「18.5未満(やせ)」(6.4%) となっている。

(2) 食べにくさ

問 14 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

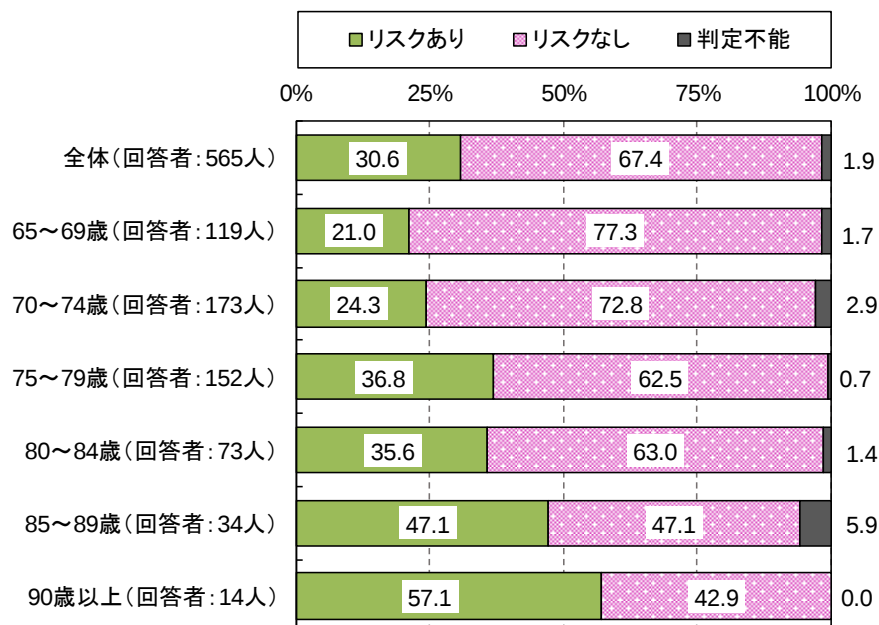


(回答者:565人)

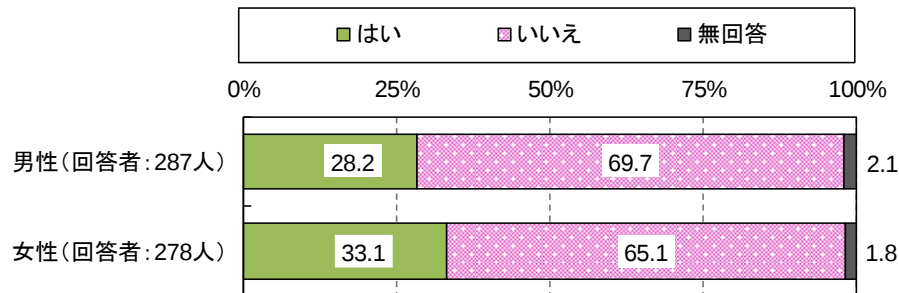
問 14 は咀嚼機能の低下を問う設問です。「問 14 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」(30.6% : 「はい」) と回答した場合は、咀嚼機能の低下があると判定される。

(3) 咀嚼機能の低下

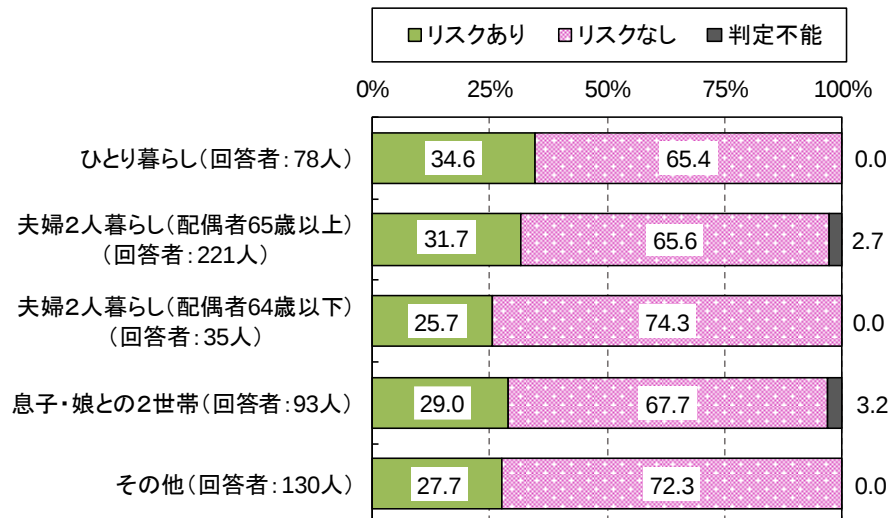
●年齢別咀嚼機能の低下状況



●男女別咀嚼機能の低下状況



●世帯構成別咀嚼機能の低下状況



咀嚼機能低下は、全体の 30.6%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、90 歳以上の 57.1%が該当者となっている。

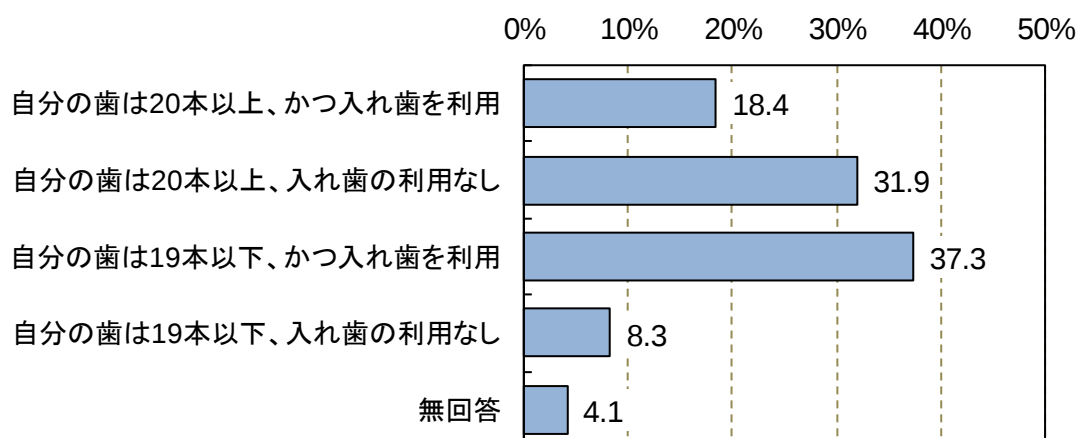
男女別では、「男性」の 28.2%、「女性」の 33.1%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

世帯構成別では、「ひとり暮らし」の 34.6%が該当者となっている。

(4) 入れ歯の利用状況

問 15 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)。(○は 1 つ)

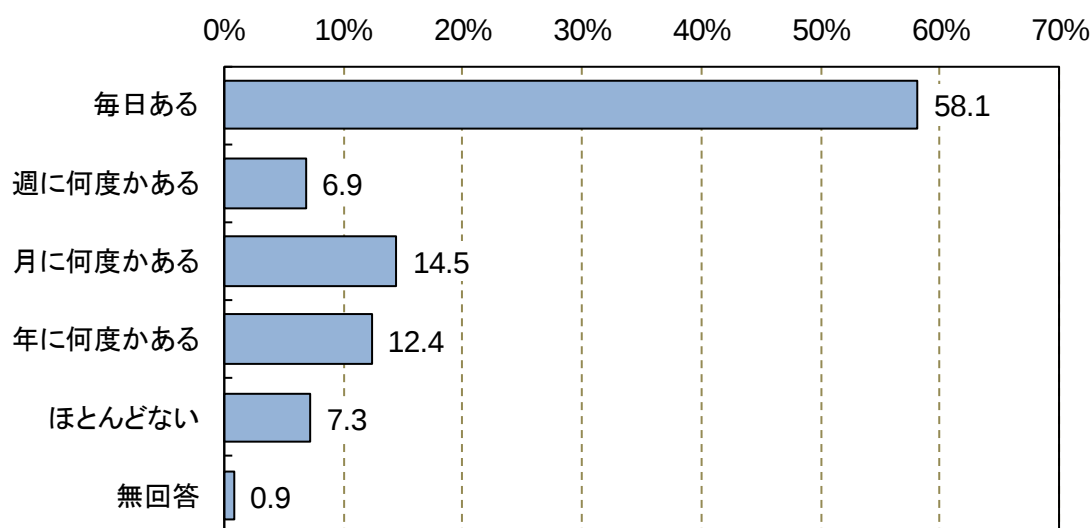


(回答者: 565人)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 37.3%で最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」(31.9%)、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(18.4%)、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」(8.3%)となっている。

(5) 共食機会の有無

問 16 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つ)



(回答者: 565人)

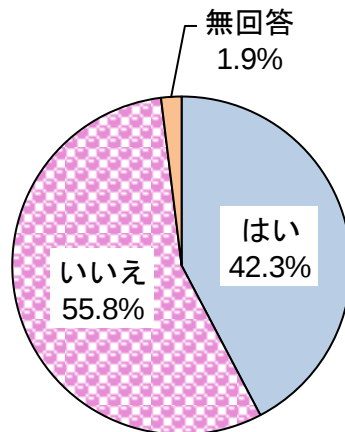
どなたかと食事をとる機会があるかは、「毎日ある」が 58.1%と最も多く、次いで「月に何度かある」(14.5%)、「年に何度かある」(12.4%)、「週に何度かある」(6.9%)となっている。

また、「ほとんどない」という回答も 7.3%あった。

4 毎日の生活について

(1) 物忘れ

問17 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

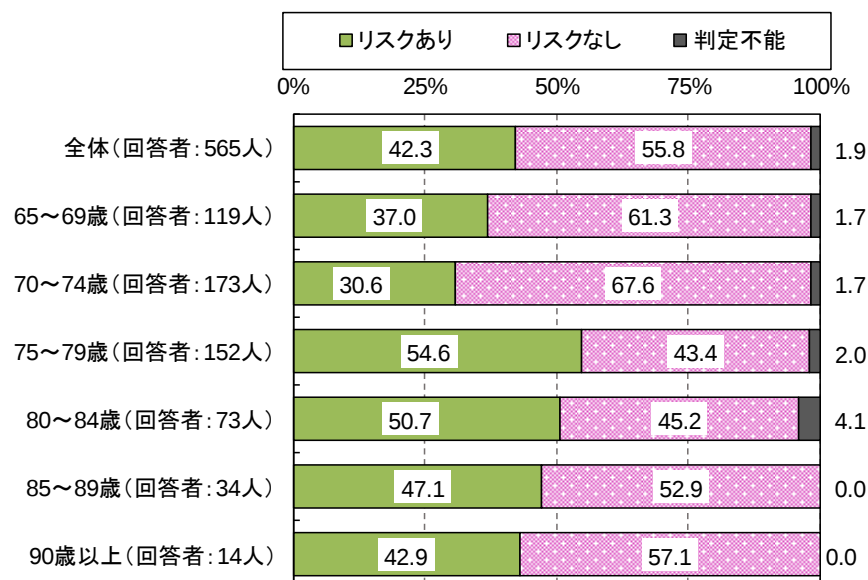


(回答者: 565人)

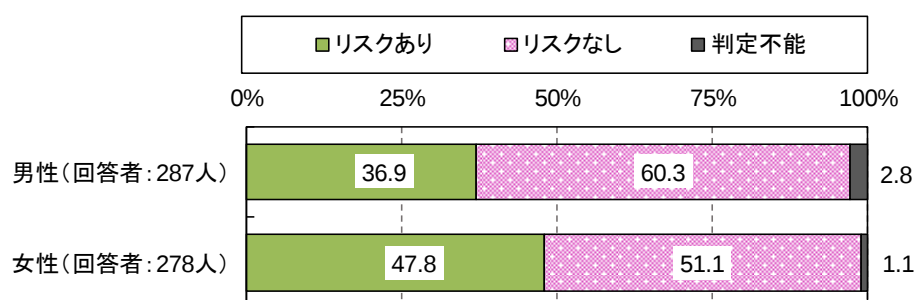
問17は認知機能の低下を問う設問です。「問17 物忘れが多いと感じますか」(42.3% : 「はい」)と回答した場合は、認知機能の低下があると判定される。

(2) 認知機能の低下について

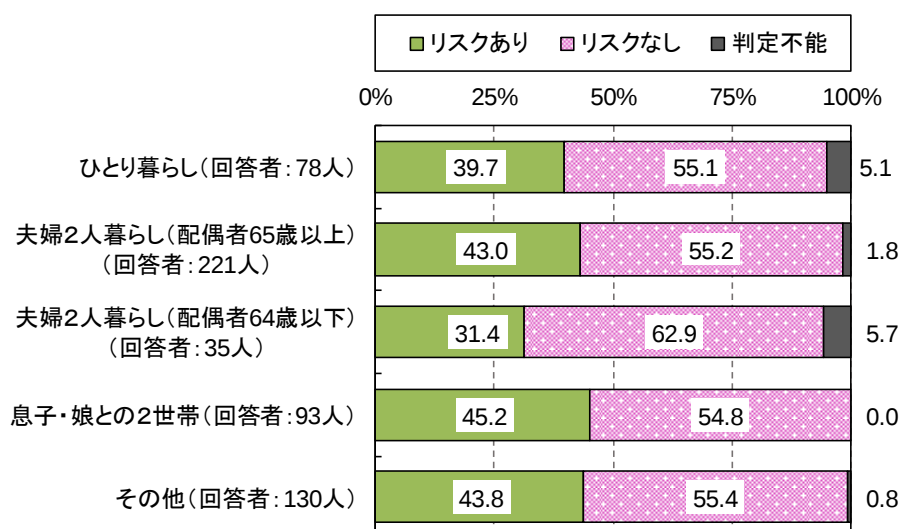
●年齢別認知機能の低下状況



●男女別認知機能の低下状況



●世帯構成別認知機能の低下状況



認知機能の低下は、全体の 42.3%が該当者となっている。

年齢別では、「75～79 歳」に該当者が多く、54.6%が該当者となっている。

男女別では、「男性」の 36.9%、「女性」の 47.8%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

世帯構成別では、「息子・娘との2世帯」の 45.2%が該当者となっている。

(3) 日常生活の状況

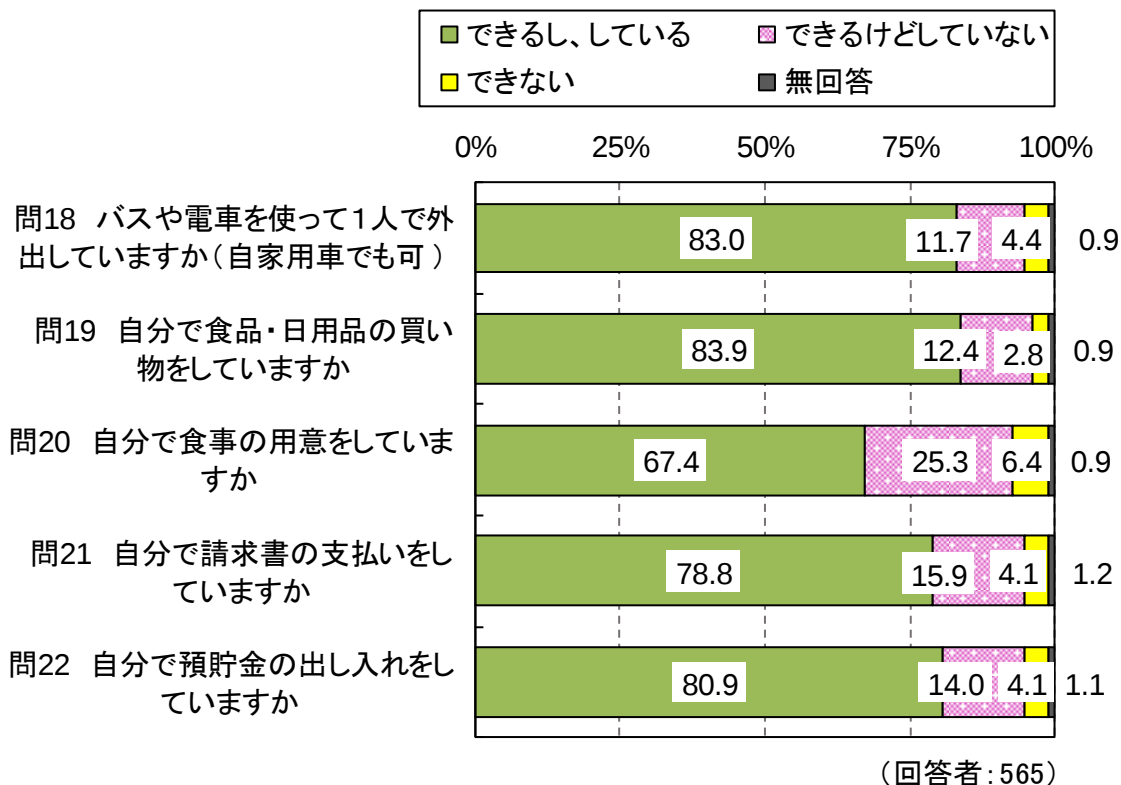
問 18 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（○は1つ）

問 19 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は1つ）

問 20 自分で食事の用意をしていますか。（○は1つ）

問 21 自分で請求書の支払いをしていますか。（○は1つ）

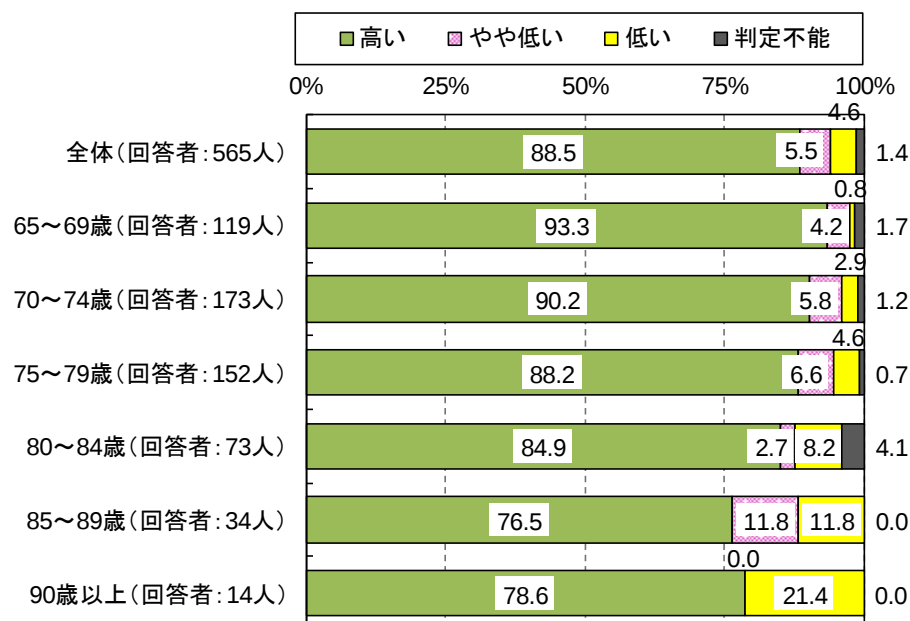
問 22 自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は1つ）



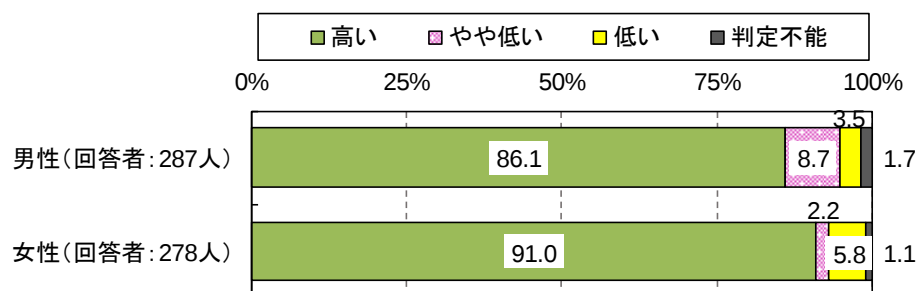
問 18～問 22 は、I A D L の低下を問う設問です。問 18 から問 22 の項目について、「できるし、している」もしくは「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点でI A D L を評価します。（5点：高い、4点：やや低い、3点以下：低い）。「問 18 バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）」（83.0%：「できるし、している」、11.7%：「できるけどしていない」）、「問 19 自分で食品・日用品の買物をしていますか」（83.9%：「できるし、している」、12.4%：「できるけどしていない」）、「問 20 自分で食事の用意をしていますか」（67.4%：「できるし、している」、25.3%：「できるけどしていない」）、「問 21 自分で請求書の支払いをしていますか」（78.8%：「できるし、している」、15.9%：「できるけどしていない」）、「問 22 自分で預貯金の出し入れをしていますか」（80.9%：「できるし、している」、14.0%：「できるけどしていない」）となっている。

(4) IADLの低下

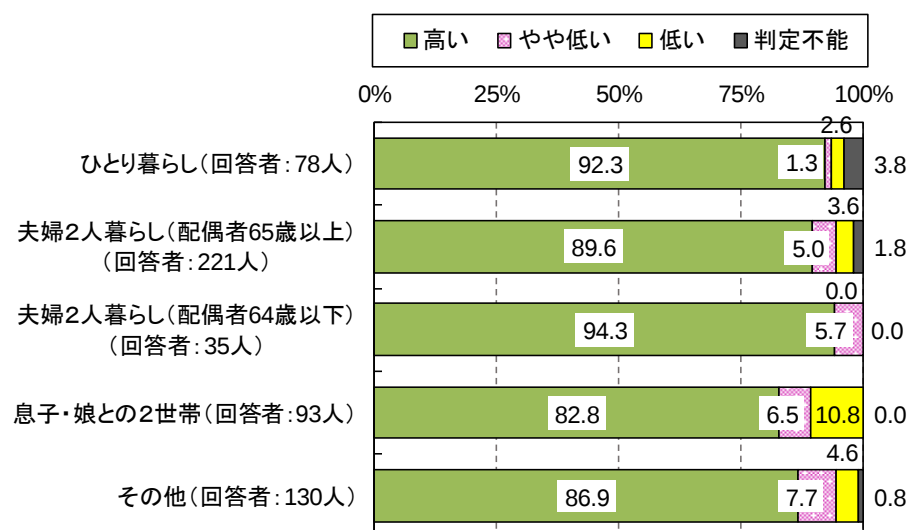
●年齢別 IADLの低下状況



●男女別 IADLの低下状況



●男女別 IADLの低下状況



I A D Lの低下は、「やや低い」、「低い」を低下者とする、全体の 10.1%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85 歳以上の 2 割以上が該当者となっている。

男女別では、「男性」の 12.2%、「女性」の 8.0%が該当者となっており、男性に該当者が多くなっている。

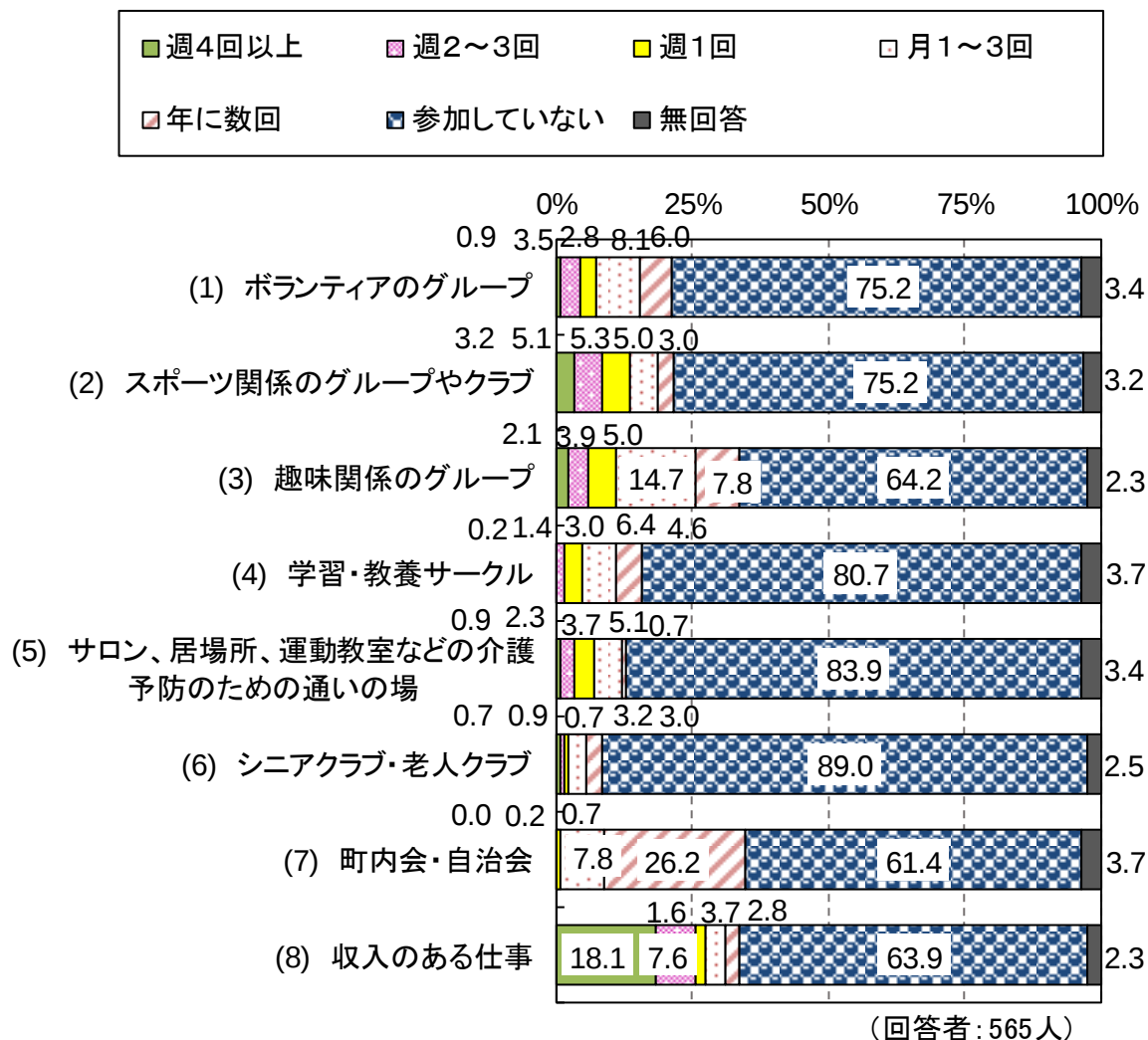
世帯構成別では、「息子・娘との 2 世帯」の 17.3%が該当者となっている。

5 地域での活動について

(1) グループ活動等の参加頻度

問 23 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(○はそれぞれ1つ)

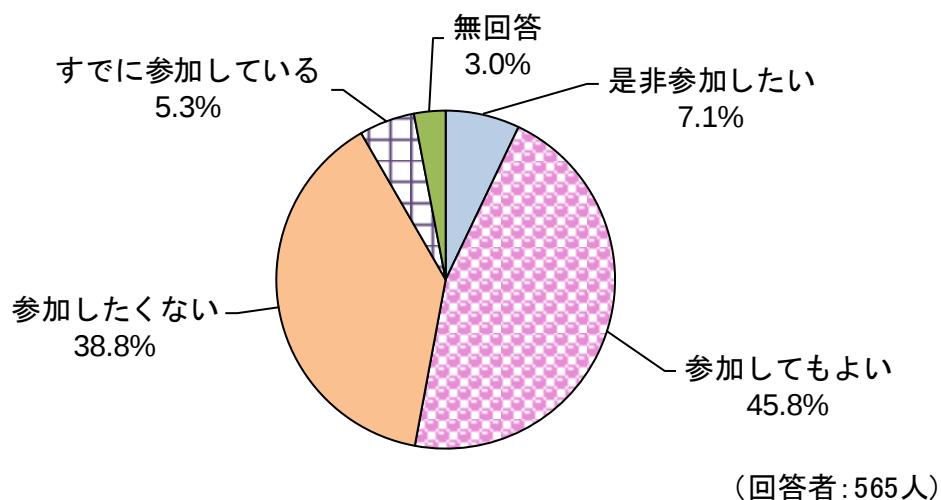


グループ活動等にどのくらいの頻度で参加しているかは、「(7) 町内会・自治会」、「(8) 収入のある仕事」、「趣味関係のグループ」の参加状況が比較的高く、「参加していない」を除いて、3割以上が参加している。

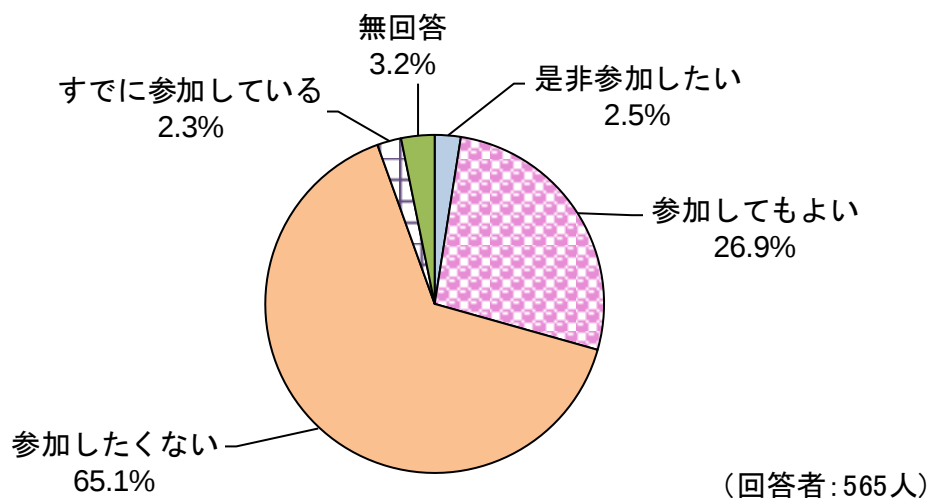
また、「参加していない」という回答が最も多かったのは、「(6) シニアクラブ・老人クラブ」(89.0%)となっている。

(2) 社会参加

問 24 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）



問 25 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）



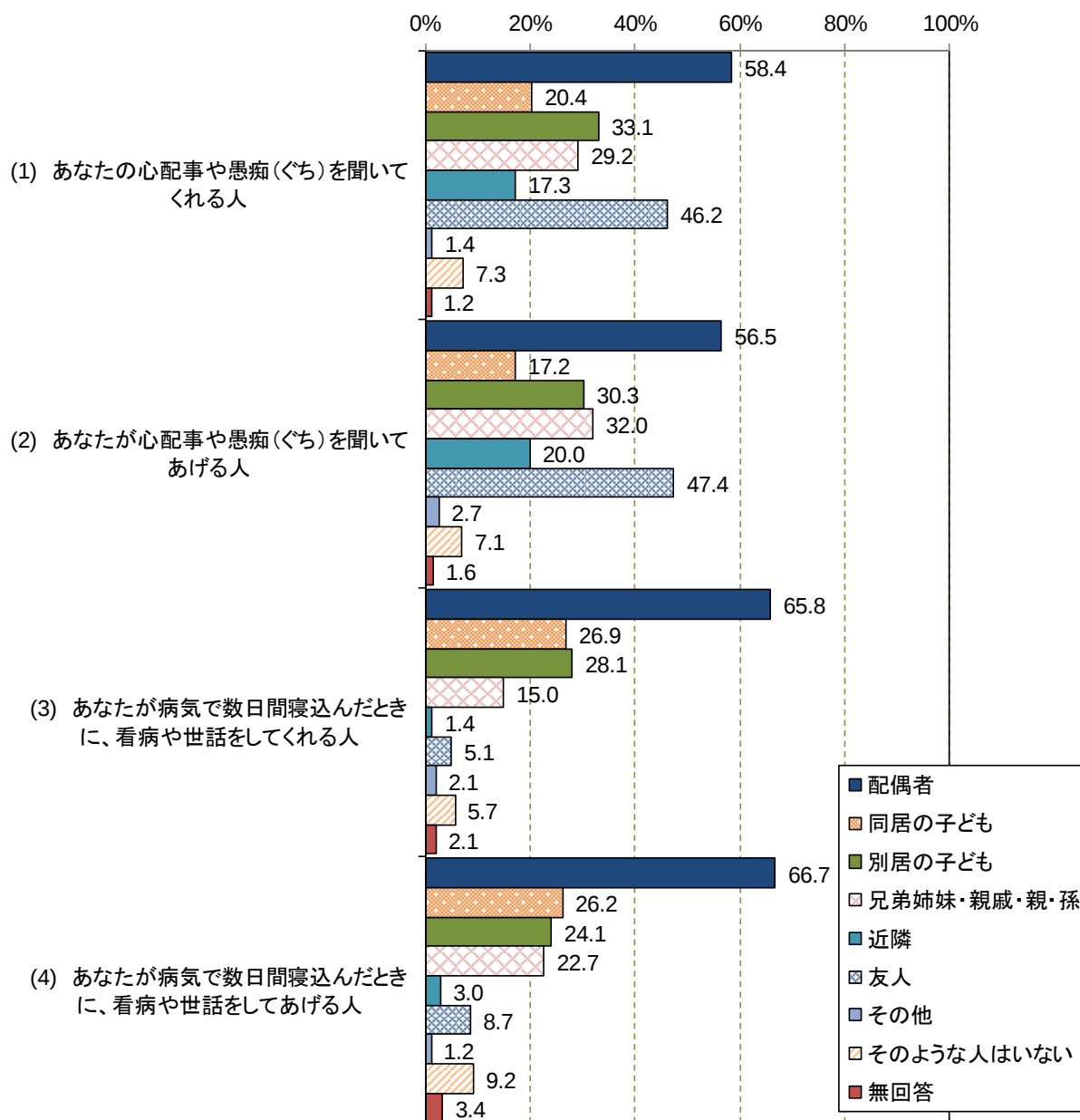
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいかでは、「是非参加したい」(7.1%)、「参加してもよい」(45.8%)を合わせると、52.9%に参加意向がある。

また、企画・運営としての参加意向は、「是非参加したい」(2.5%)、「参加してもよい」(26.9%)を合わせると、29.4%に参加意向がある。

6 たすけあいについて

(1) たすけあい

問 26 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。(○はいくつでも)



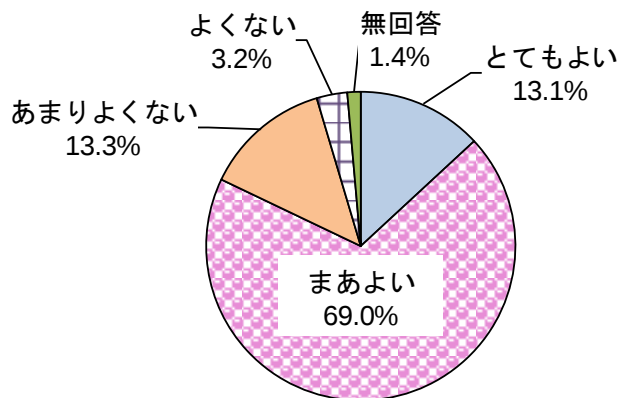
(回答者:565人)

あなたとまわりの人の「たすけあい」については、全ての項目において「配偶者」という回答が最も多くなっている。

7 健康について

(1) 健康状態

問 27 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)



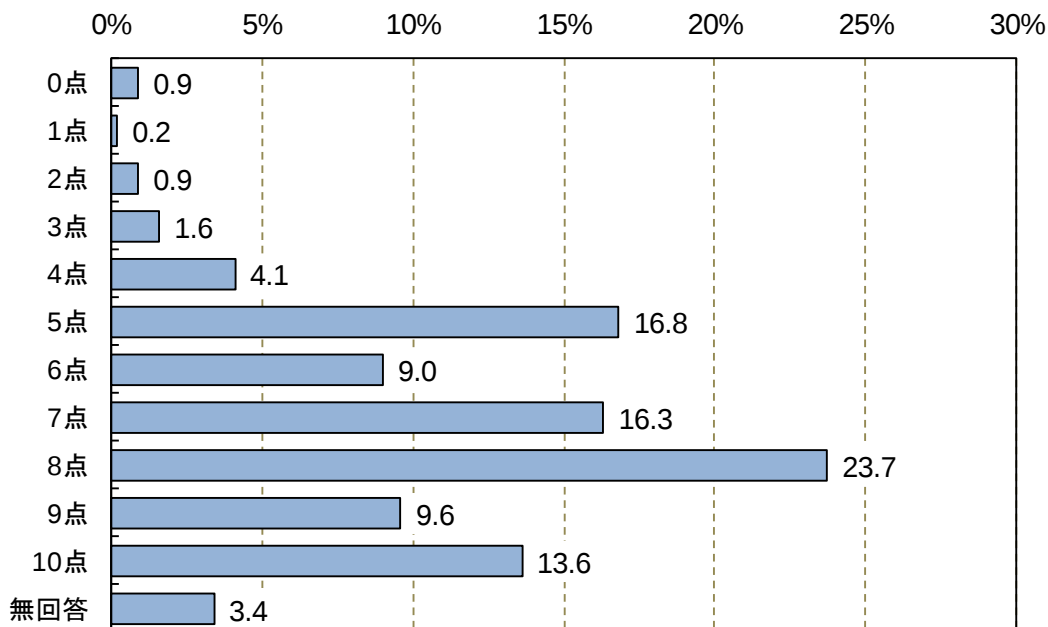
(回答者: 565人)

現在の健康状態は、「とてもよい」(13.1%)、「まあよい」(69.0%)を合わせると、82.1%が健康状態はよいと回答している。また、「よくない」(3.2%)、「あまりよくない」(13.3%)を合わせると、16.5%が健康状態はよくないと回答している。

(2) 現在の幸福度

問 28 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

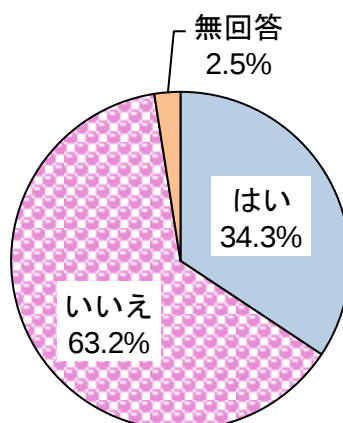


(回答者: 565人)

現在どの程度幸せかは、「8点」が23.7%と最も多く、次いで「5点」(16.8%)、「7点」(16.3%)と続いており、5点以上の回答が9割以上となっている。

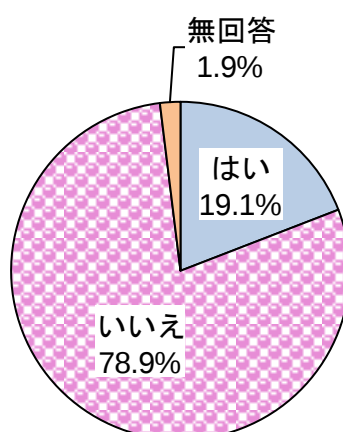
(3) こころの健康

問 29 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)



(回答者: 565人)

問 30 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

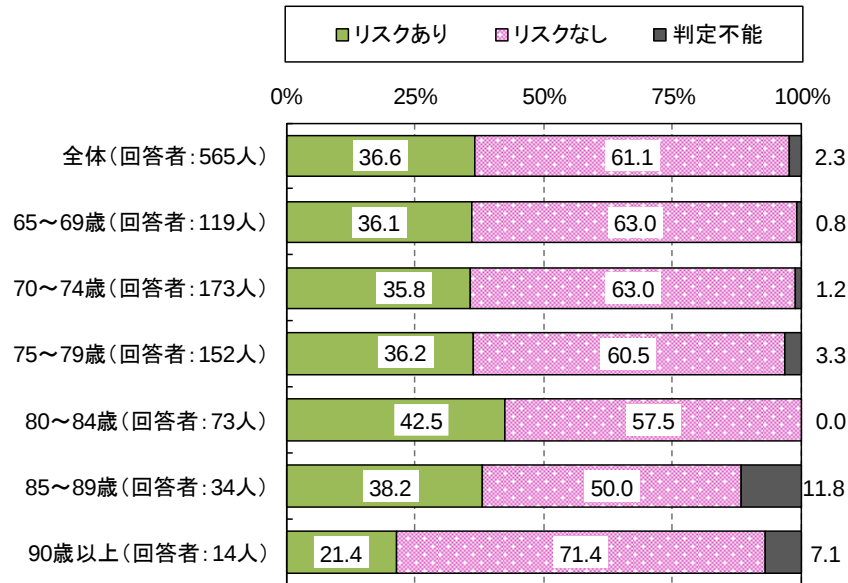


(回答者: 565人)

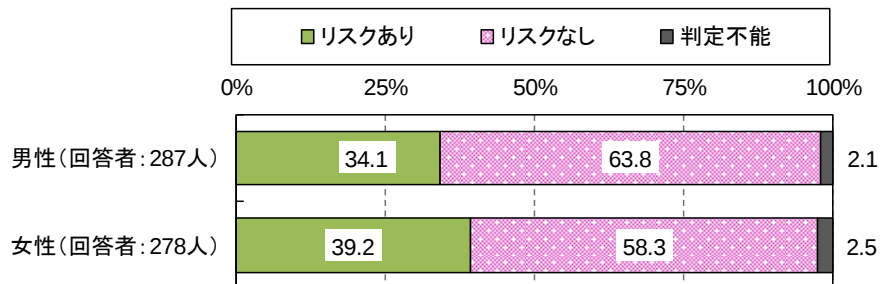
問 29、問 30 はうつ傾向を問う設問です。各項目の該当割合は、「問 29 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」(34.3% : 「はい」)、「問 30 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」(19.1% : 「はい」)となっており、いずれか1つの設問に該当すると、うつ傾向と判定される。

(4) うつ傾向

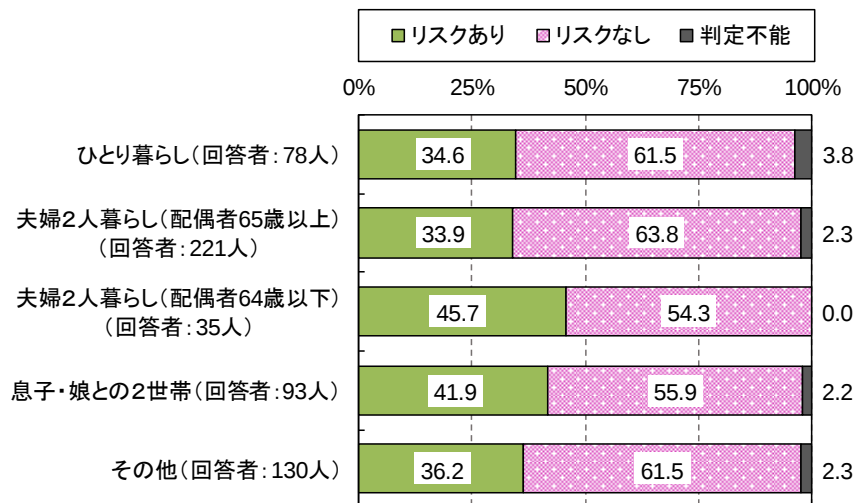
●年齢別うつ傾向



●男女別うつ傾向



●世帯構成別うつ傾向



うつ傾向は、全体の 36.6%が該当者となっている。

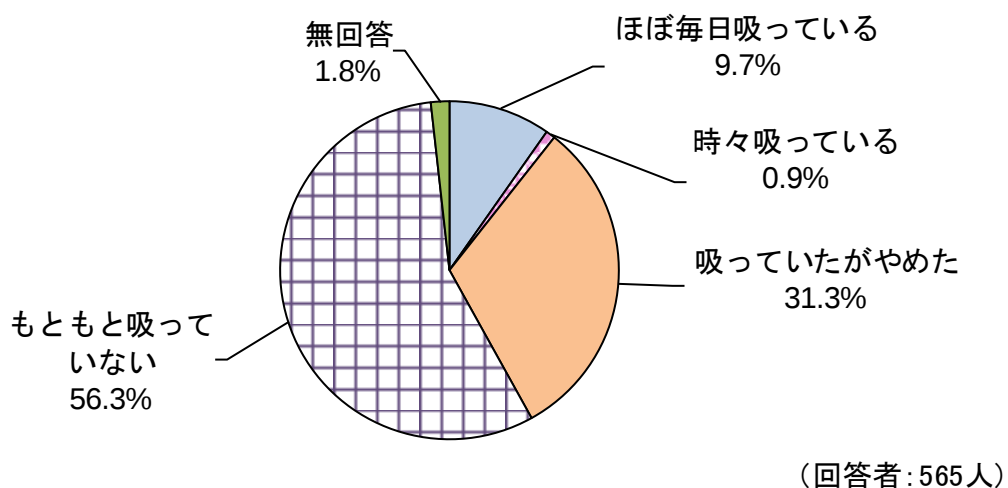
年齢別では、「80～84 歳」で該当者が 4 割を超えている。

男女別では、「男性」の 34.1%、「女性」の 39.2%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

世帯構成別では、「夫婦 2 人暮らし（配偶者 64 歳以下）」の 45.7%が該当者となっている。

（５）喫煙状況

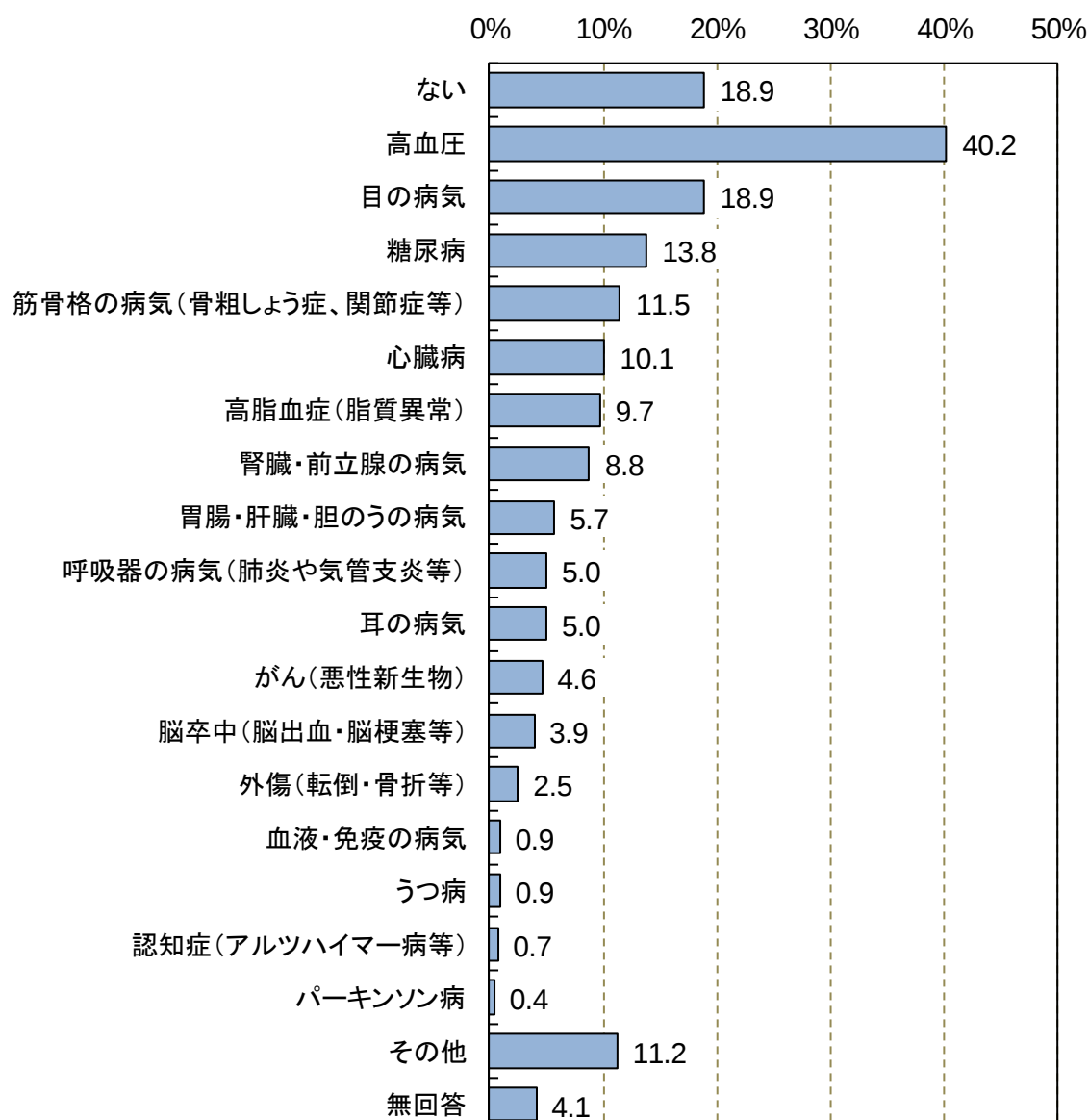
問 31 タバコは吸っていますか。（○は 1 つ）



喫煙については、「もともと吸っていない」が 56.3%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(31.3%)、「ほぼ毎日吸っている」(9.7%)、「時々吸っている」(0.9%) となっている。

(6) 病気（治療中又は後遺症）

問 32 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（〇はいくつでも）



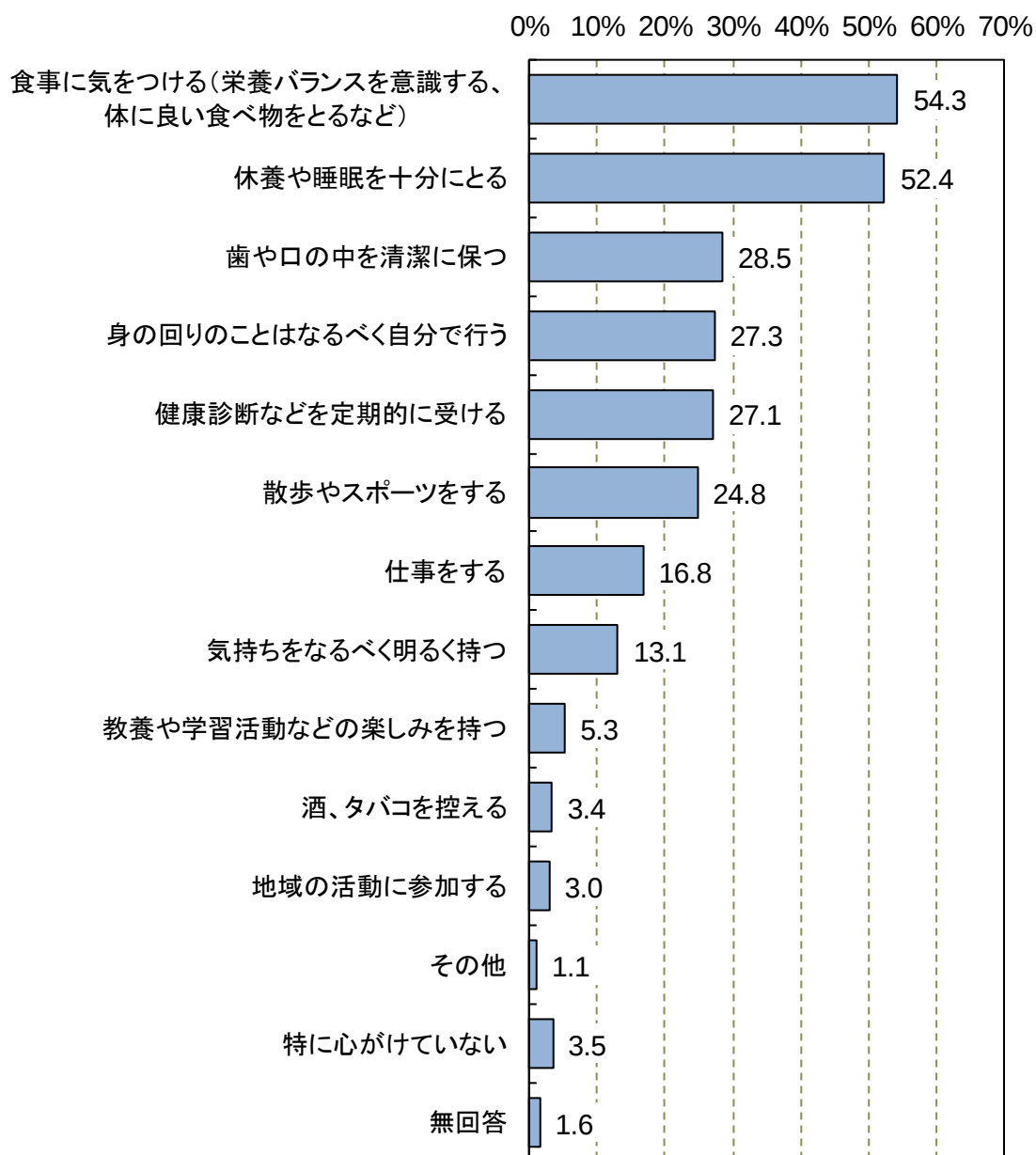
(回答者: 565人)

現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が 40.2%と最も多く、次いで「目の病気」(18.9%)、「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」(11.5%)と続いている。

また、18.9%が「ない」と回答している。

(7) 健康のために心がけていること

問 33 ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(〇は3つまで)

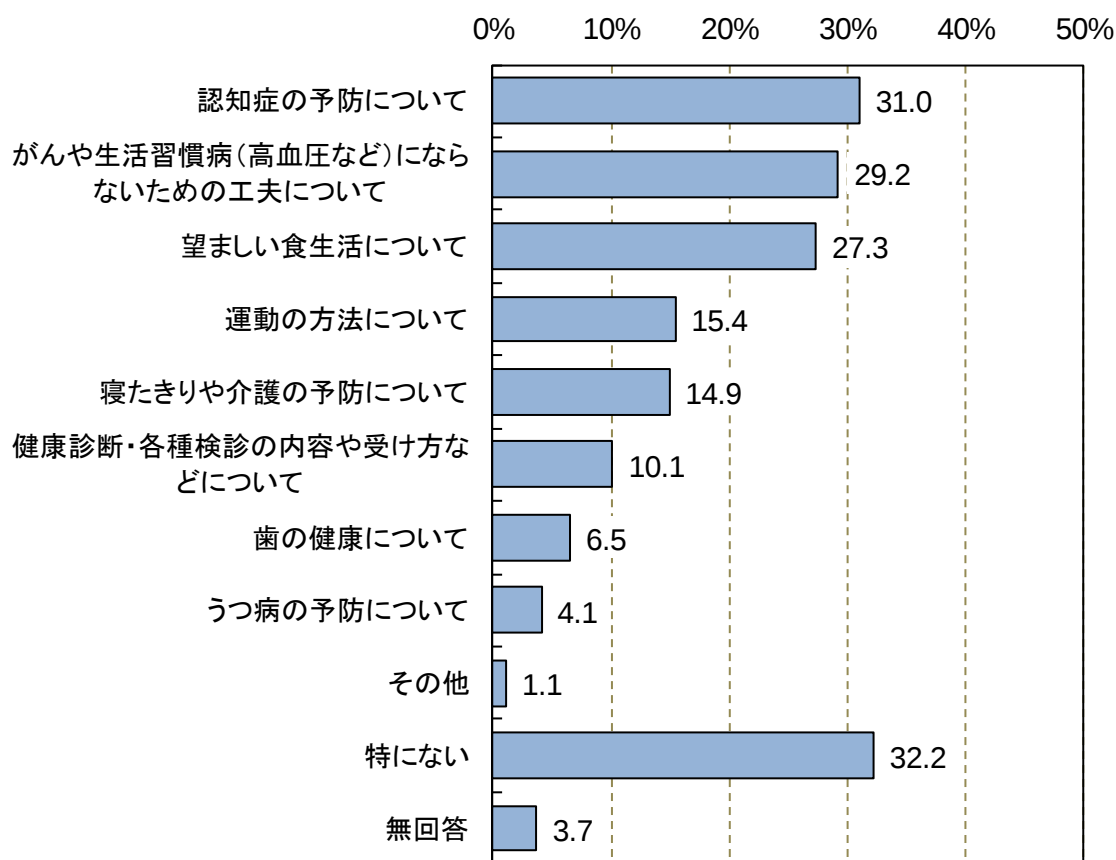


(回答者:565人)

健康のために心がけていることは、「食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)」(54.3%)、「休養や睡眠を十分にとる」(52.4%)となっており、この2つの回答が5割を超え、比較的多い回答となっている。

(8) 健康について知りたいこと

問 34 健康についてどのようなことが知りたいですか。(○は3つまで)

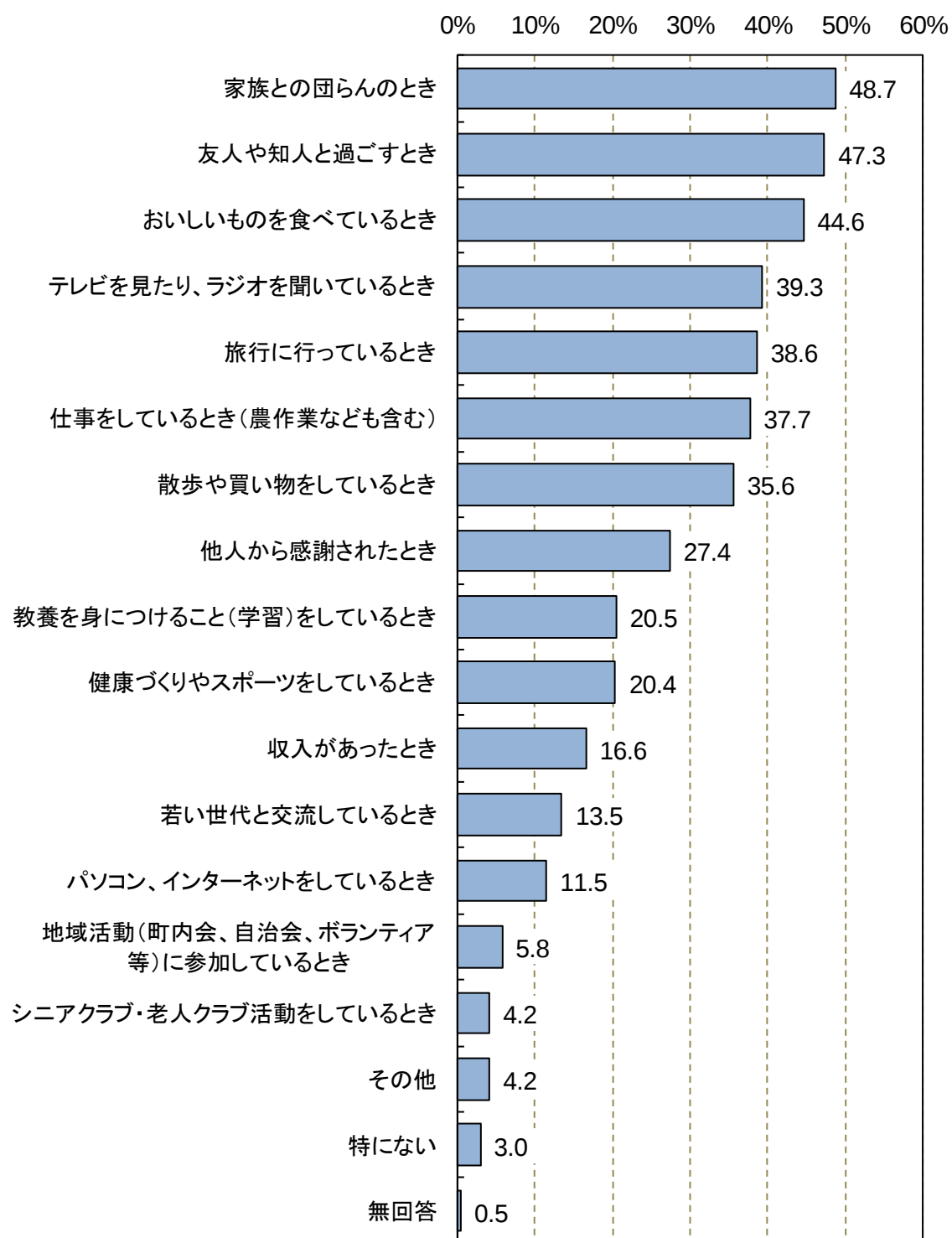


(回答者: 565人)

健康について知りたいことは、「認知症の予防について」が31.0%と最も多く、次いで「がんや生活習慣病(高血圧など)にならないための工夫について」(29.2%)、「望ましい食生活について」(27.3%)と続いている。

(9) 生きがい

問 35 生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのはどのような時ですか。（○はいくつでも）

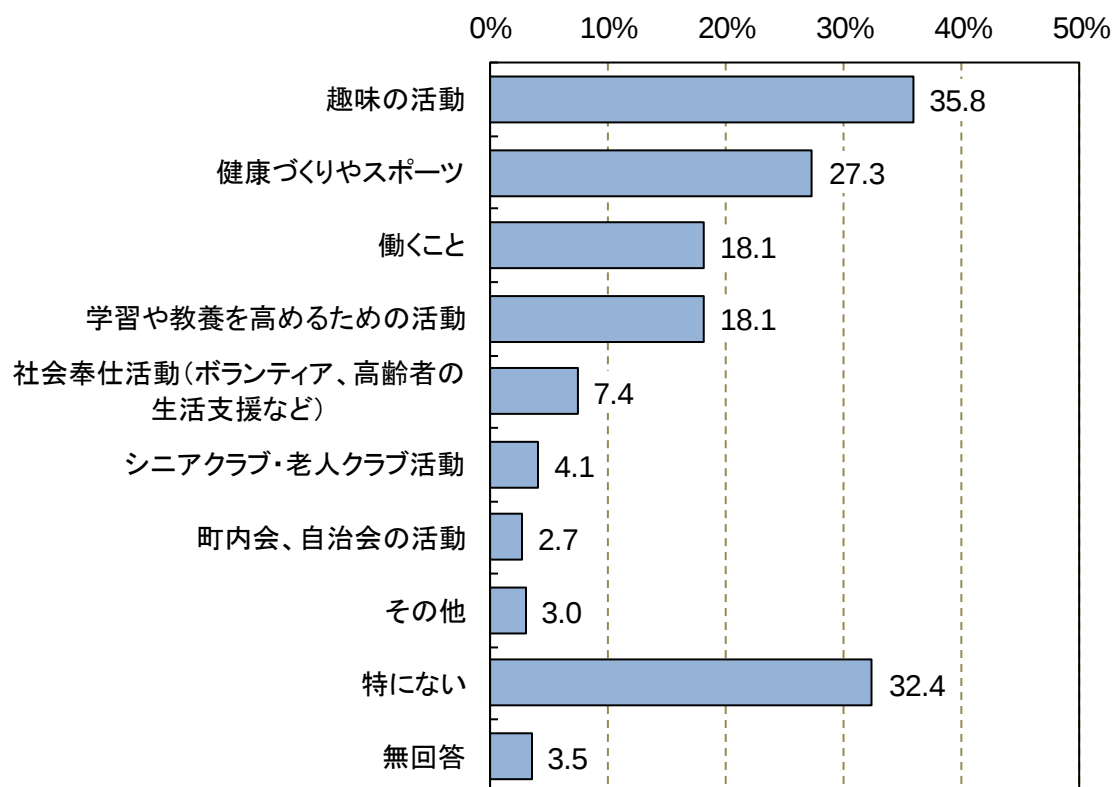


（回答者：565人）

生きがいを感じるのは、「家族との団らんのとき」が 48.7%と最も多く、次いで「友人や知人と過ごすとき」（47.3%）、「おいしいものを食べているとき」（44.6%）と続いている。

(10) 今後やってみたいこと

問 36 今後やってみたいと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

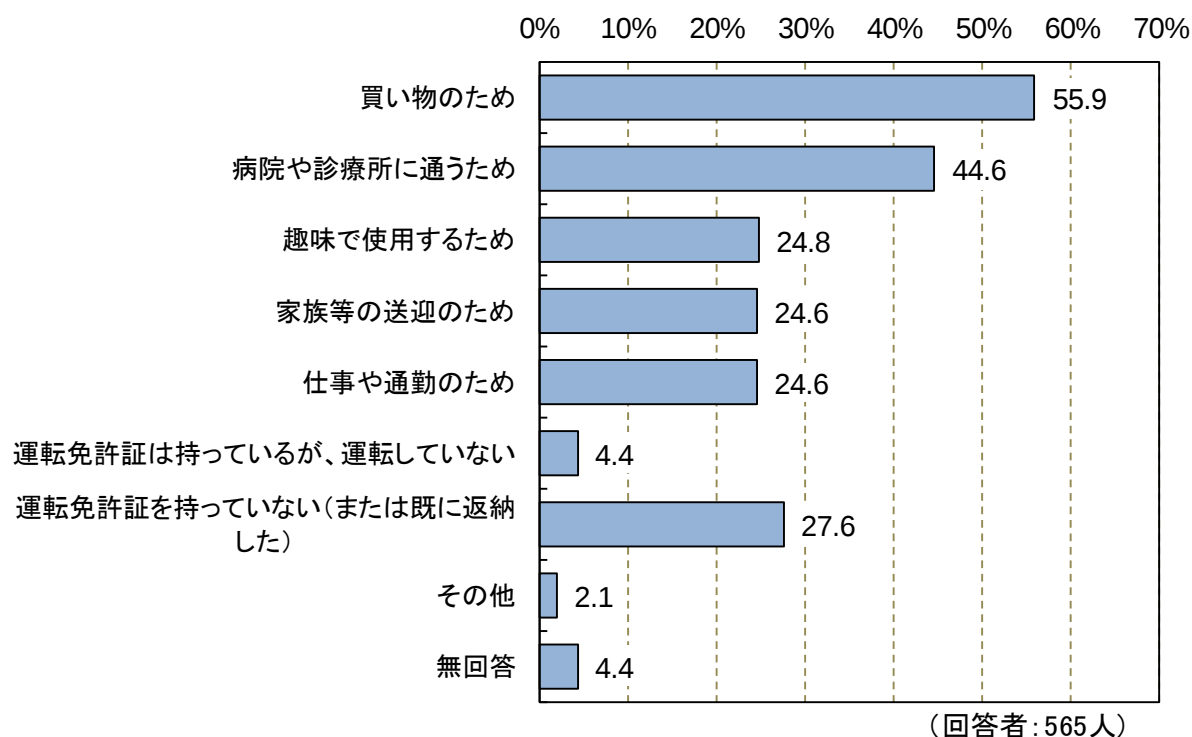


(回答者: 565人)

今後やってみたいと思うものは、「趣味の活動」が 35.8%と最も多く、次いで「健康づくりやスポーツ」(27.3%)、「働くこと」、「学習や教養を高めるための活動」(ともに 18.1%)と続いている。

(11) 自動車の運転目的

問 37 日頃、どのような目的で自動車を運転していますか。(○はいくつでも)



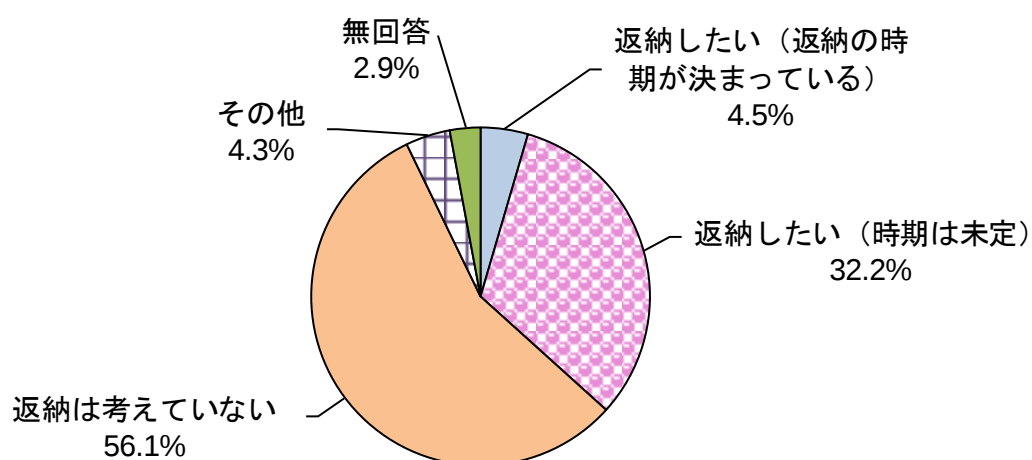
自動車の運転目的は、「買い物のため」が 55.9%と最も多く、次いで「病院や診療所に通うため」(44.6%)と続いている。

また、27.6%は「運転免許証を持っていない(または既に返納した)」と回答している。

(12) 運転免許証の返納

問 37 で「1」～「6」と回答した方にお聞きします。

問 37-1 あなたは、運転免許の返納について、どのように考えていますか。(○は1つ)

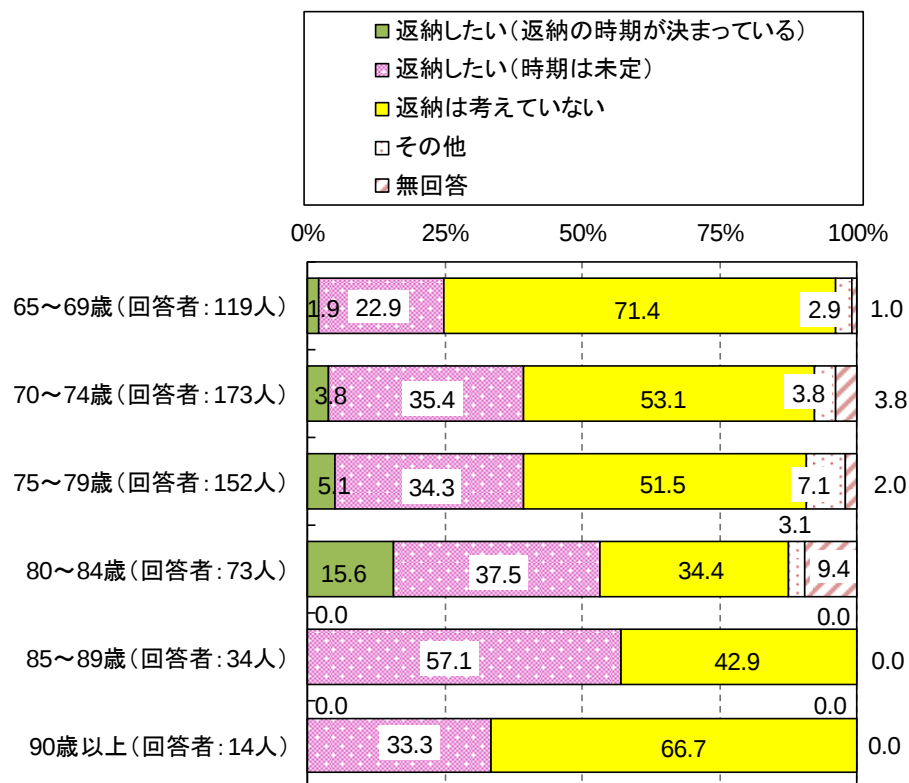


(回答者: 376人)

問 37 で「買い物のため」、「病院や診療所に通うため」、「家族等の送迎のため」、「仕事や通勤のため」、「趣味で使用するため」、「運転免許証は持っているが、運転していない」と回答した 376 人に、運転免許の返納について、どのように考えているか尋ねると、56.1%が「返納は考えていない」と回答しているものの、「返納したい（時期は未定）」(32.2%)、「返納したい（返納の時期が決まっている）」(4.5%) と約 4 割に返納の意向がある。

年齢別では、年齢が上がるにつれ運転免許証返納の意向が増える傾向にあり、80 歳代では 5 割以上に返納の意向がある。

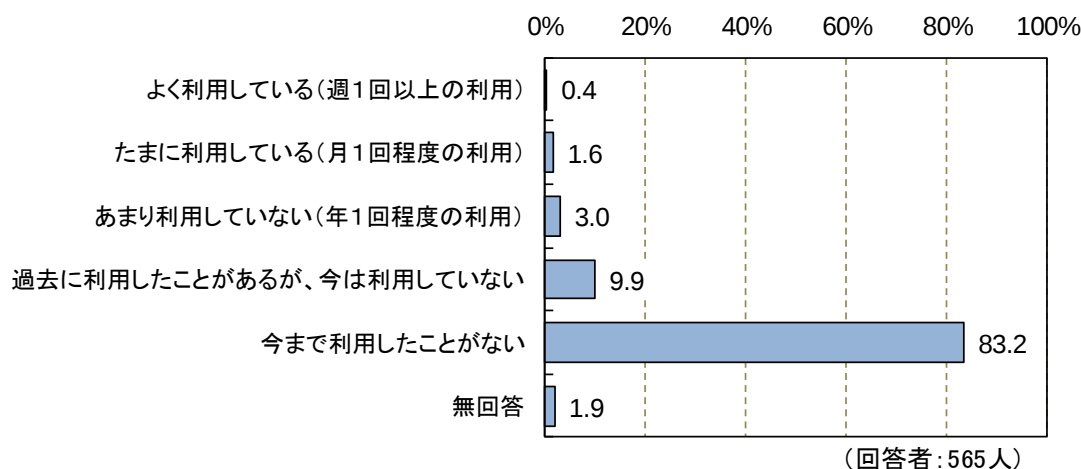
●年齢別運転免許証の返納について



8 老人いこいの家について

(1) 老人いこいの家の利用状況

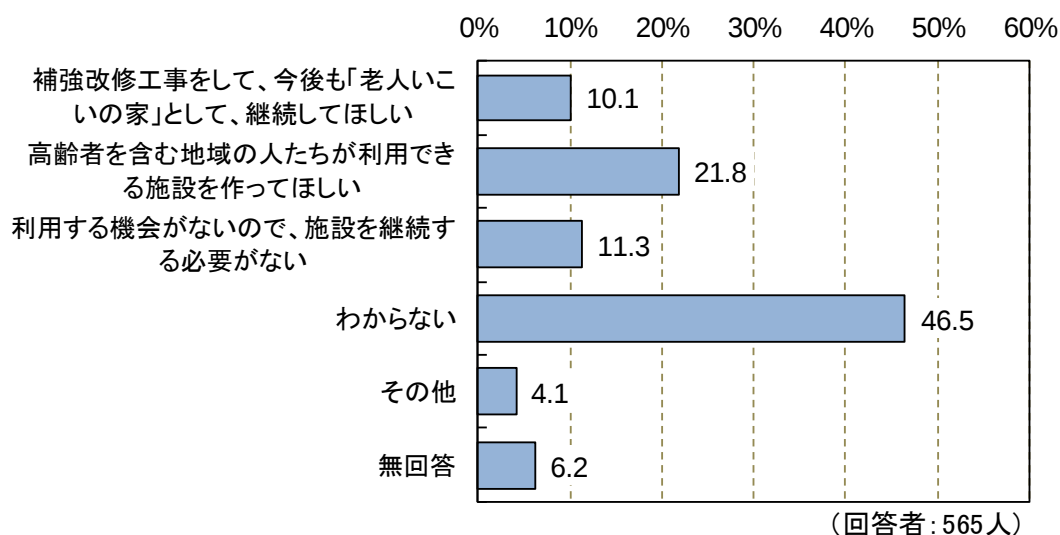
問 38 柏谷にあります「函南町老人いこいの家」についておうかがいします。
あなたはどのくらい「老人いこいの家」を利用していますか。(○は1つ)



老人いこいの家の利用状況は、8割以上が「今まで利用したことがない」と回答している。
また、利用している方の頻度は、「よく利用している(週1回以上の利用)」(0.4%)、「たまに利用している(月1回程度の利用)」(1.6%)、「あまり利用していない(年1回程度の利用)」(3.0%)となっている。

(2) 今後の施設の在り方

問 39 「老人いこいの家」は老朽化が進んでおり、今後の施設の在り方についてあなたの考えをご回答ください。(○は1つ)

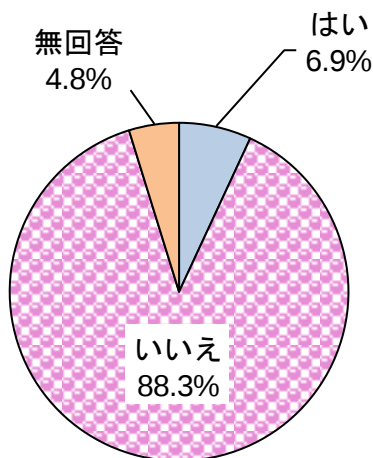


今後の施設の在り方は、46.5%が「わからない」と回答しており、判断しかねている様子が見える。その他、「補強改修工事をして、今後も「老人いこいの家」として、継続してほしい」(10.1%)、「高齢者を含む地域の人たちが利用できる施設を作してほしい」(21.8%)となっている。また、「利用する機会がないので、施設を継続する必要がない」という回答は11.3%となっている。

9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症状の有無

問 40 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

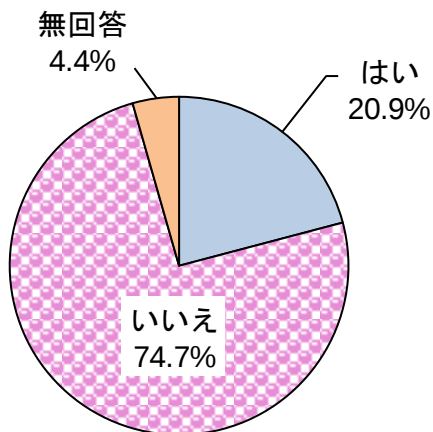


(回答者: 565人)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかは、「はい」(6.9%)、「いいえ」(88.3%)となっている。

(2) 認知症の相談窓口

問 41 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)



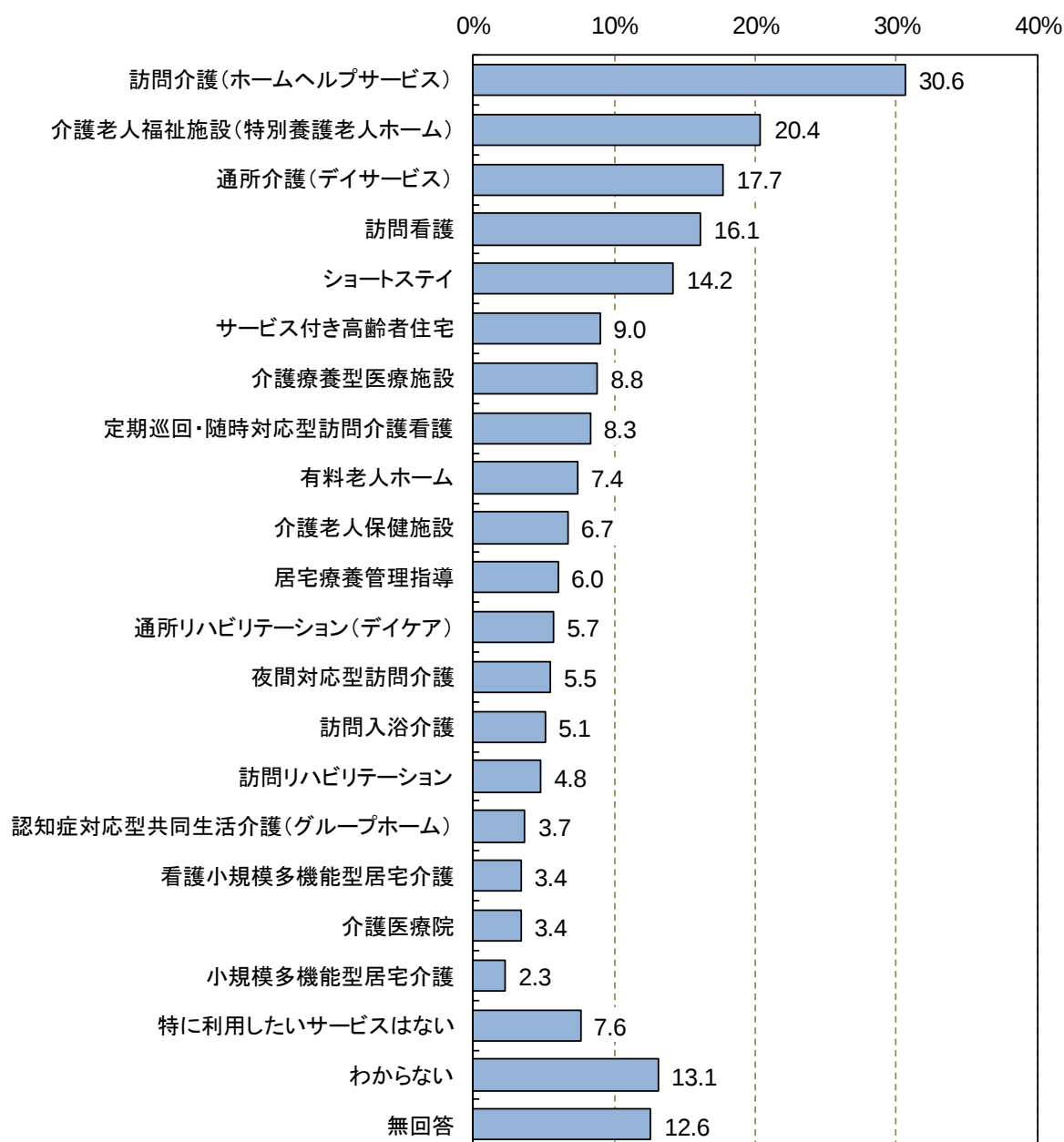
(回答者: 565人)

認知症に関する相談窓口を知っているかは、「はい」(20.9%)、「いいえ」(74.7%)となっている。

10 介護保険サービスについて

(1) 必要と思う介護保険サービス

問 42 あなたが安心して住み慣れた地域で暮らしていくために、必要と思う介護保険サービスは何ですか。(〇は3つまで)



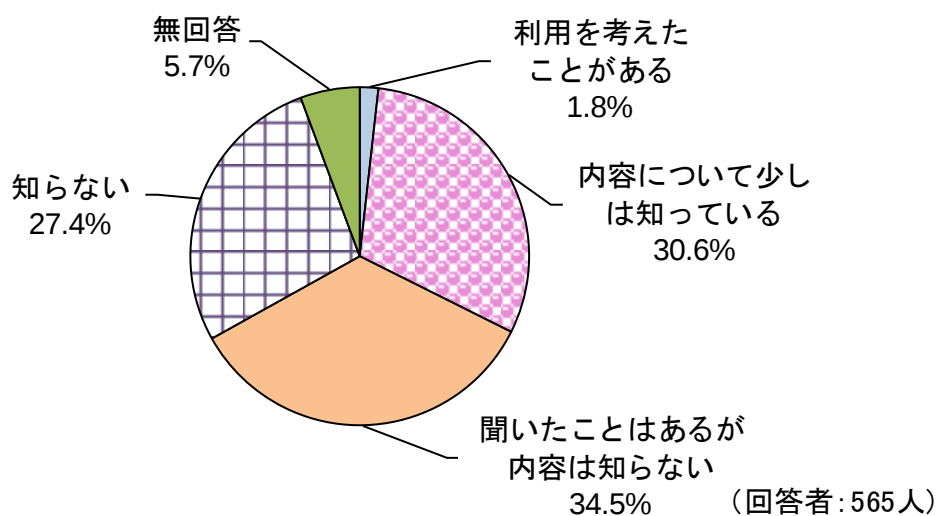
(回答者:565人)

安心して住み慣れた地域で暮らしていくために、必要と思う介護保険サービスは、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」が30.6%と最も多く、次いで「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」(20.4%)、「通所介護(デイサービス)」(17.7%)と続いている。

11 成年後見制度について

(1) 成年後見制度

問 43 成年後見についてご存知ですか。(〇は1つ)



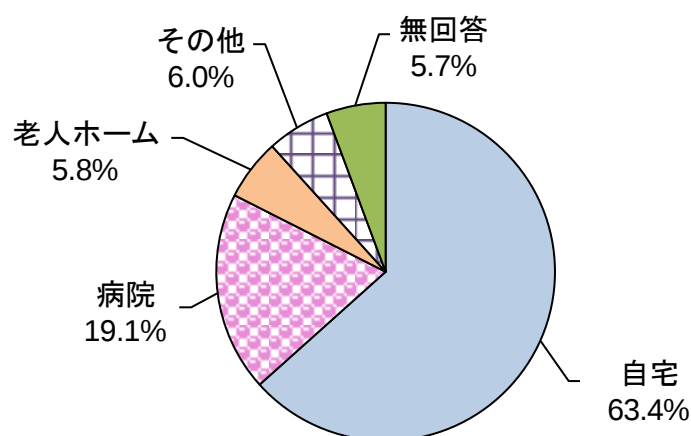
成年後見の認知度は、「利用を考えたことがある」(1.8%)、「内容について少しは知っている」(30.6%)、「聞いたことはあるが内容は知らない」(34.5%)となっている。

また、27.4%は「知らない」と回答している。

12 人生のしまい方について

(1) 人生の最期を迎える場所

問 44 人生の最期をどこで迎えたいですか。(○は1つ)

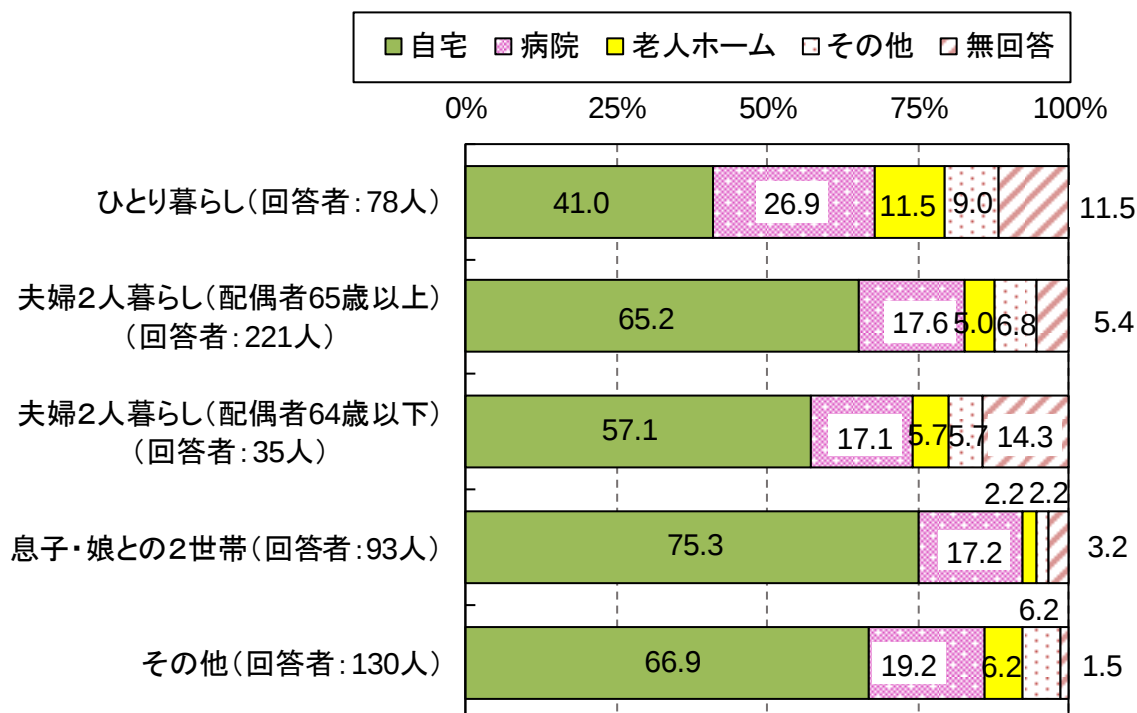


(回答者: 565人)

人生の最期をどこで迎えたいかは、63.4%が「自宅」と回答している。その他、「病院」(19.1%)、「老人ホーム」(5.8%)となっている。

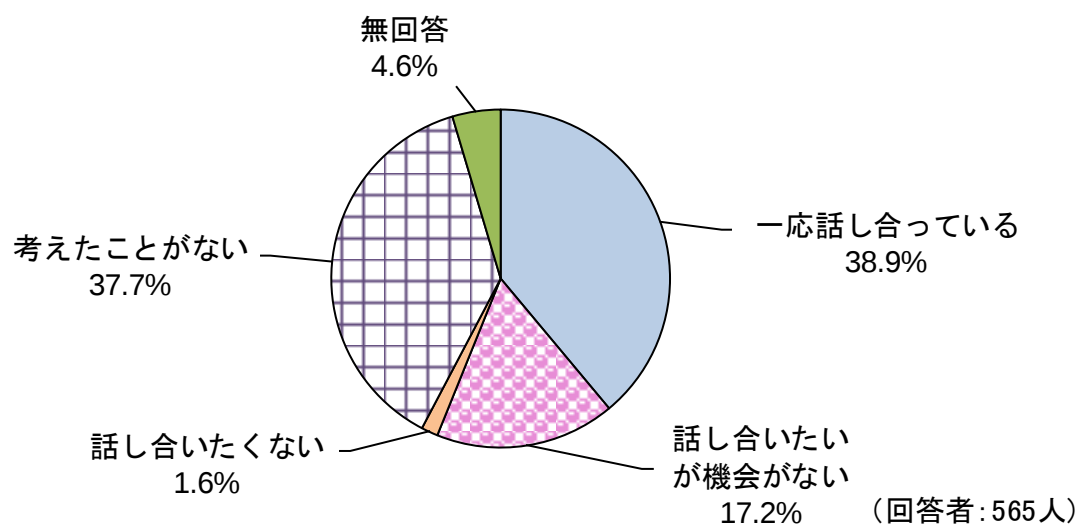
世帯構成別では、全体的には、「自宅」という回答が多いものの、「ひとり暮らし」では、比較的「病院」、「老人ホーム」という回答が多くなっている。

●世帯構成別人生の最期を迎える場所



(2) 人生の最終段階の医療について

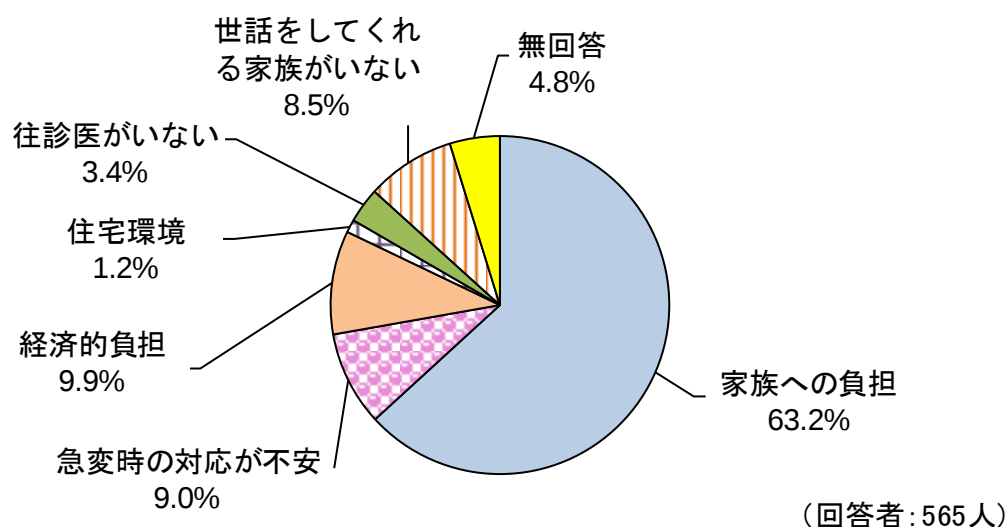
問 45 人生の最終段階で受たい又は受たくない医療に関する話を家族や医療関係者としたことがありますか。(○は1つ)



人生の最終段階で受たい又は受たくない医療に関する話を家族や医療関係者としたことがあるかは、「一応話し合っている」(38.9%)、「話し合いたいが機会がない」(17.2%)、「話し合いたくない」(1.6%)、「考えたことがない」(37.7%)となっている。

(3) 自宅療養の心配点

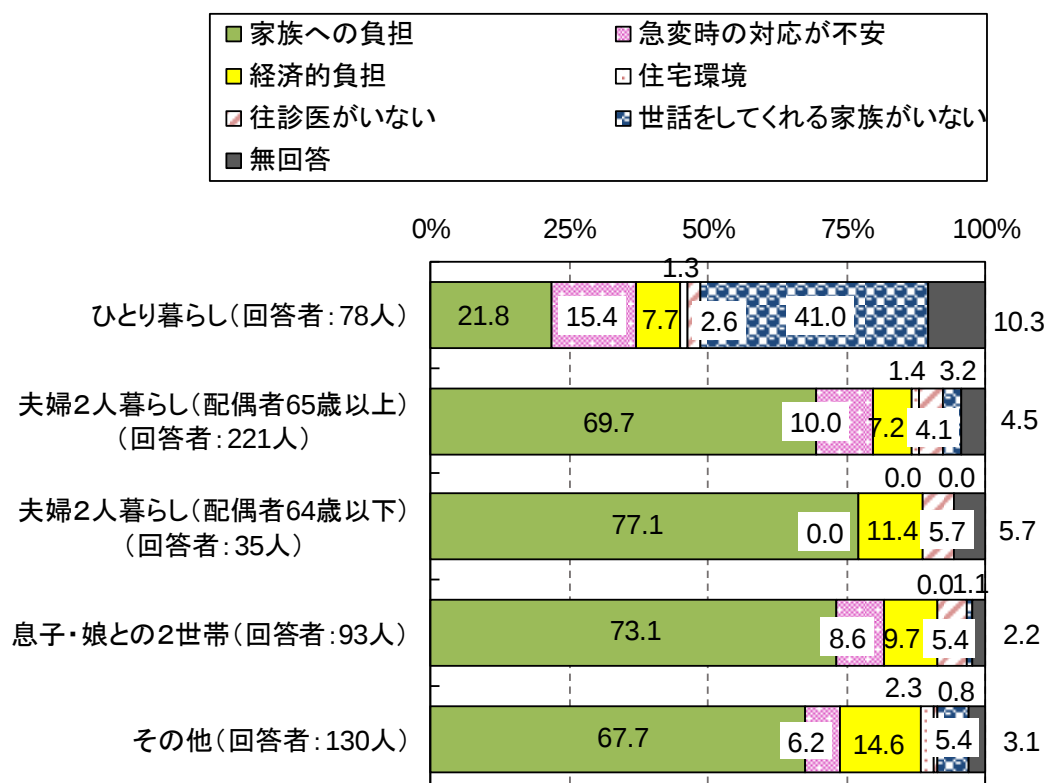
問 46 自宅で長期療養する場合の心配は何ですか。(○は1つ)



自宅で長期療養する場合の心配は、63.2%が「家族への負担」と回答している。その他、「急変時の対応が不安」(9.0%)、「経済的負担」(9.9%)、「住宅環境」(1.2%)、「往診医がいない」(3.4%)、「世話をしてくれる家族がいない」(8.5%)となっている。

世帯構成別では、同居の家族がいれば、「家族への負担」という回答が最も多く、「ひとり暮らし」では、「急変時の対応が不安」、「世話をしてくれる家族がいない」という回答が比較的多くなっている。

●世帯構成別自宅療養の心配点



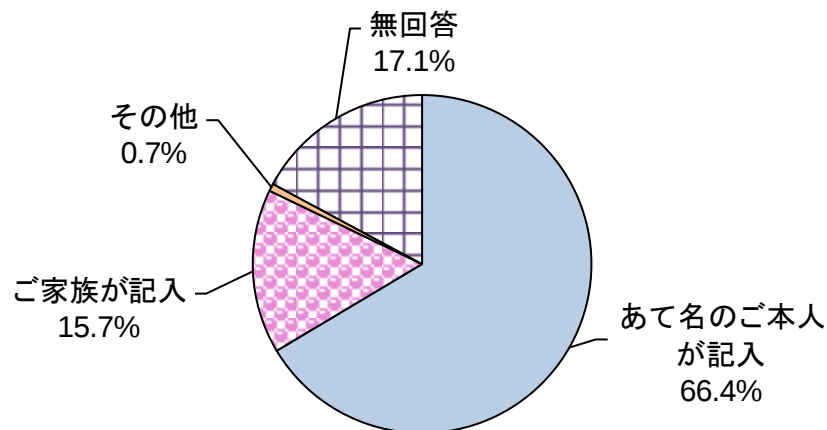
Ⅲ 在宅要支援認定者・総合事業対象者調査

Ⅲ 在宅要支援認定者・総合事業対象者調査

調査対象者の基本属性

(1) 調査票記入者

この調査票に記入される方はどなたですか（○は1つ）



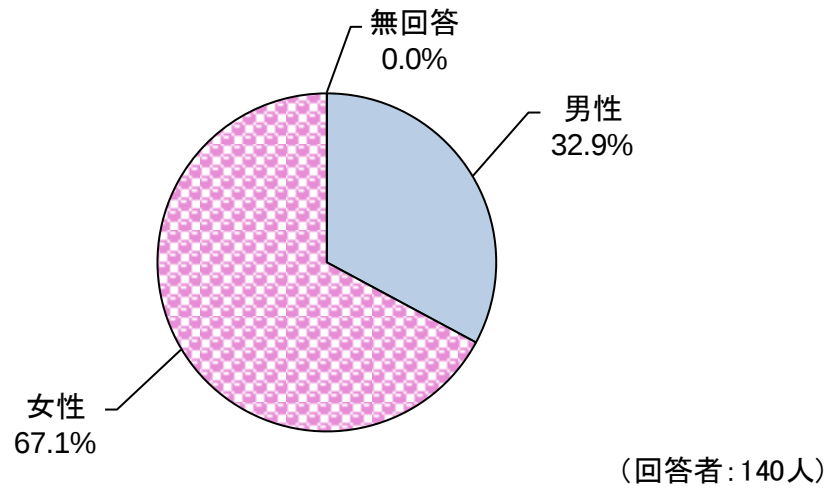
（回答者：140人）

調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」が 66.4%、「ご家族が記入」が 15.7%となっている。

1 あなたご自身のことや生活状況について

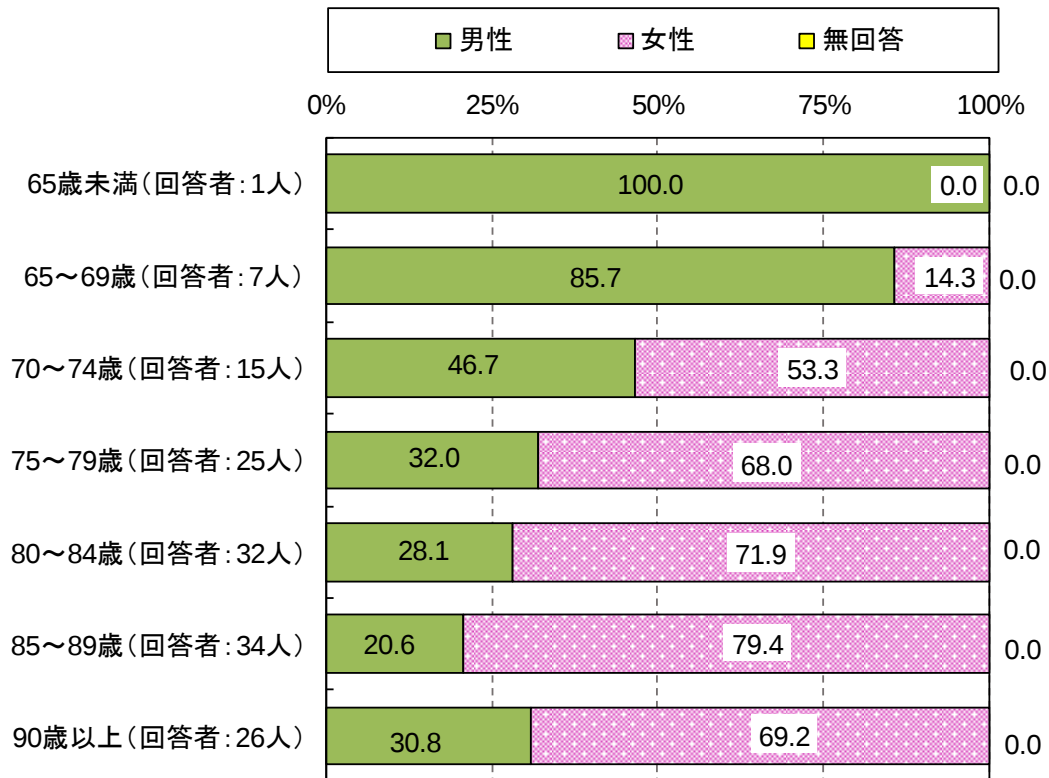
(1) 性別

問1 性別は、どちらですか。(○は1つ)



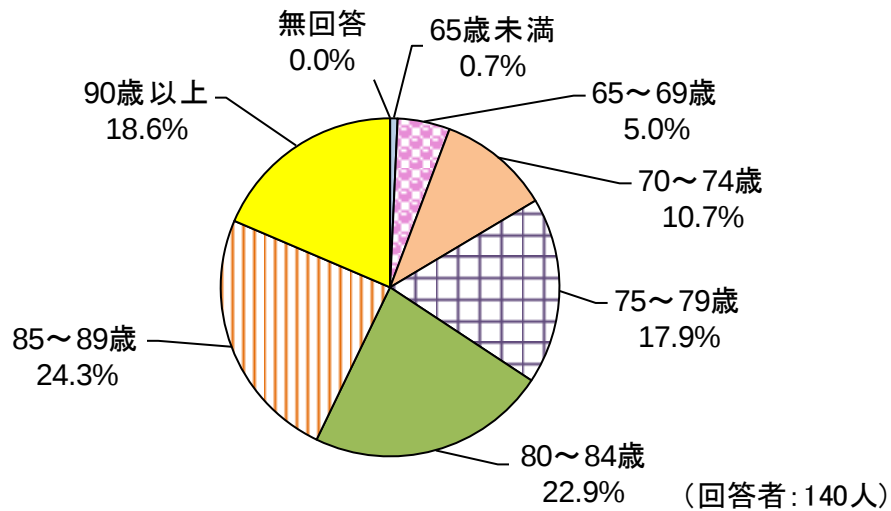
性別は、「男性」が32.9%、「女性」が67.1%となっている。

●年齢別男女比



(2) 年齢

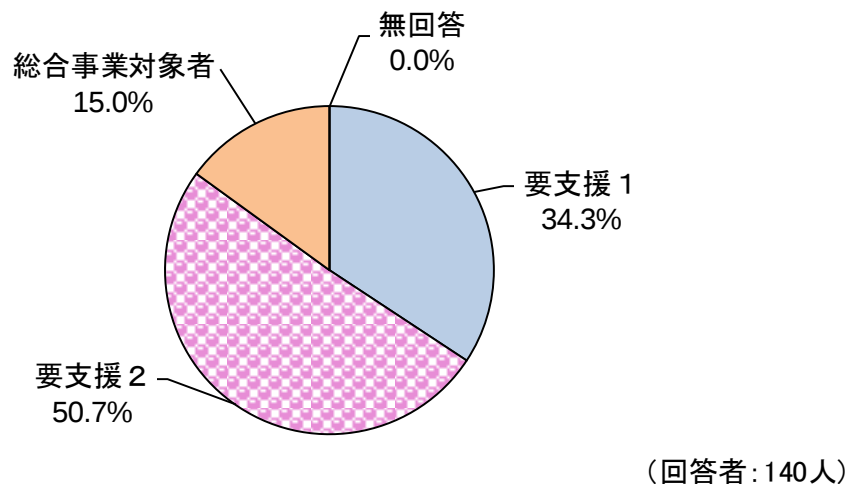
問2 年齢は、おいくつですか。(令和2年1月1日現在の年齢でお答えください。)



年齢は、「85～89歳」が24.3%で最も多く、次いで「80～84歳」(22.9%)、「90歳以上」(18.6%)、「75～79歳」(17.9%)、「70～74歳」(10.7%)、「65～69歳」(5.0%)、「65歳未満」(0.7%)となっている。

(3) 認定状況

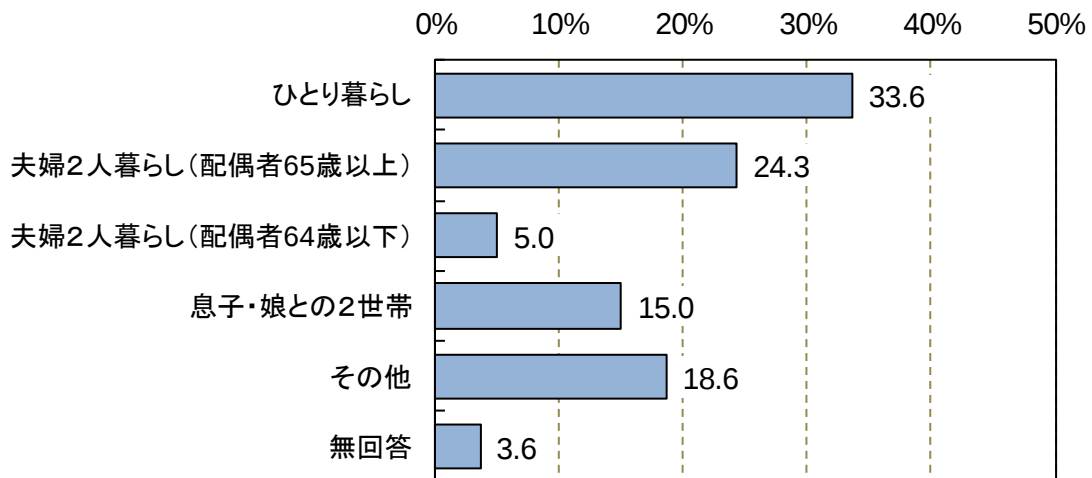
問3 現在の要支援認定(要支援度)又は総合事業対象者の状況について教えてください。(〇は1つ)



認定状況は、「要支援1」(34.3%)、「要支援2」(50.7%)、「総合事業対象者」(15.0%)となっている。

(4) 世帯構成

問4 ご家庭の世帯構成は、次のどれですか。(○は1つ)

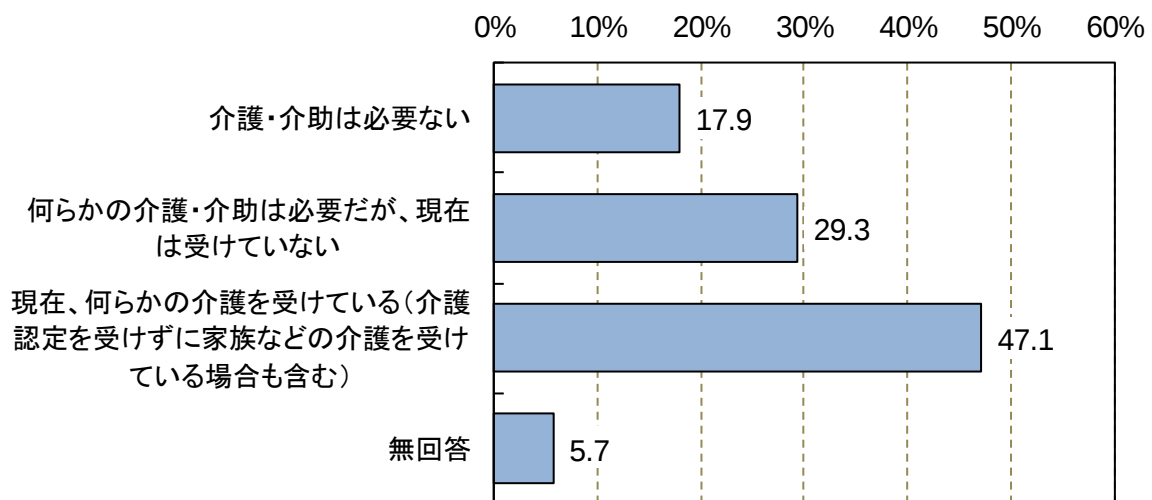


(回答者:140人)

世帯構成は、「ひとり暮らし」が33.6%と最も多く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(24.3%)、「息子・娘との2世帯」(15.0%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(5.0%)となっている。

(5) 普段、介護・介助が必要か

問5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

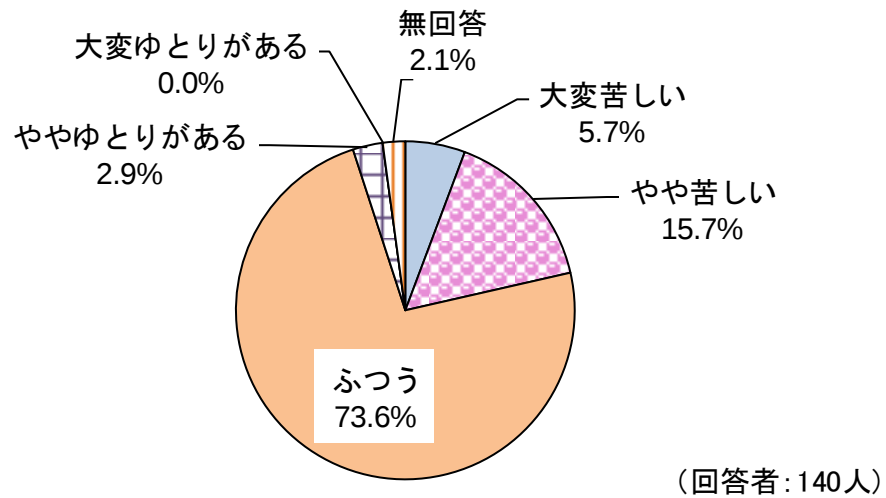


(回答者:140人)

普段の生活で介護・介助が必要かでは、47.1%が「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」と回答している。その他、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(29.3%)、「介護・介助は必要ない」(17.9%)となっている。

(6) 現在の暮らしの状況

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)



現在の暮らしの状況では、「ふつう」という回答が73.6%で最も多くなっている。

また、「大変苦しい」(5.7%)、「やや苦しい」(15.7%)を合わせると、21.4%が苦しいと回答している。

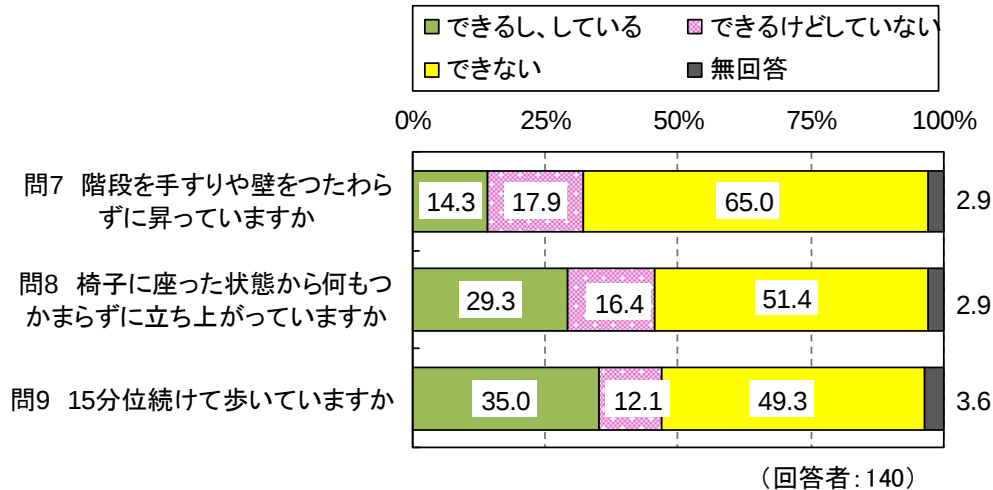
2 からだを動かすことについて

(1) 日常の生活動作

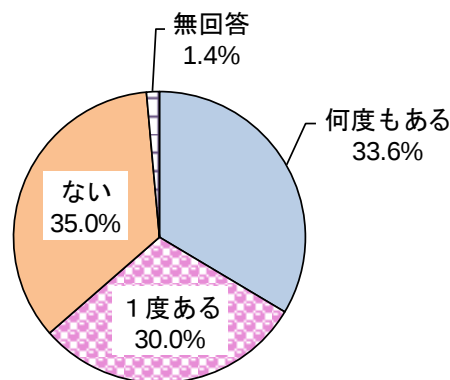
問7 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

問8 椅子に座った状態から、何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

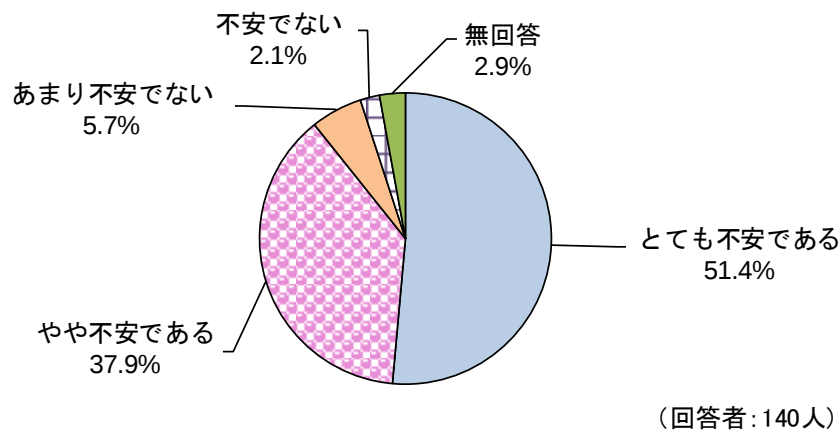
問9 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)



問10 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)



問11 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

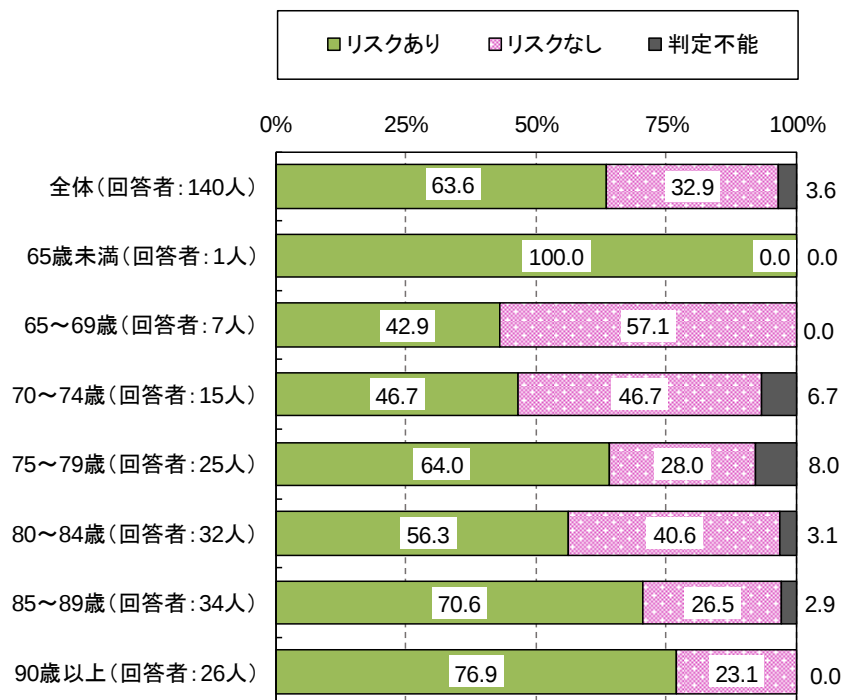


問7～11は運動器の機能低下を問う設問です。各項目の該当割合は、「問7 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」(65.0%:「できない」)、「問8 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」(51.4%:「できない」)、「問9 15分位続けて歩いていますか」(49.3%:「できない」)、「問10 過去1年間に転んだ経験がありますか」(33.6%:「何度もある」、30.0%:「1度ある」)、「問11 転倒に対する不安は大きいですか」(51.4%:「とても不安である」、37.9%:「やや不安である」)となっており、これらの設問で、3問以上該当すると、運動機能が低下していると判定される。

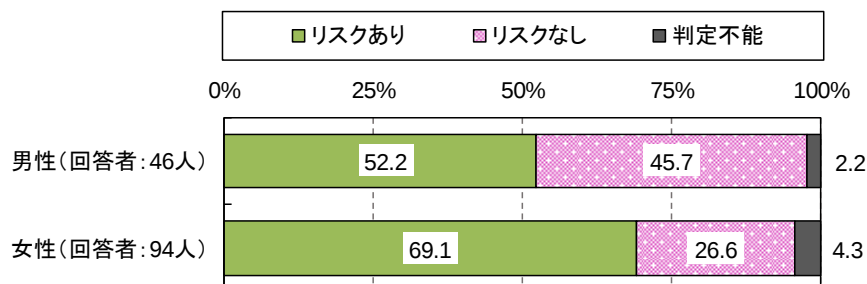
また、「過去1年間に転んだ経験がありますか」において(33.6%:「何度もある」、30.0%:「1度ある」)と回答した場合は、転倒リスクがあると判定される。

(2) 運動器の機能低下

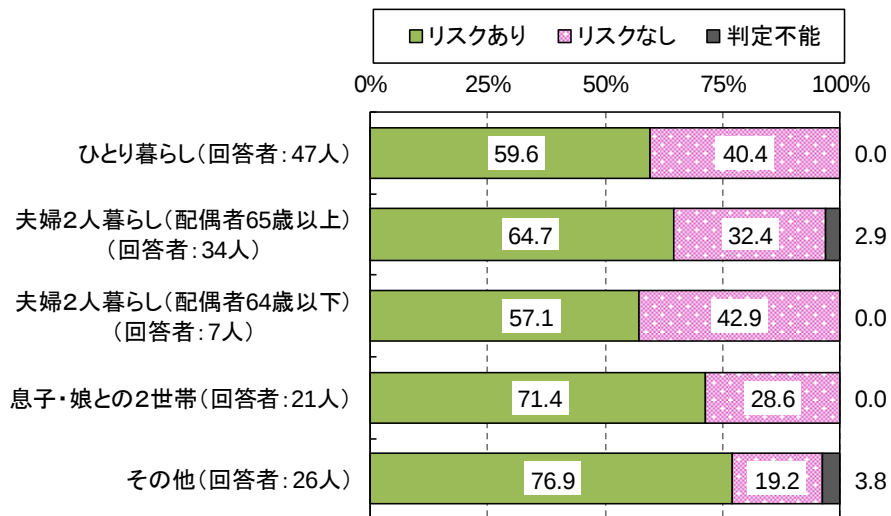
●年齢別運動器の機能低下状況



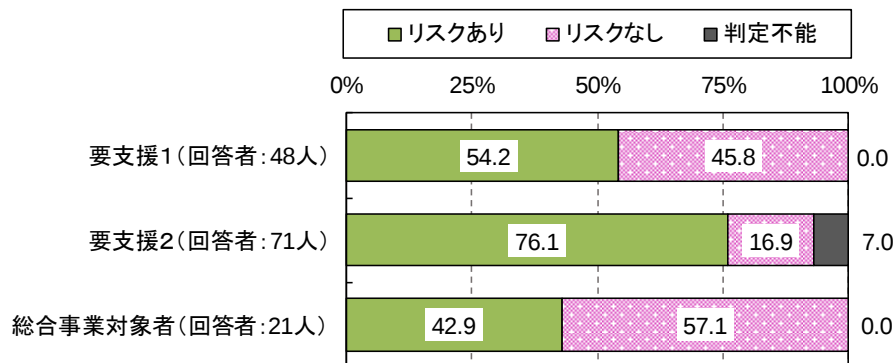
●男女別運動器の機能低下状況



●世帯構成別運動器の機能低下状況



●認定状況別運動器の機能低下状況



運動器の機能低下は、全体の 63.6%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなる傾向にあり、90 歳以上の 76.9%が該当者となっている。

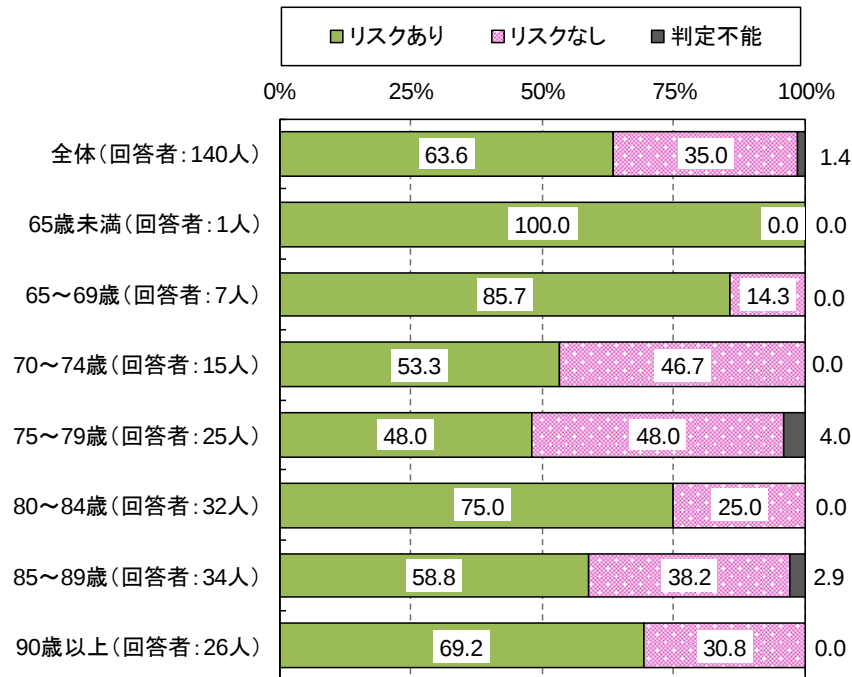
男女別では、「男性」の 52.2%、「女性」の 69.1%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

世帯構成別では、「息子・娘との2世帯」の 71.4%が該当者となっている。

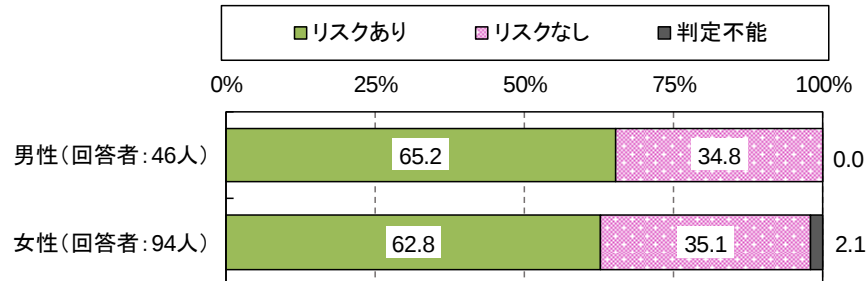
認定状況別では、「要支援1」、「要支援2」とともに5割以上が該当し、特に「要支援2」では 76.1%が該当者となっている。

(3) 転倒リスク

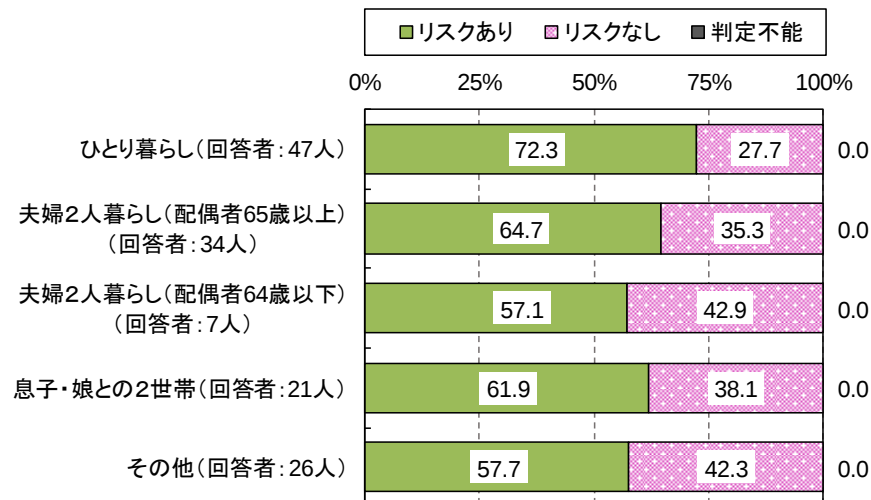
●年齢別転倒リスク状況



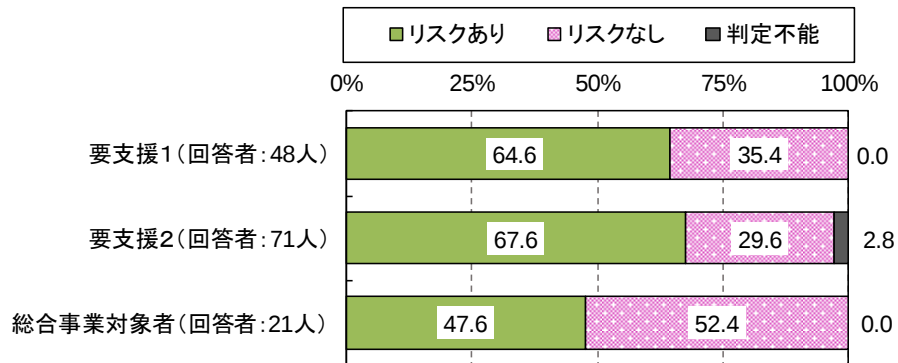
●男女別転倒リスク状況



●世帯構成別転倒リスク状況



●認定状況別転倒リスク状況



転倒リスクは、全体の 63.6%が該当者となっている。

年齢別では、年齢による傾向は特に無く、全体的に 5～7 割程度の該当者がいる。

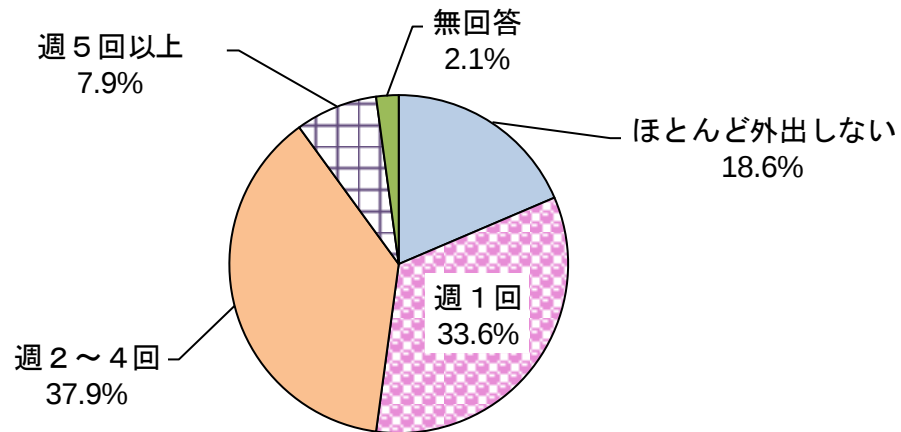
男女別では、「男性」の 65.2%、「女性」の 62.8%が該当者となっており、男性に該当者が多くなっている。

世帯構成別では、「ひとり暮らし」の 72.3%が該当者となっている。

認定状況別では、「要支援1」、「要支援2」とともに 6 割以上が該当し、特に「要支援2」では 67.6%が該当者となっている。

(4) 外出状況

問 12 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

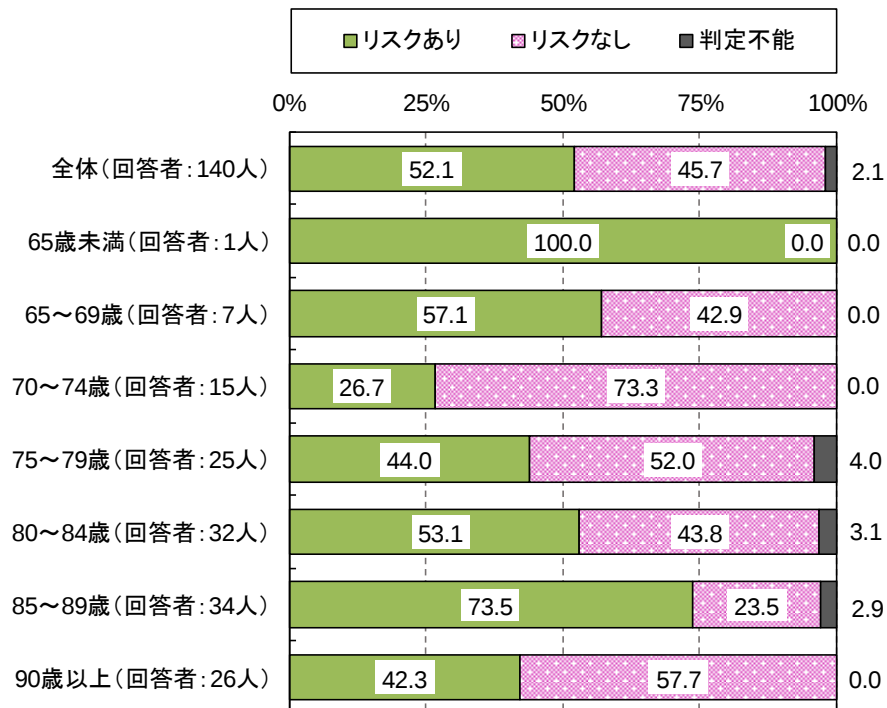


(回答者:140人)

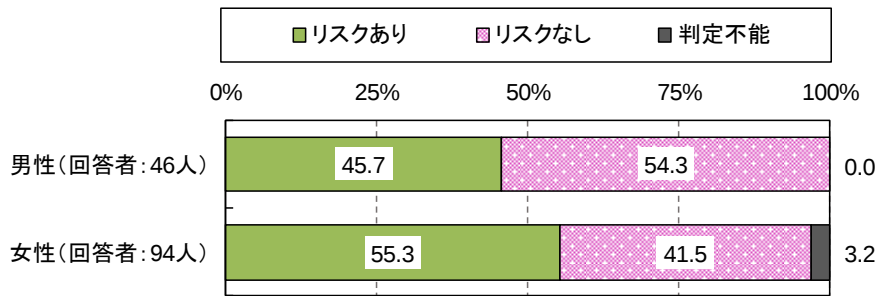
問 12 は、閉じこもり傾向を問う設問です。「問 11 週に1回以上は外出していますか」において(18.6% : 「ほとんど外出していない」、33.6% : 「週1回」と回答した場合は、閉じこもりリスクがあると判定される。

(5) 閉じこもり傾向

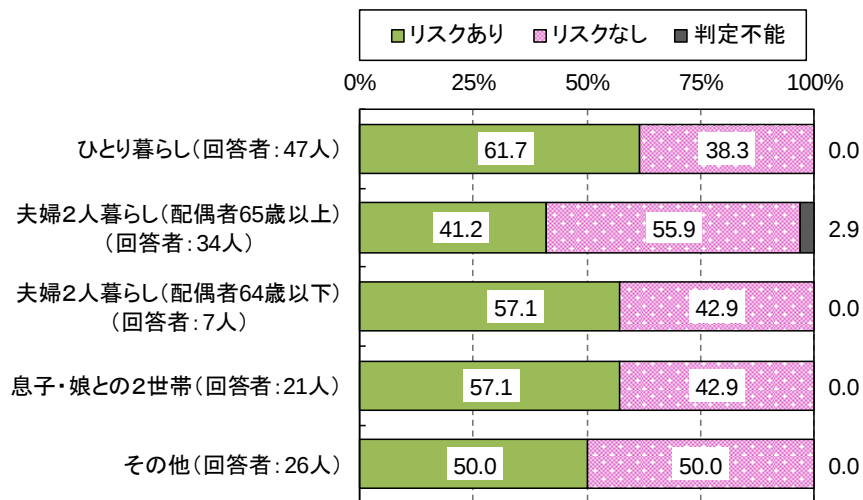
●年齢別閉じこもり傾向



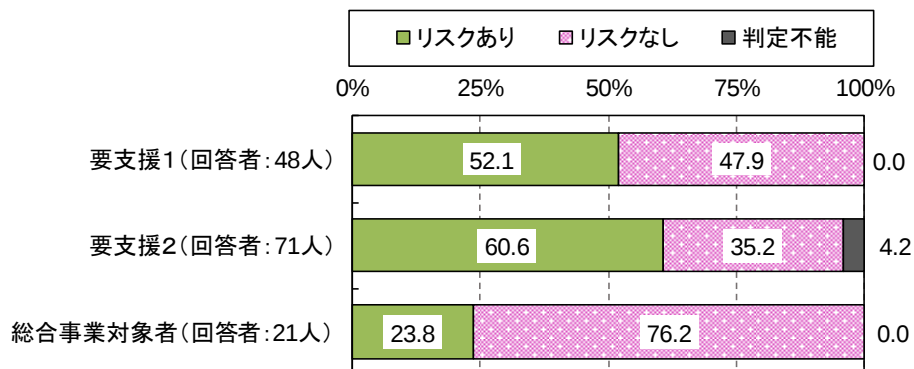
●男女別閉じこもり傾向



●男女別閉じこもり傾向



●認定状況別閉じこもり傾向



閉じこもり傾向は、全体の 52.1%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、「85～89 歳」では、7 割以上が該当者となっている。

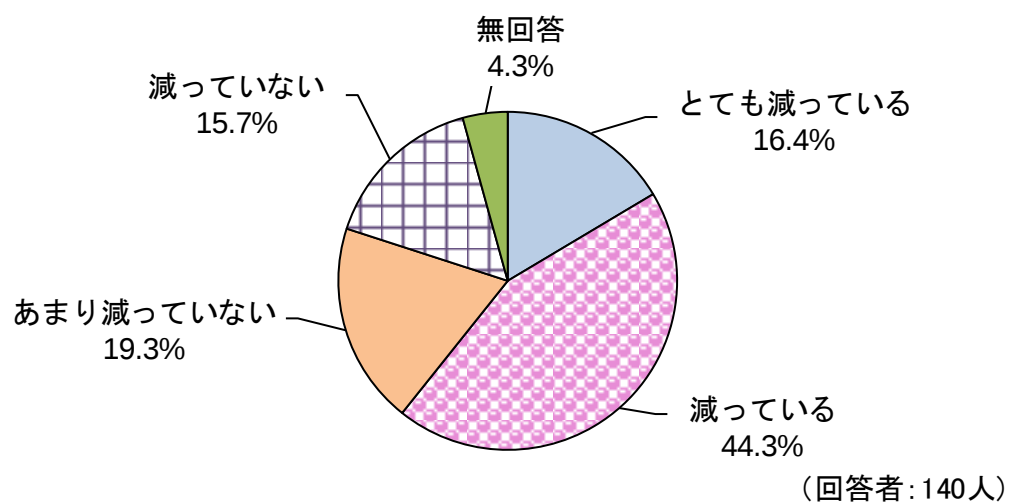
男女別では、「男性」の 45.7%、「女性」の 55.3%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

世帯構成別では、「ひとり暮らし」の 61.7%が該当者となっている。

認定状況別では、「要支援1」、「要支援2」とともに5割以上が該当し、特に「要支援2」では 60.6%が該当者となっている。

(6) 外出回数

問 13 昨年と比べて、外出の回数が減っていますか。(○は1つ)



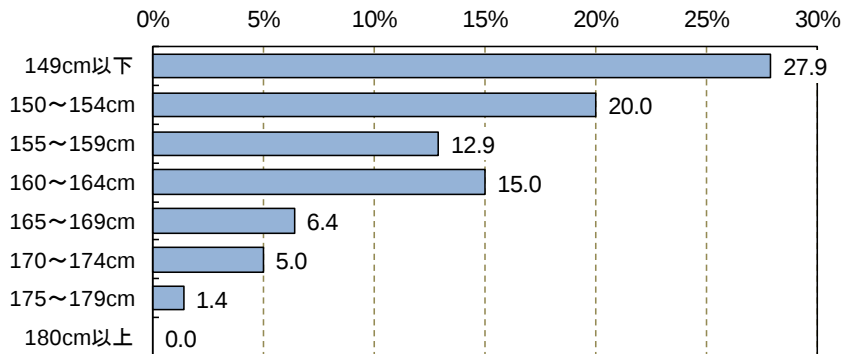
昨年と比べて外出の回数が減っているかは、「とても減っている」(16.4%)、「減っている」(44.3%)を合わせると、60.7%が減っている回答している。また、「減っていない」(15.7%)、「あまり減っていない」(19.3%)を合わせると、35.0%が減っていないと回答している。

3 食べることについて

(1) 本人の身長・体重

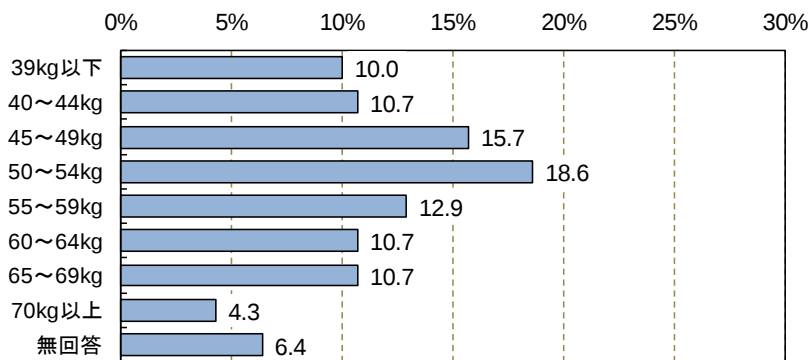
問 14 身長と体重を教えてください。(数字で記入してください)

身長



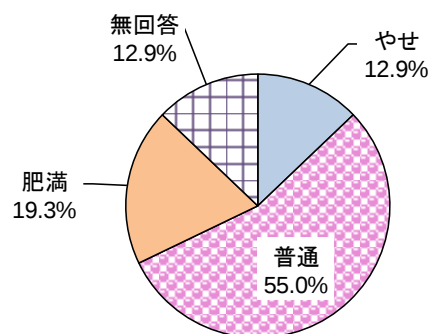
(回答者: 140人)

体重



(回答者: 140人)

BMI



(回答者: 140人)

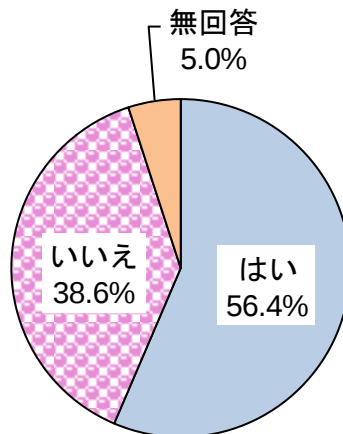
身長は、「149cm 以下」が 27.9% で最も多く、次いで「150～154cm」(20.0%)、「160～164cm」(17.2%) などとなっている。

体重は、「50～54kg」が 18.6% で最も多く、次いで「45～49kg」(15.7%)、「55～59kg」(12.9%) などとなっている。

BMI については、「18.5～25 未満 (普通)」が 55.0% で最も多く、次いで「25 以上 (肥満)」(19.3%)、「18.5 未満 (やせ)」(12.9%) となっている。

(2) 食べにくさ

問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

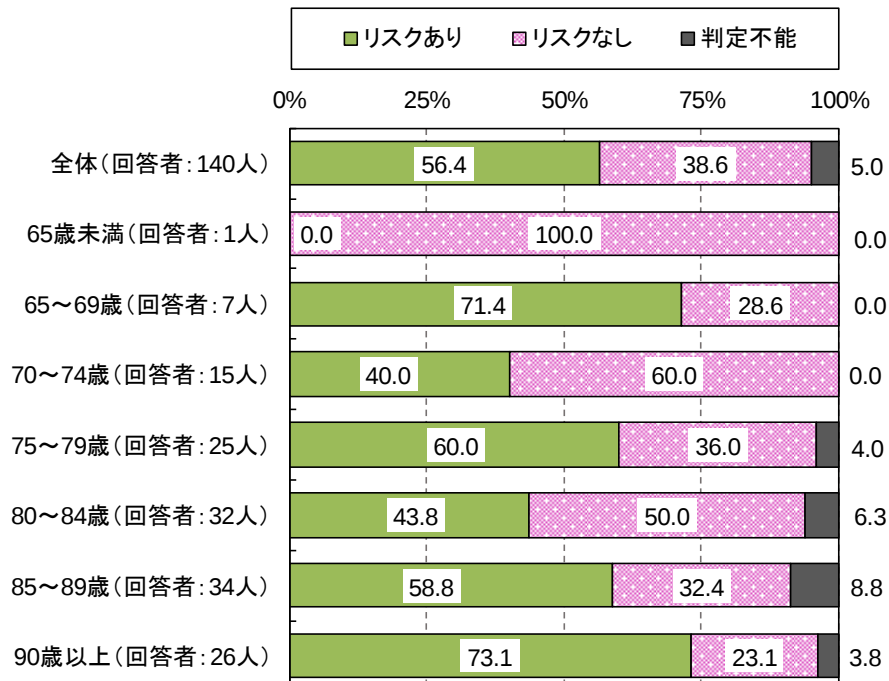


(回答者:140人)

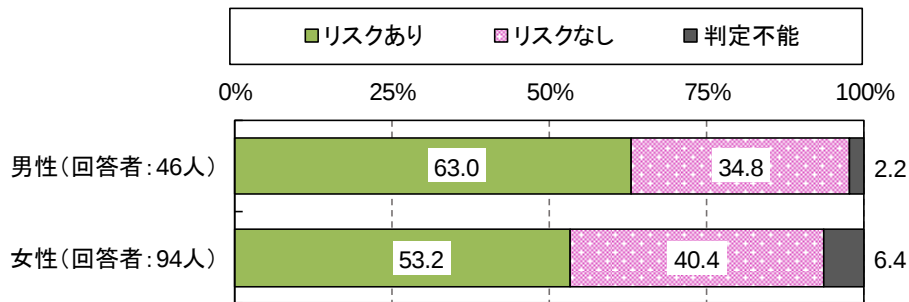
問 15 は咀嚼機能の低下を問う設問です。「問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」(56.4% : 「はい」) と回答した場合は、咀嚼機能の低下があると判定される。

(3) 咀嚼機能の低下

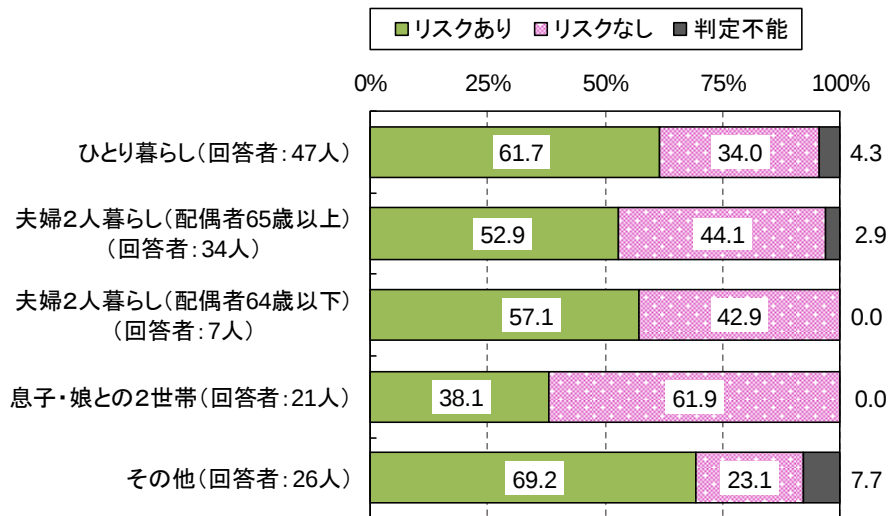
● 年齢別咀嚼機能の低下状況



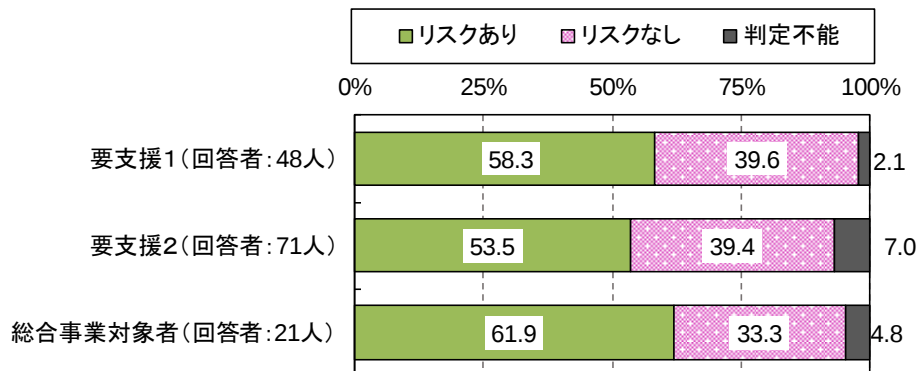
●男女別咀嚼機能の低下状況



●世帯構成別咀嚼機能の低下状況



●認定状況別咀嚼機能の低下状況



咀嚼機能低下は、全体の 56.4%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、90 歳以上の 73.1%が該当者となっている。

男女別では、「男性」の 63.0%、「女性」の 53.2%が該当者となっており、男性に該当者が多くなっている。

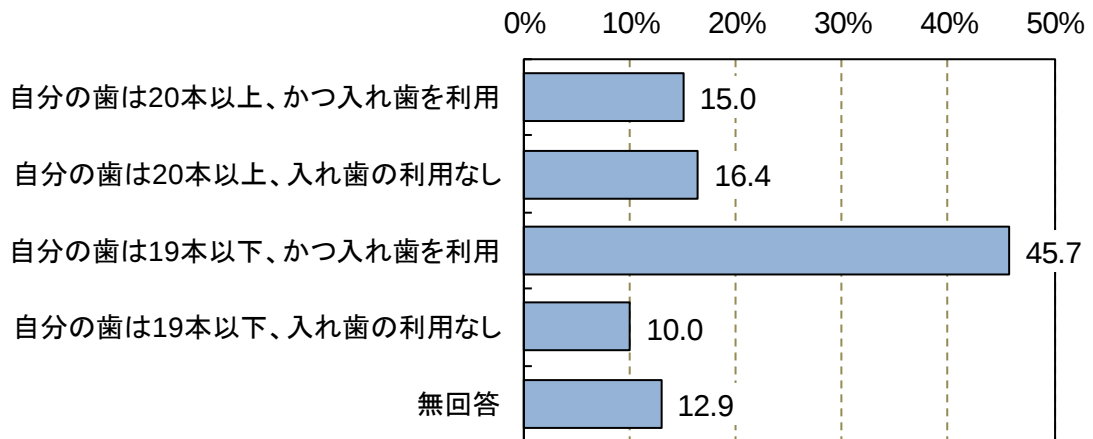
世帯構成別では、「ひとり暮らし」の 61.7%が該当者となっている。

認定状況別では、「要支援1」、「要支援2」、「総合事業対象者」ともに5割以上が該当し、特に「総合事業対象者」では 61.9%が該当者となっている。

(4) 入れ歯の利用状況

問 16 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)。(○は 1 つ)

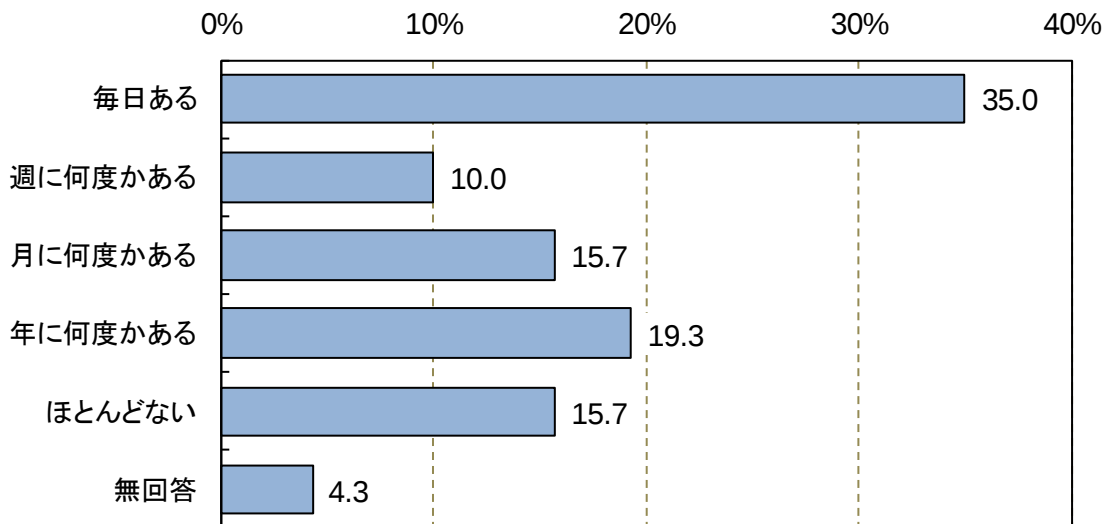


(回答者: 140人)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 45.7%と最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」(16.4%)、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(15.0%)、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」(10.0%)となっている。

(5) 共食機会の有無

問 17 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つ)



(回答者: 140人)

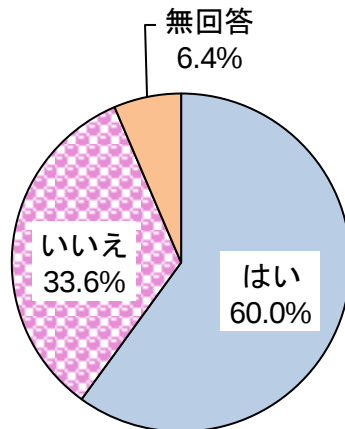
どなたかと食事をとる機会があるかは、「毎日ある」が 35.0%と最も多く、次いで「年に何度かある」(19.3%)、「月に何度かある」(15.7%)、「週に何度かある」(10.0%)となっている。

また、「ほとんどない」という回答も 15.7%あった。

4 毎日の生活について

(1) 物忘れ

問18 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

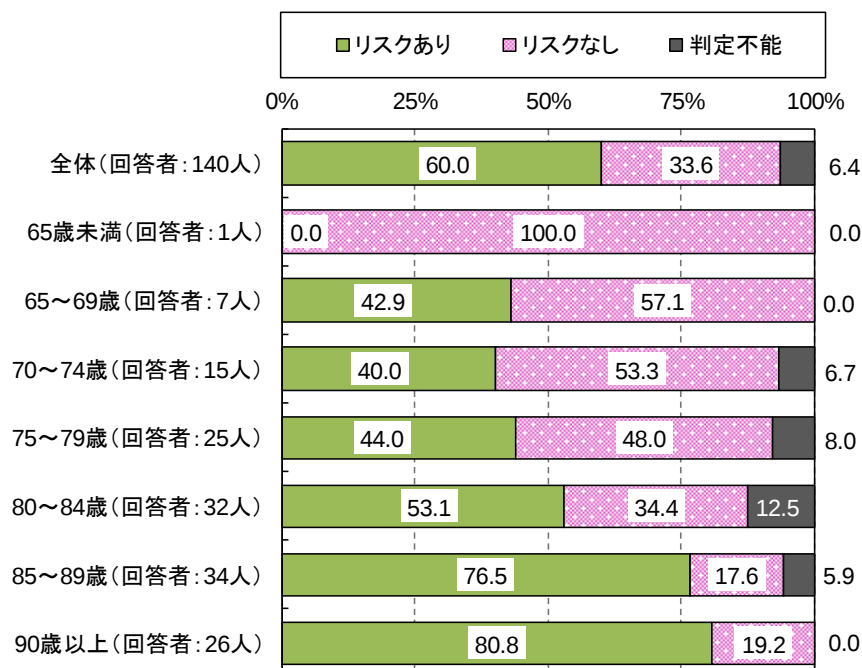


(回答者: 140人)

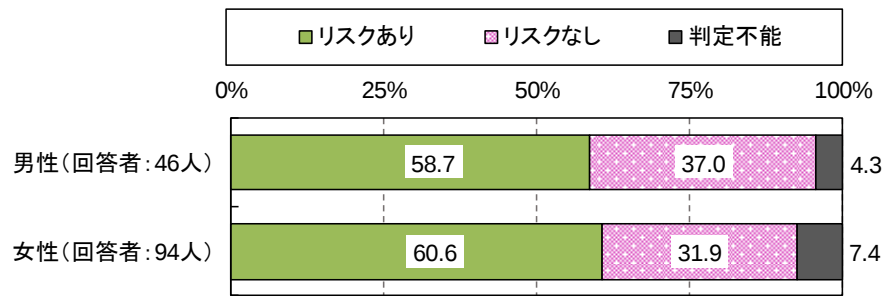
問18は認知機能の低下を問う設問です。「問18 物忘れが多いと感じますか」(60.0%:「はい」)と回答した場合は、認知機能の低下があると判定される。

(2) 認知機能の低下について

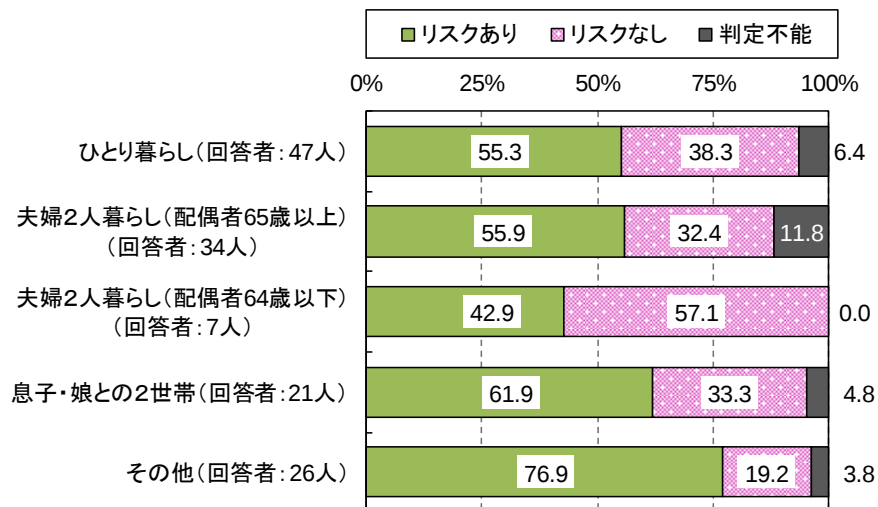
●年齢別認知機能の低下状況



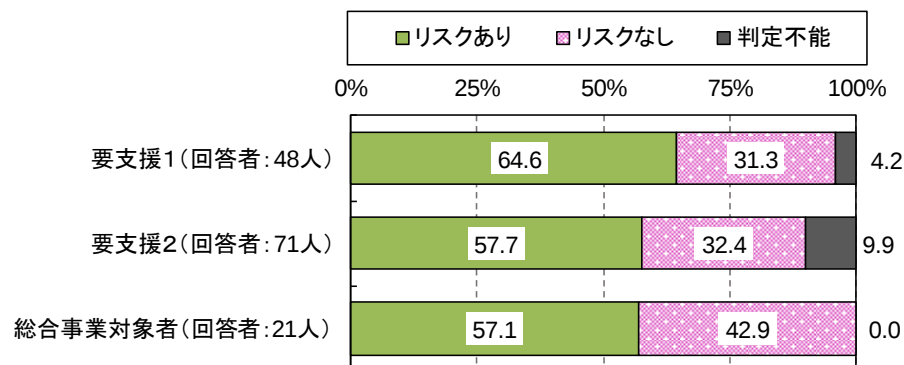
●男女別認知機能の低下状況



●世帯構成別認知機能の低下状況



●認定状況別認知機能の低下状況



認知機能の低下は、全体の 60.0%が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなる傾向にあり、90 歳以上の 80.8%が該当者となっている。

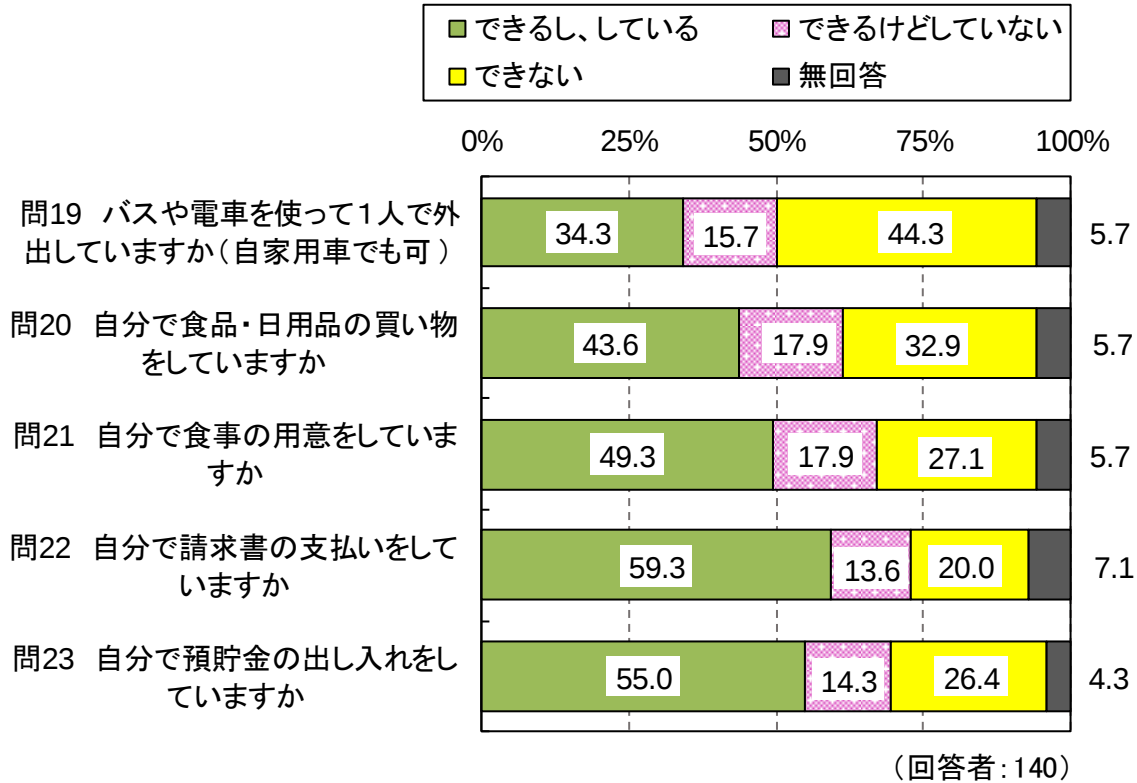
男女別では、「男性」の 58.7%、「女性」の 60.6%が該当者となっており、女性に該当者が多くなっている。

世帯構成別では、「息子・娘との2世帯」の 61.9%が該当者となっている。

認定状況別では、「要支援1」、「要支援2」、「総合事業対象者」とともに5割以上が該当し、特に「要支援1」では 64.6%が該当者となっている。

(3) 日常生活の状況

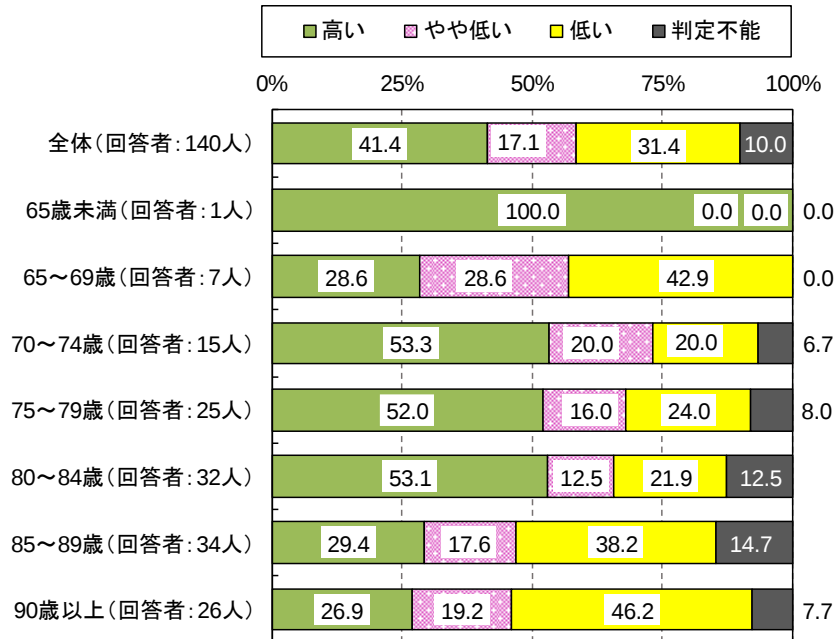
- 問 19 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。(○は1つ)
 問 20 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)
 問 21 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)
 問 22 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)
 問 23 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)



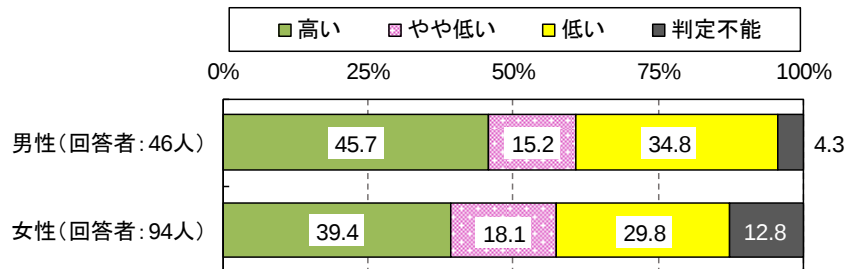
問 19～問 23 は、I ADL の低下を問う設問です。問 19 から問 23 の項目について、「できるし、している」もしくは「できるけどしていない」と回答した場合を 1 点として、5 点満点で I ADL を評価します。(5 点：高い、4 点：やや低い、3 点以下：低い)。「問 19 バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）」(34.3%：「できるし、している」、15.7%：「できるけどしていない」)、「問 20 自分で食品・日用品の買物をしていますか」(43.6%：「できるし、している」、17.9%：「できるけどしていない」)、「問 21 自分で食事の用意をしていますか」(49.3%：「できるし、している」、17.9%：「できるけどしていない」)、「問 22 自分で請求書の支払いをしていますか」(59.3%：「できるし、している」、13.6%：「できるけどしていない」)、「問 23 自分で預貯金の出し入れをしていますか」(55.0%：「できるし、している」、14.3%：「できるけどしていない」)となっている。

(4) IADLの低下

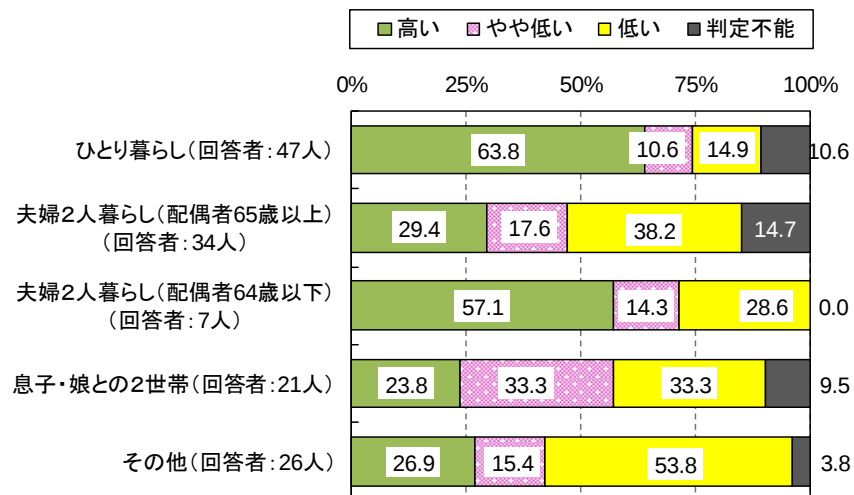
●年齢別 IADLの低下状況



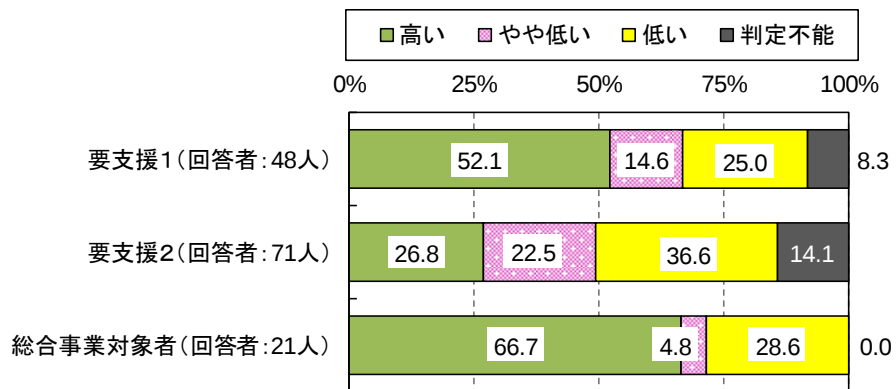
●男女別 IADLの低下状況



●世帯構成別 IADLの低下状況



●認定状況別 I A D L の低下状況



I A D L の低下は、「やや低い」、「低い」を低下者とする、全体の 48.5% が該当者となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれ該当者が多くなり、85 歳以上の 5 割以上が該当者となっている。

男女別では、「男性」の 50.0%、「女性」の 47.9% が該当者となっており、男性に該当者が多くなっている。

世帯構成別では、「息子・娘との 2 世帯」の 66.6% が該当者となっている。

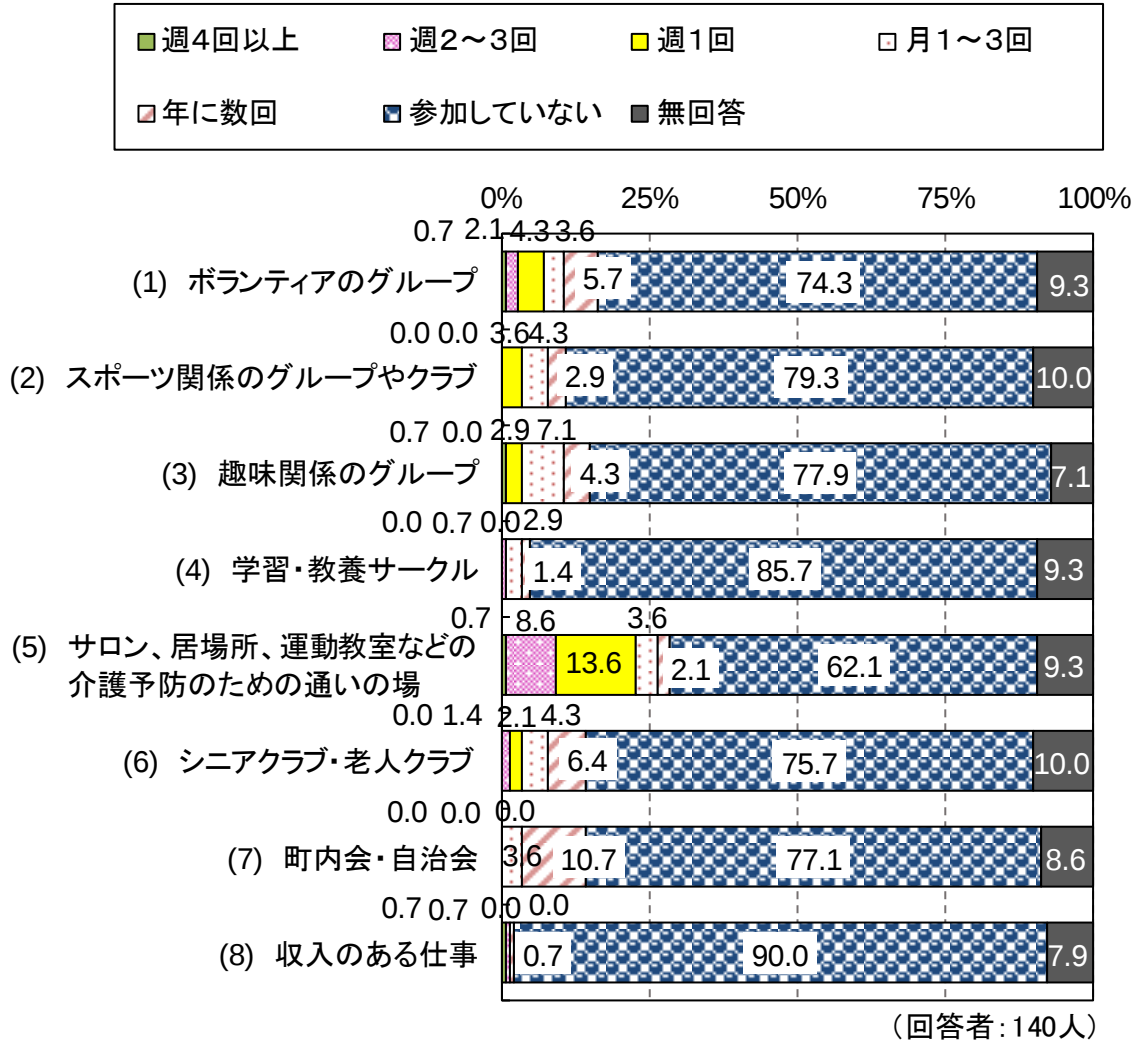
認定状況別では、「要支援 2」の 5 割以上が該当者となっている。

5 地域での活動について

(1) グループ活動等の参加頻度

問 24 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(○はそれぞれ1つ)

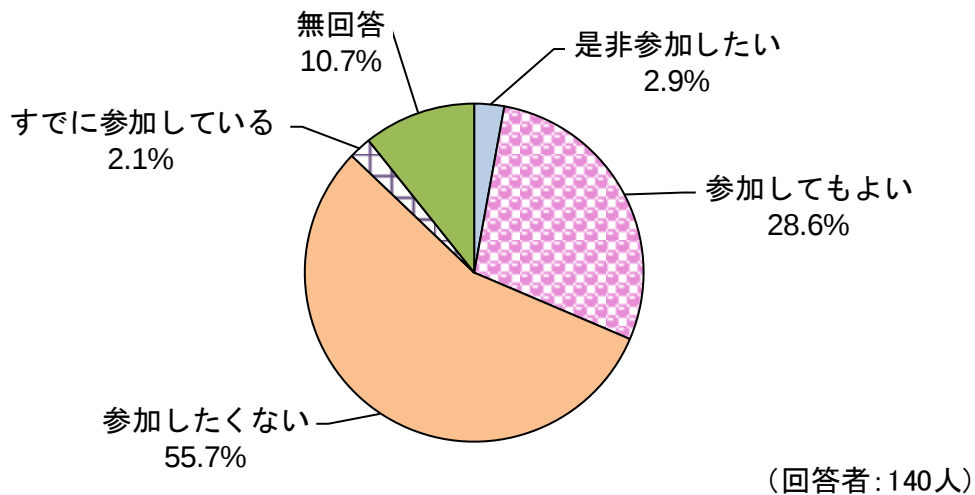


グループ活動等にどのくらいの頻度で参加しているかは、「(5) サロン、居場所、運動教室などの介護予防のための通いの場」の参加状況が比較的高く、「参加していない」を除いて、約3割が参加している。

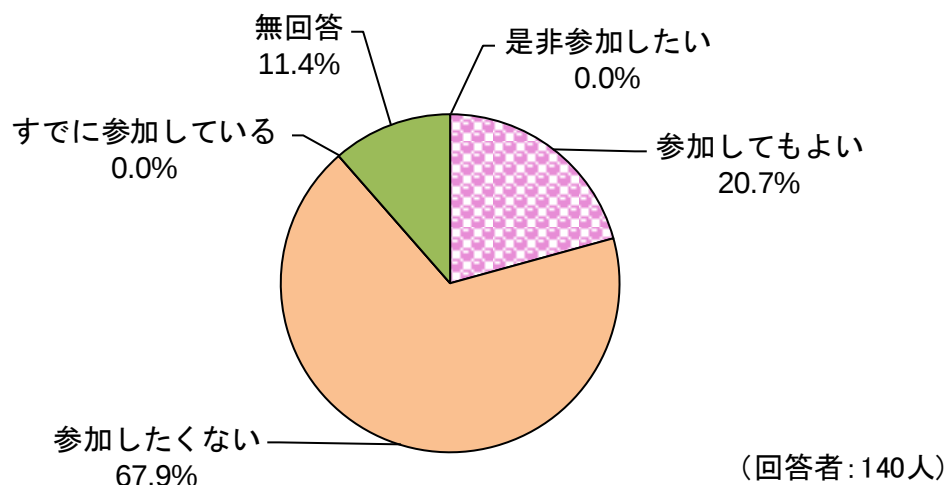
また、「参加していない」という回答が最も多かったのは、「(8) 収入のある仕事」(90.0%)となっている。

(2) 社会参加

問 25 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）



問 26 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）



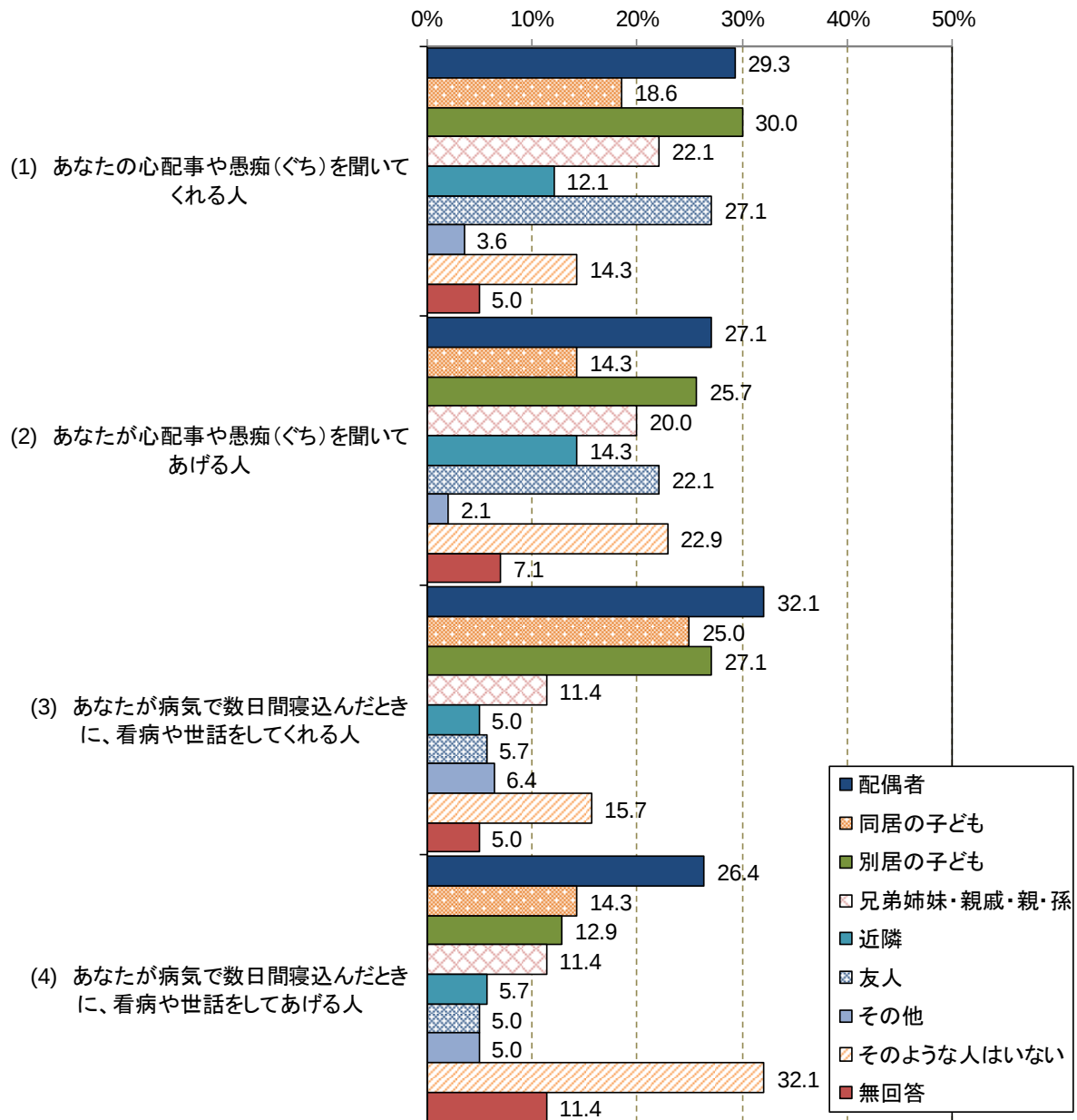
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいかでは、「是非参加したい」(2.9%)、「参加してもよい」(28.6%)を合わせると、31.5%に参加意向がある。

また、企画・運営としての参加意向は、「参加してもよい」が20.7%となっている。

6 たすけあいについて

(1) 「たすけあい」

問 27 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。



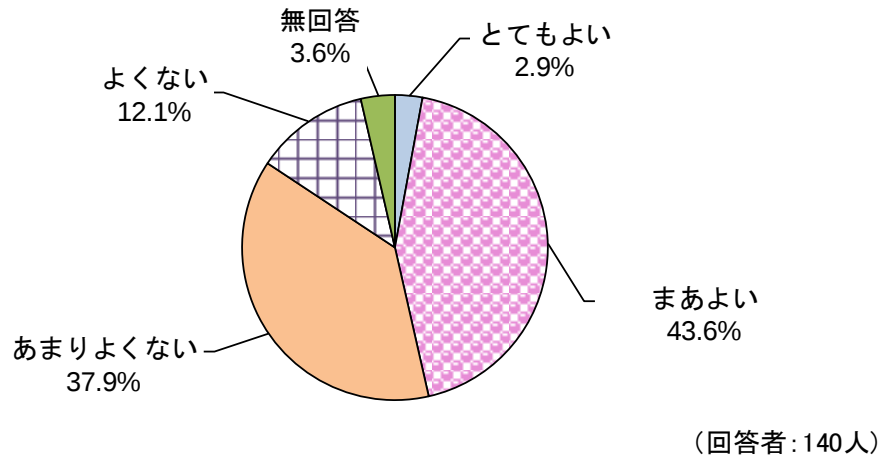
(回答者: 140人)

あなたとまわりの人の「たすけあい」については、全ての項目において「配偶者」、「別居の子ども」という回答が多くなっている。

7 健康について

(1) 健康状態

問 28 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

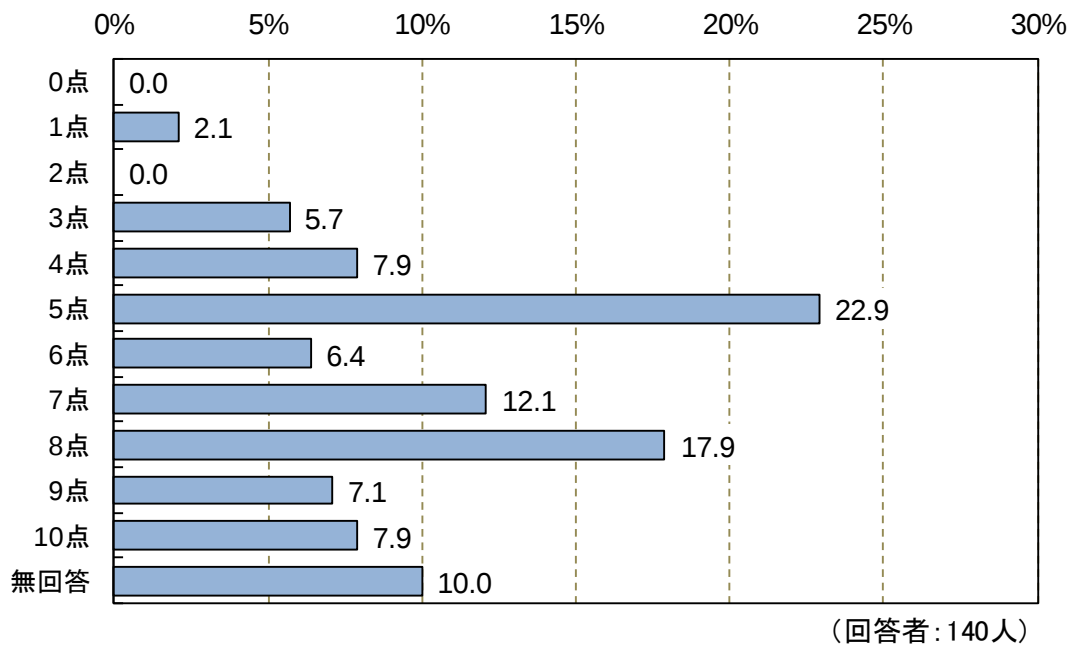


現在の健康状態は、「とてもよい」(2.9%)、「まあよい」(43.6%)を合わせると、46.5%が健康状態はよいと回答している。また、「よくない」(12.1%)、「あまりよくない」(37.9%)を合わせると、50.0%が健康状態はよくないと回答している。

(2) 現在の幸福度

問 29 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

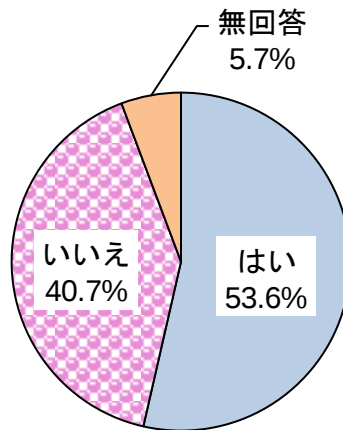


現在どの程度幸せかは、「5点」が22.9%と最も多く、次いで「8点」(17.9%)、「7点」(12.1%)と続いており、5点以上の回答が7割以上となっている。

(3) こころの健康

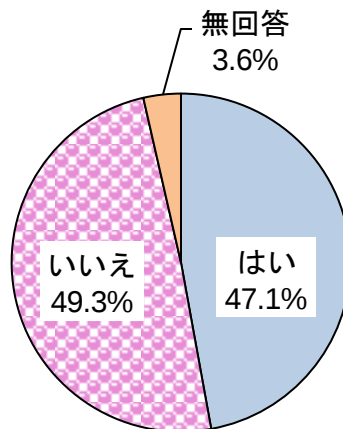
問 30 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

(○は1つ)



(回答者:140人)

問 31 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

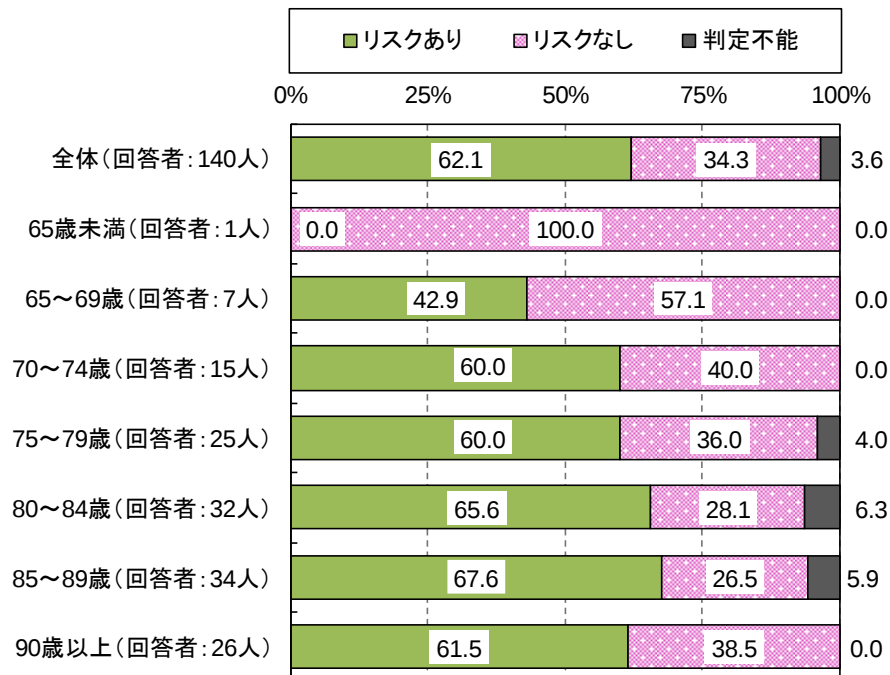


(回答者:140人)

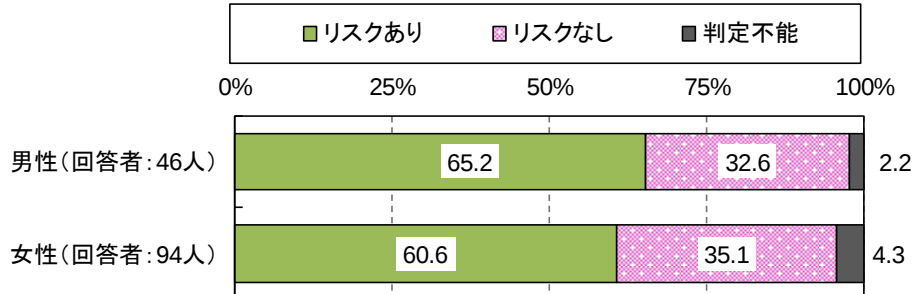
問 30、問 31 はうつ傾向を問う設問です。各項目の該当割合は、「問 30 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」(53.6% : 「はい」)、「問 31 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」(47.1% : 「はい」)となっており、いずれか1つの設問に該当すると、うつ傾向と判定される。

(4) うつ傾向

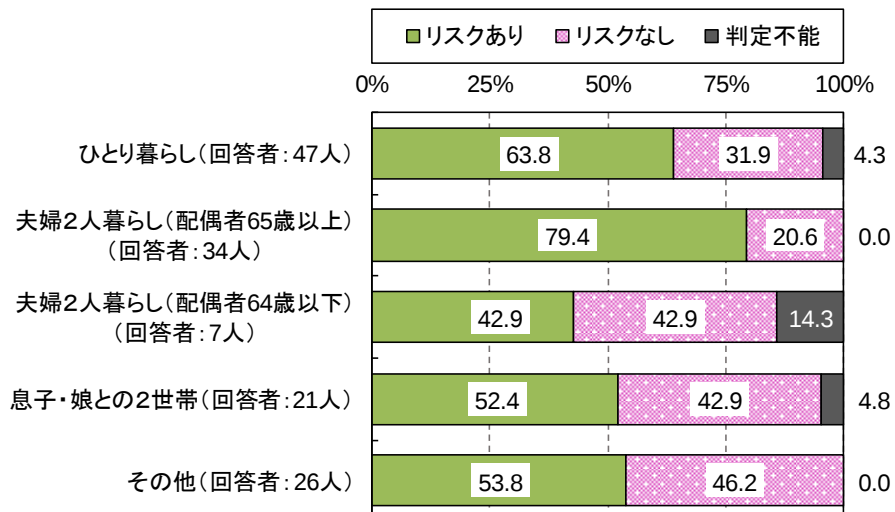
●年齢別うつ傾向



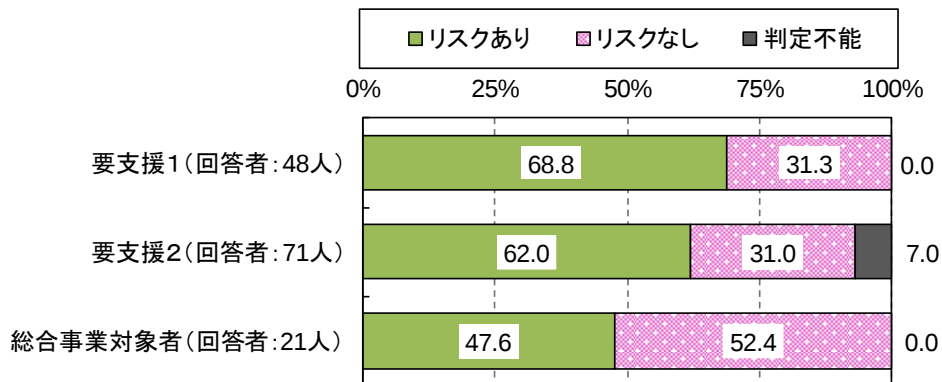
●男女別うつ傾向



●男女別うつ傾向



●認定状況別うつ傾向



うつ傾向は、全体の 62.1% が該当者となっている。

年齢別では、70 歳以上で該当者が 6 割を超えている。

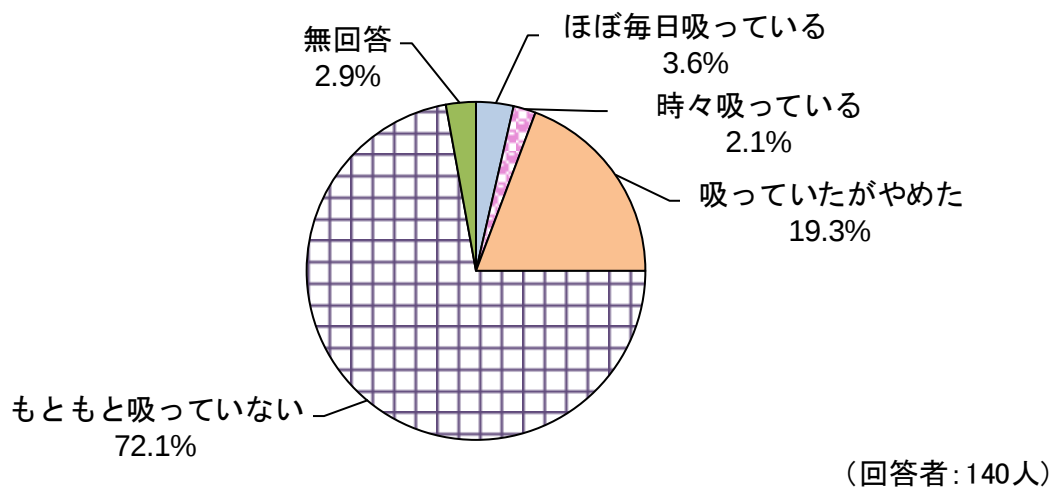
男女別では、「男性」の 65.2%、「女性」の 60.6% が該当者となっており、男性に該当者が多くなっている。

世帯構成別では、「夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の 79.4% が該当者となっている。

認定状況別では、「要支援 1」、「要支援 2」とともに 6 割以上が該当し、特に「要支援 1」では 68.8% が該当者となっている。

(5) 喫煙状況

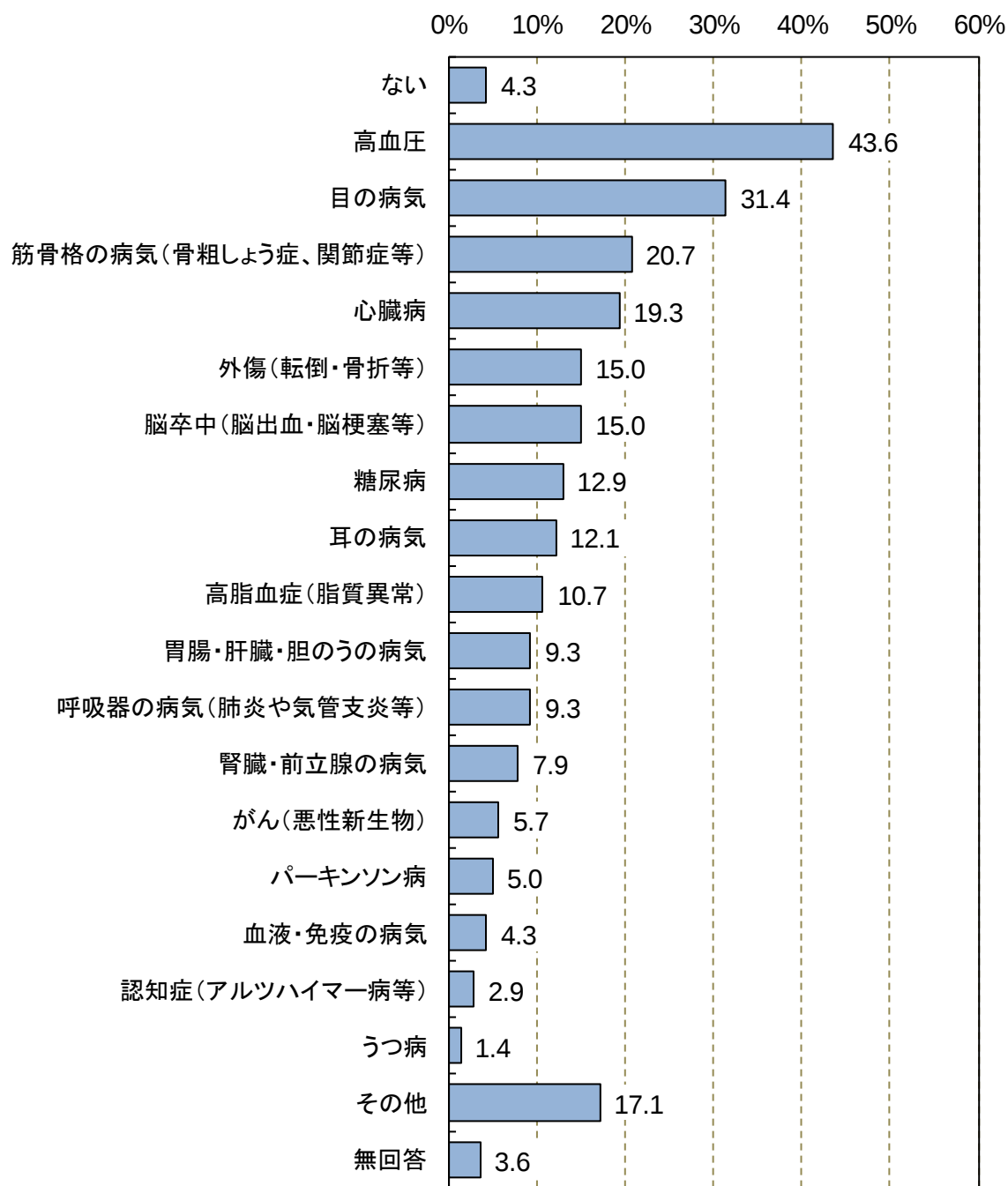
問 32 タバコは吸っていますか。(○は 1 つ)



喫煙については、「もともと吸っていない」が 72.1% で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(19.3%)、「ほぼ毎日吸っている」(3.6%)、「時々吸っている」(2.1%) となっている。

(6) 病気（治療中又は後遺症）

問 33 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（〇はいくつでも）



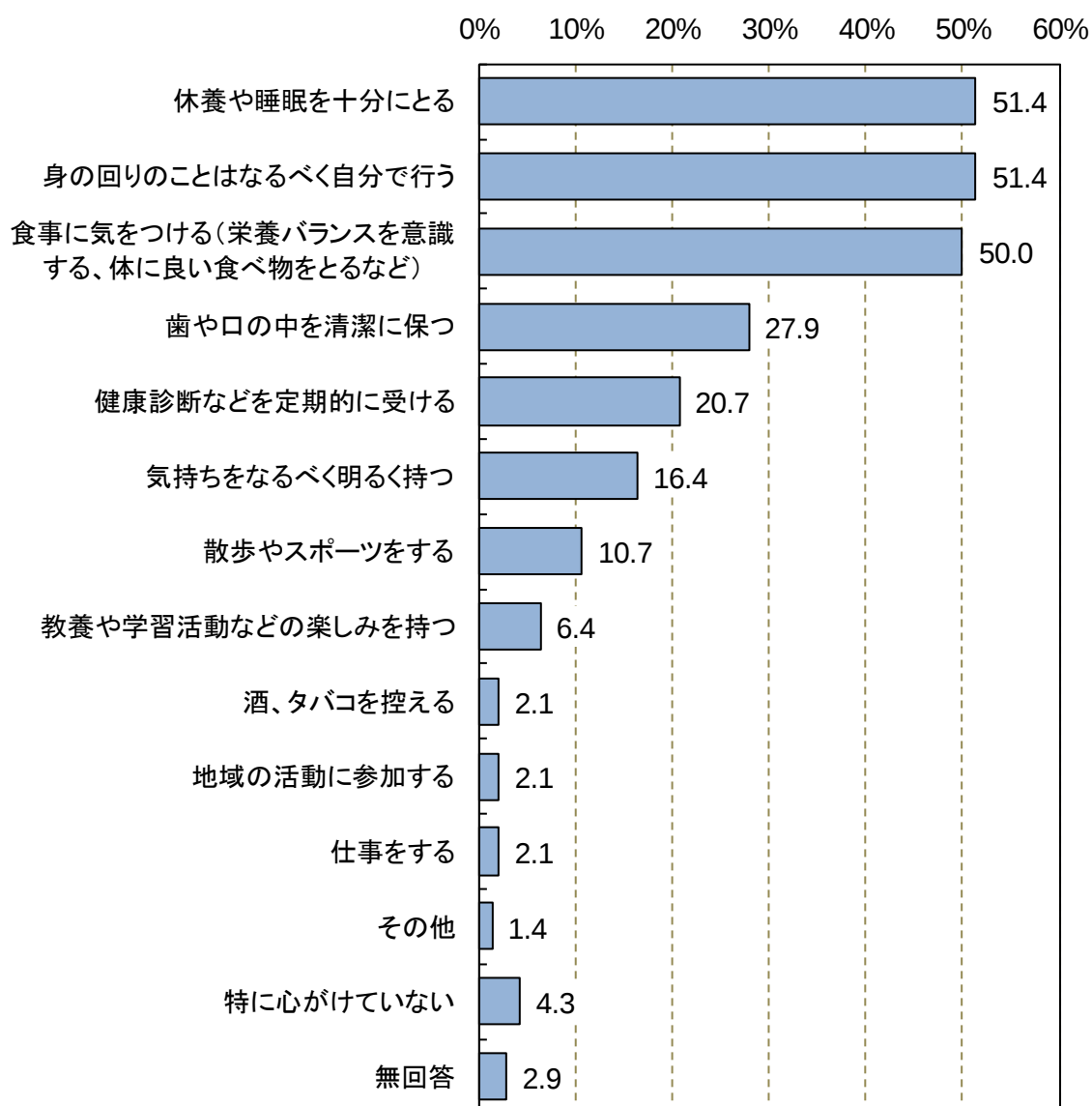
(回答者:140人)

現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が 43.6%と最も多く、次いで「目の病気」(31.4%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(20.7%)と続いている。

また、4.3%が「ない」と回答している。

(7) 健康のために心がけていること

問 34 ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(〇は3つまで)

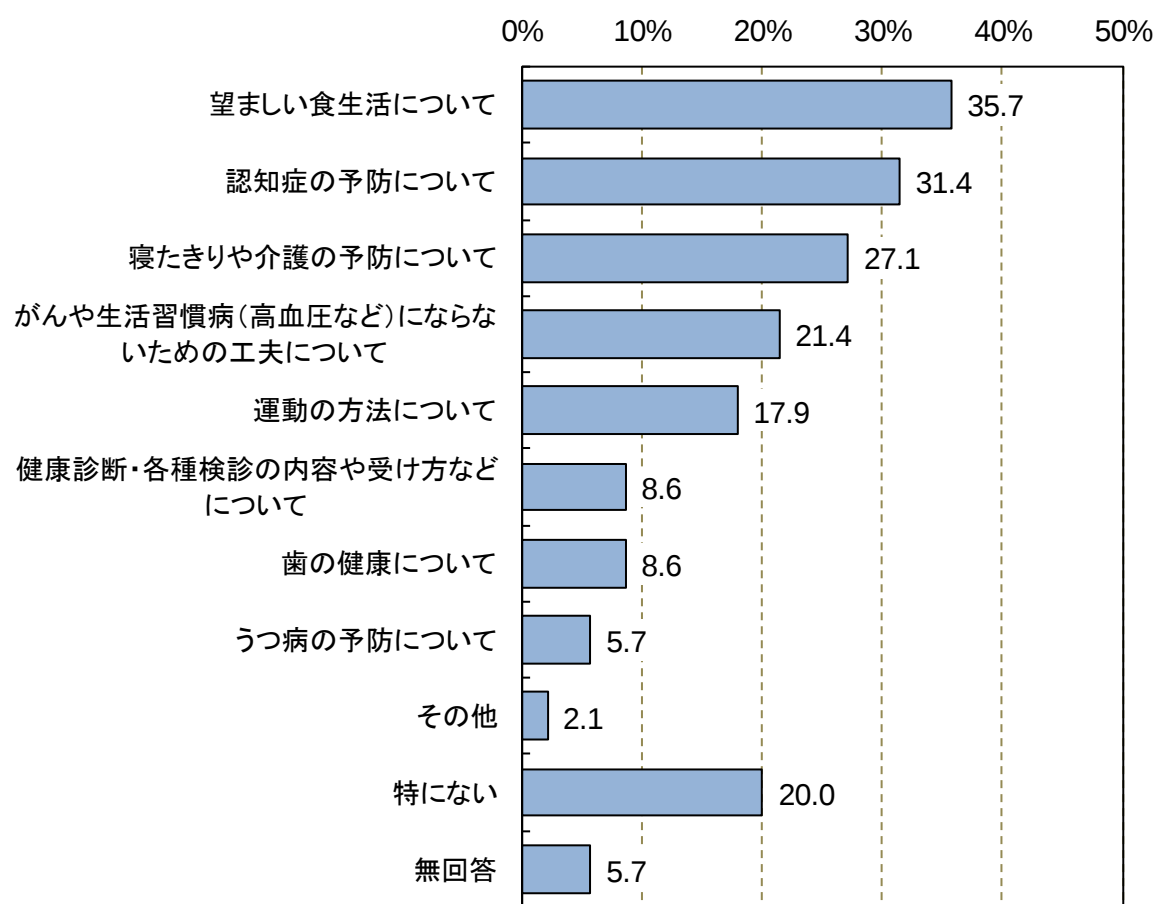


(回答者:140人)

健康のために心がけていることは、「休養や睡眠を十分にとる」、「身の回りのことはなるべく自分で行う」(ともに 51.4%)、「食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)」(50.0%) となっており、この3つの回答が5割を超え、比較的多い回答となっている。

(8) 健康について知りたいこと

問 34 健康についてどのようなことが知りたいですか。(〇は3つまで)

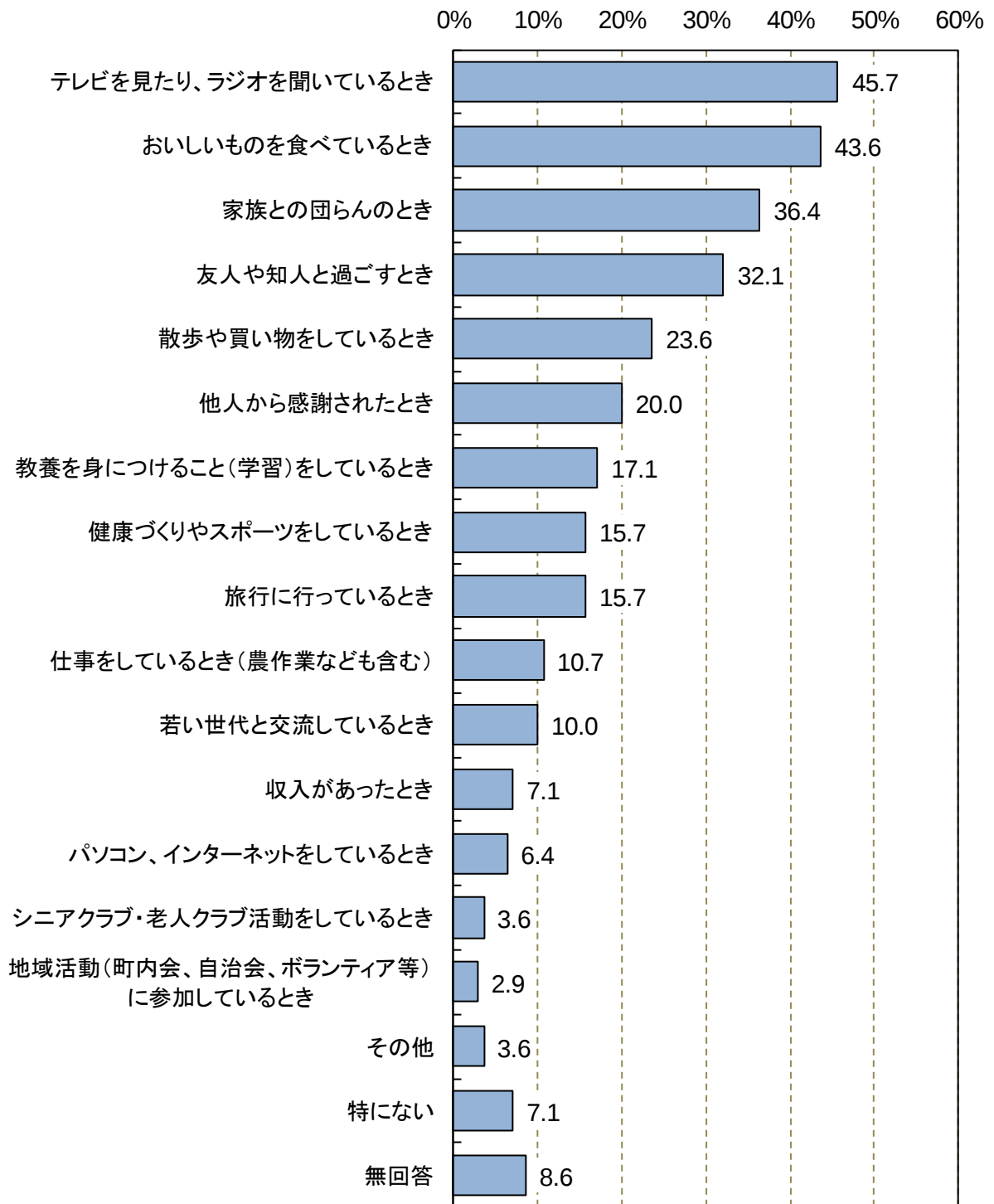


(回答者: 140人)

健康について知りたいことは、「望ましい食生活について」が 35.7%と最も多く、次いで「認知症の予防について」(31.4%)、「寝たきりや介護の予防について」(27.1%)と続いている。

(9) 生きがい

問 36 生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのはどのような時ですか。（○はいくつでも）

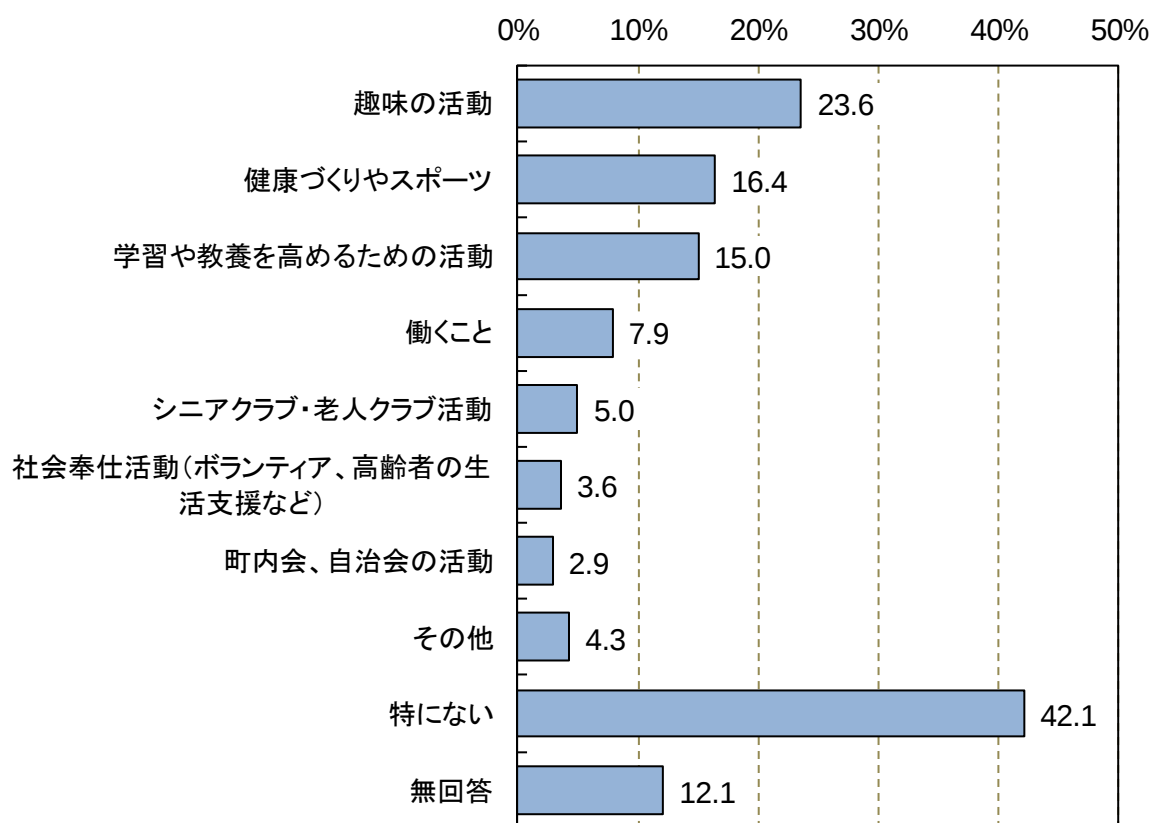


(回答者: 140人)

生きがいを感じるのは、「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が 45.7%と最も多く、次いで「おいしいものを食べているとき」(43.6%)、「家族との団らんのとき」(36.4%)と続いている。

(10) 今後やってみたいこと

問 37 今後やってみたいと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)



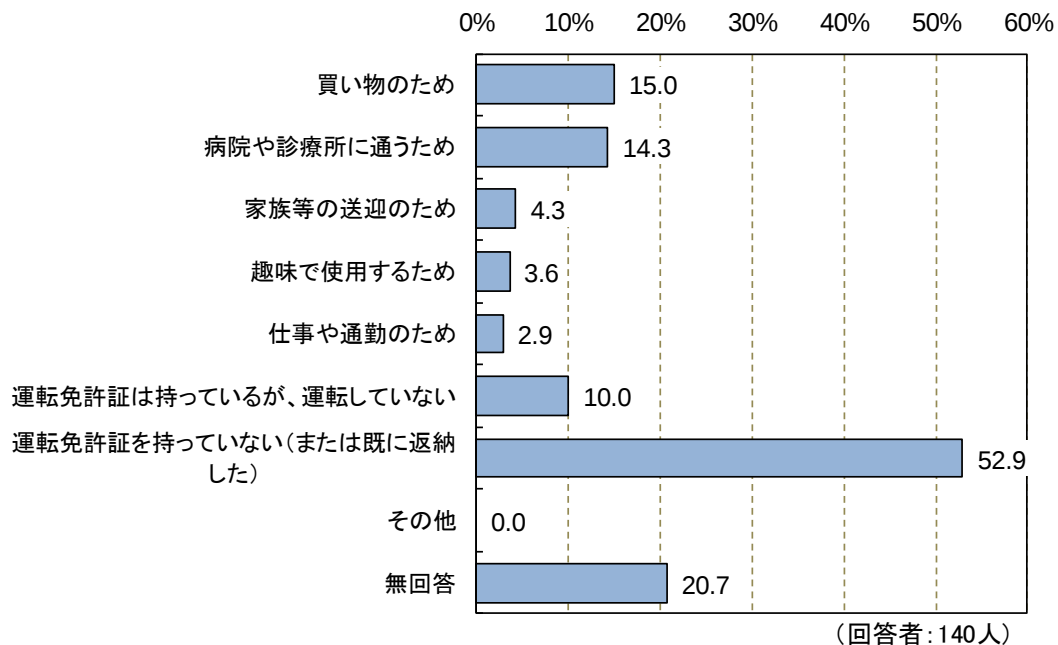
(回答者:140人)

今後やってみたいと思うものは、「趣味の活動」が 23.6%と最も多く、次いで「健康づくりやスポーツ」(16.4%)、「学習や教養を高めるための活動」(15.0%)と続いている。

また、42.1%は「特にない」と回答している。

(11) 自動車の運転目的

問 38 日頃、どのような目的で自動車を運転していますか。(○はいくつでも)



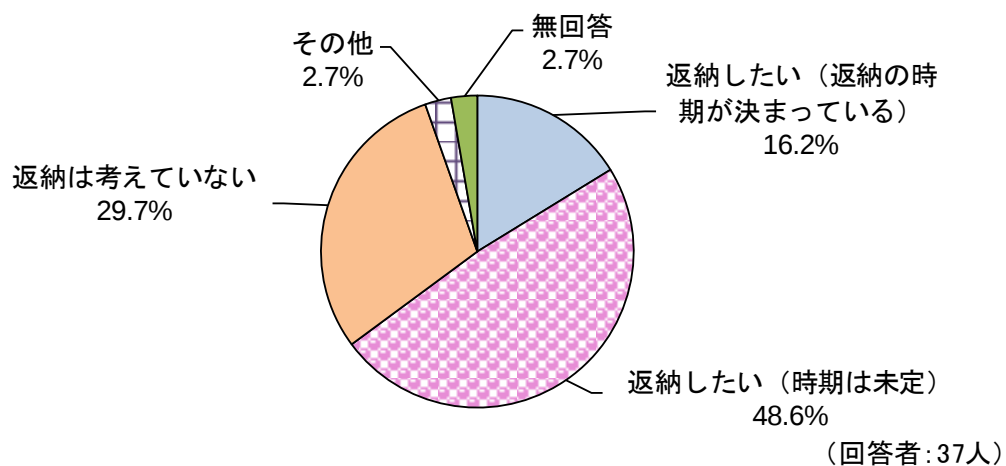
自動車の運転目的は、「買い物のため」が 15.0%と最も多く、次いで「病院や診療所に通うため」(14.3%)、「家族等の送迎のため」(4.3%)と続いている。

また、52.9%は「運転免許証を持っていない(または既に返納した)」と回答している。

(12) 運転免許証の返納

問 38 で「1」～「6」と回答した方にお聞きします。

問 38-1 あなたは、運転免許の返納について、どのように考えていますか。(○は1つ)



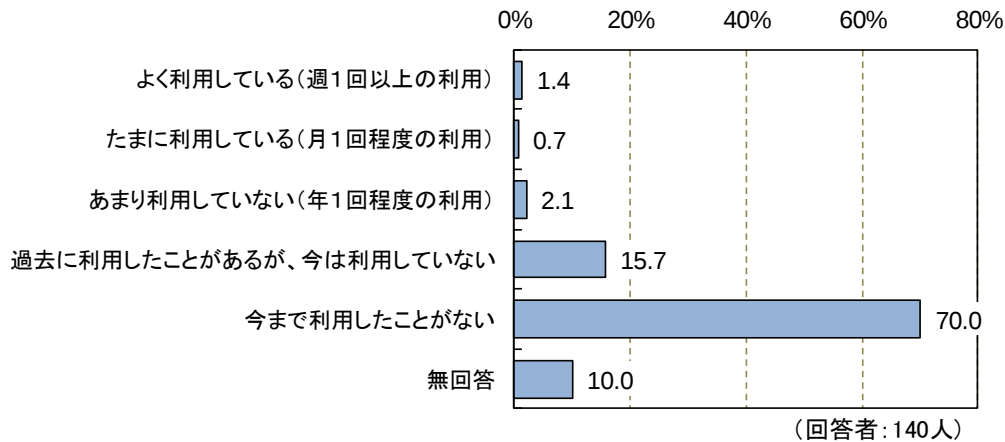
問 38 で「買い物のため」、「病院や診療所に通うため」、「家族等の送迎のため」、「仕事や通勤のため」、「趣味で使用するため」、「運転免許証は持っているが、運転していない」と回答した 37 人に、運転免許の返納について、どのように考えているか尋ねると、「返納したい(時期は未定)」(48.6%)、「返納したい(返納の時期が決まっている)」(16.2%)と 6 割以上に返納の意向がある。

また、29.7%は「返納は考えていない」と回答している。

8 老人いきいの家について

(1) 老人いきいの家の利用状況

問 39 柏谷にあります「函南町老人いきいの家」についておうかがいします。
あなたはどのくらい「老人いきいの家」を利用していますか。(○は1つ)

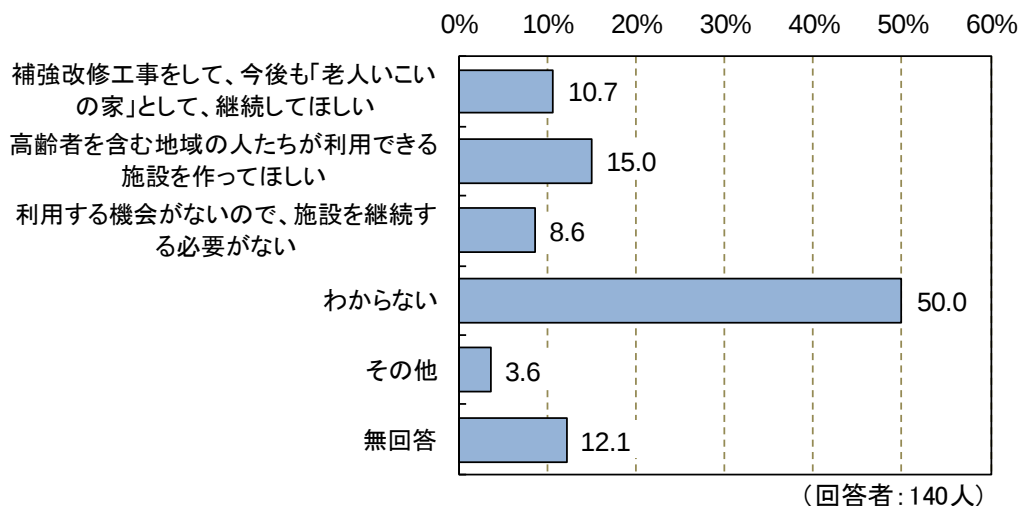


老人いきいの家の利用状況は、70.0%が「今まで利用したことがない」と回答している。

また、利用している方の頻度は、「よく利用している(週1回以上の利用)」(1.4%)、「たまに利用している(月1回程度の利用)」(0.7%)、「あまり利用していない(年1回程度の利用)」(2.1%)となっている。

(2) 今後の施設の在り方

問 40 「老人いきいの家」は老朽化が進んでおり、今後の施設の在り方についてあなたの考えをご回答ください。(○は1つ)

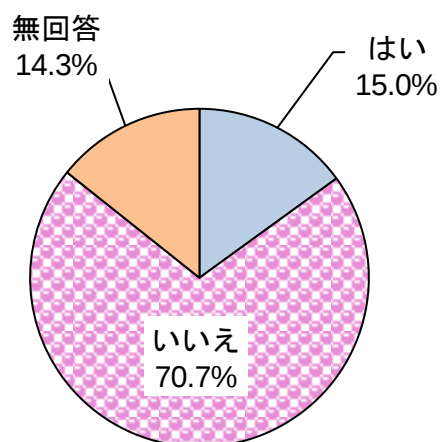


今後の施設の在り方は、50.0%が「わからない」と回答しており、判断しかねている様子がうかがえる。その他、「補強改修工事をして、今後も「老人いきいの家」として、継続してほしい」(10.7%)、「高齢者を含む地域の人たちが利用できる施設を作してほしい」(15.0%)となっている。また、「利用する機会がないので、施設を継続する必要がない」という回答は8.6%となっている。

9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症状の有無

問 41 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

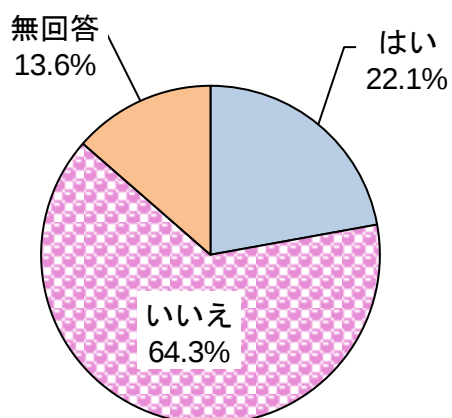


(回答者:140人)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかは、「はい」(15.0%)、「いいえ」(70.7%)となっている。

(2) 認知症の相談窓口

問 42 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)



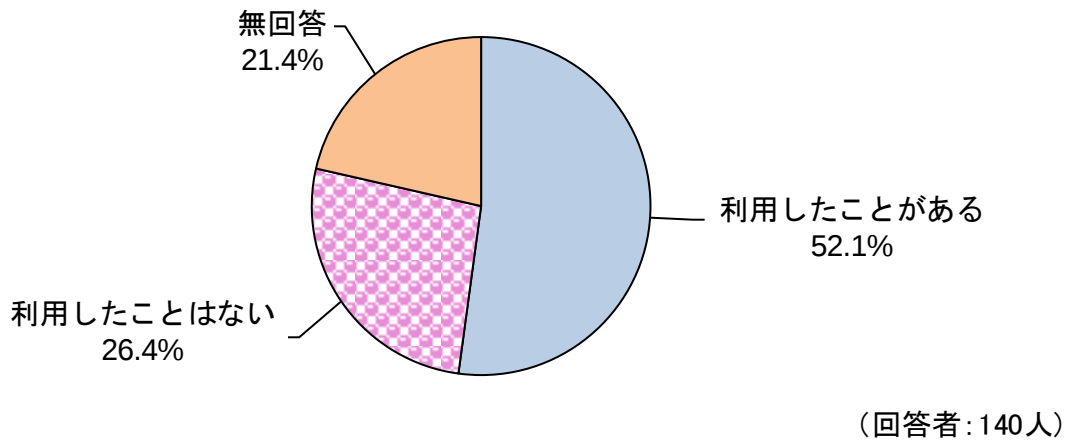
(回答者:140人)

認知症に関する相談窓口を知っているかは、「はい」(22.1%)、「いいえ」(64.3%)となっている。

10 介護保険サービスについて

(1) 介護保険サービスの利用経験

問43 あなたは介護保険サービスを利用したことがありますか。(○は1つ)

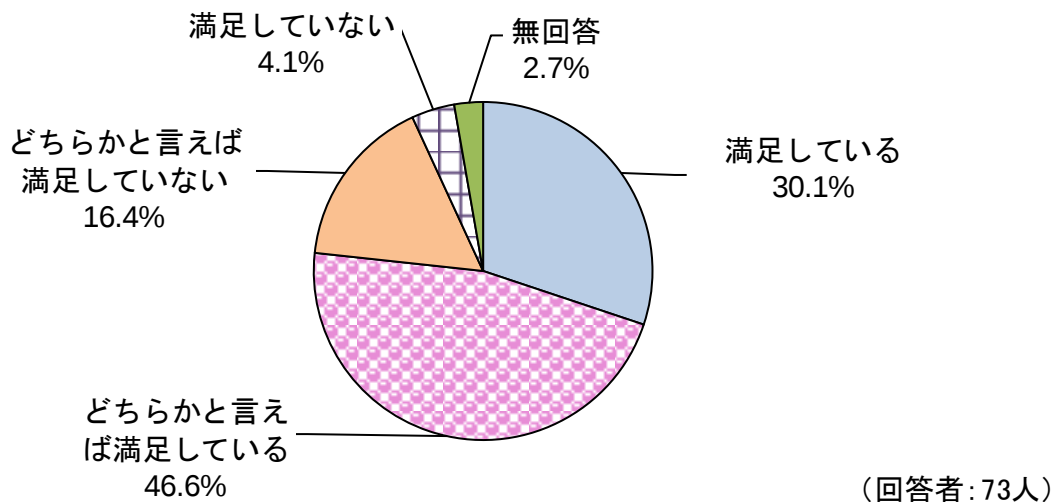


介護保険サービスの利用経験は、52.1%が「利用したことがある」と回答している。

(2) 介護保険制度について

問43-1～問43-2は、問43で「1 利用したことがある」と回答した方にお聞きします。

問43-1 介護保険制度全般についてどのように思いますか。(○は1つ)

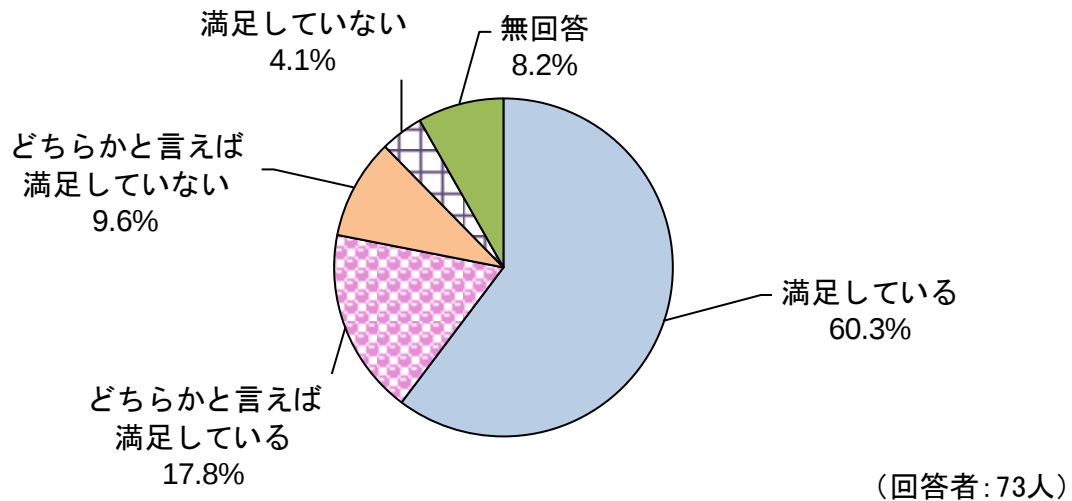


問43で「利用したことがある」と回答した73人に介護保険制度全般についてどのように思うか尋ねると、「満足している」(30.1%)、「どちらかと言えば満足している」(46.6%)で、合わせると、76.7%が満足していると回答している。一方、「満足していない」(4.1%)、「どちらかと言えば満足していない」(16.4%)で、合わせると20.5%が満足していないと回答している。

(3) ケアマネジャーについて

問43-1～問43-2は、問43で「1 利用したことがある」と回答した方にお聞きします。

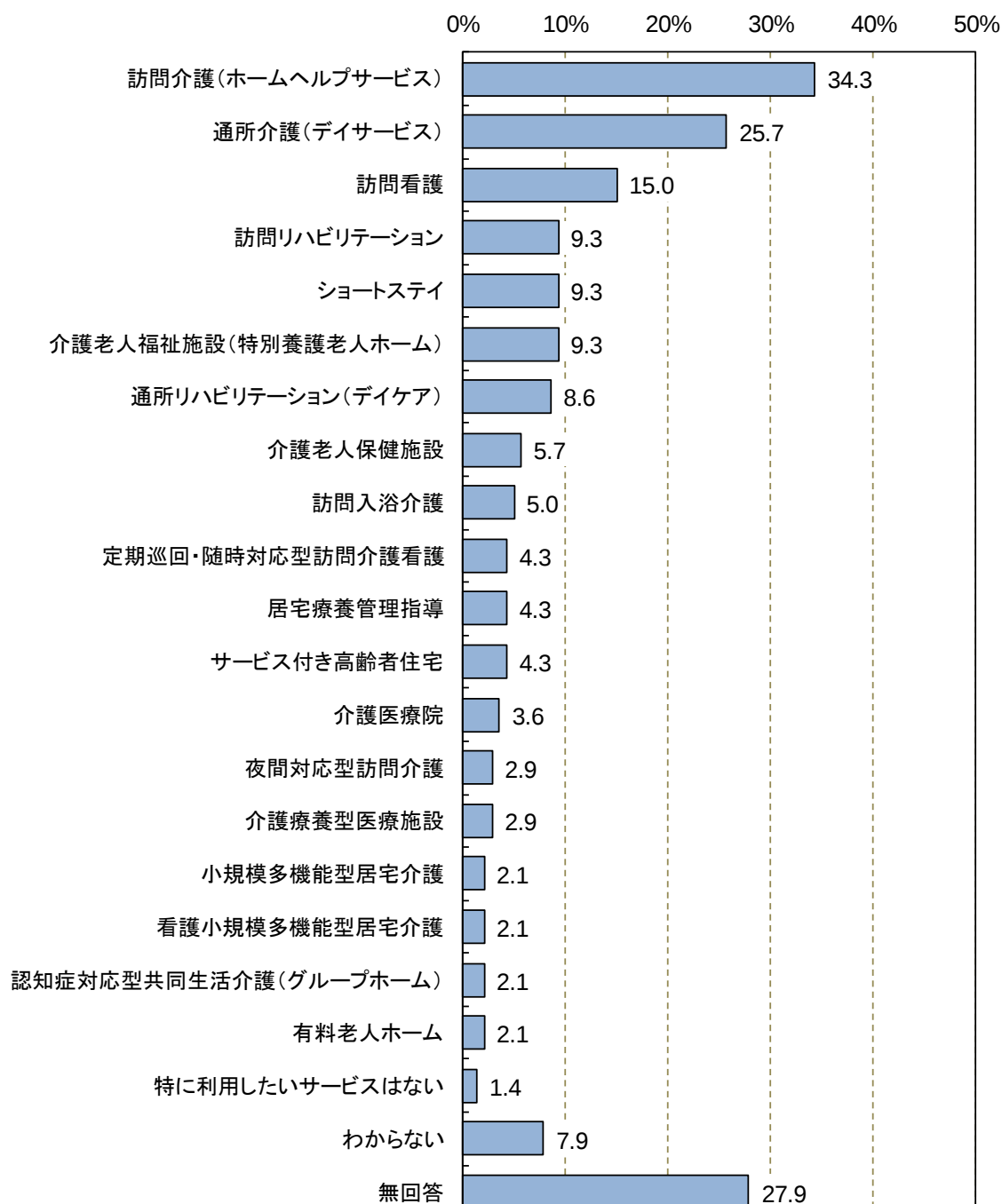
問43-2 あなたは担当のケアマネジャーに満足していますか。(○は1つ)



問43で「利用したことがある」と回答した73人に担当のケアマネジャーに満足しているか尋ねると、「満足している」(60.3%)、「どちらかと言えば満足している」(17.8%)で、合わせると、78.1%が満足していると回答している。一方、「満足していない」(4.1%)、「どちらかと言えば満足していない」(9.6%)で、合わせると13.7%が満足していないと回答している。

(4) 必要な介護保険サービス

問 44 あなたが安心して住み慣れた地域で暮らしていくために、必要と思う介護保険サービスは何ですか。(〇は3つまで)



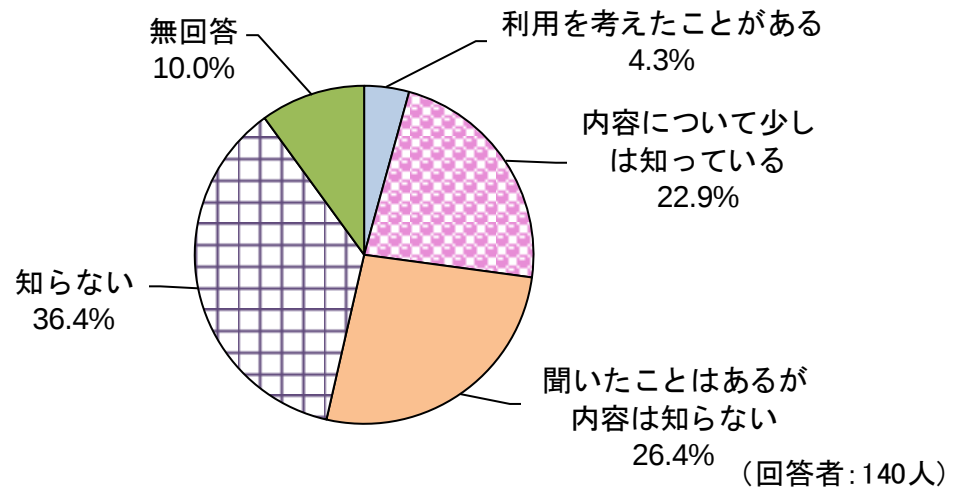
(回答者:140人)

安心して住み慣れた地域で暮らしていくために、必要と思う介護保険サービスは、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」が34.3%と最も多く、次いで「通所介護(デイサービス)」(25.7%)、「訪問看護」(15.0%)と続いている。

11 成年後見制度について

(1) 成年後見制度

問 45 成年後見についてご存知ですか。(○は1つ)



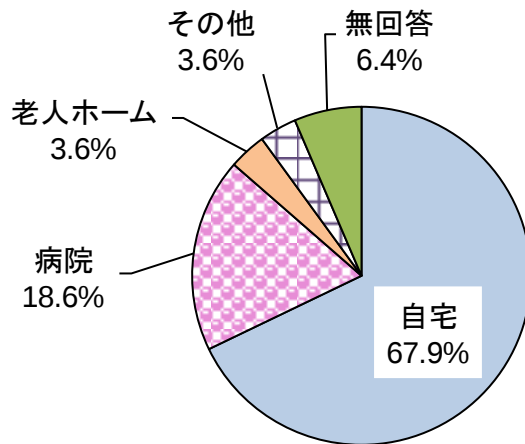
成年後見の認知度は、「利用を考えたことがある」(4.3%)、「内容について少しは知っている」(22.9%)、「聞いたことはあるが内容は知らない」(26.4%)となっている。

また、36.4%は「知らない」と回答している。

12 人生のしまい方について

(1) 人生の最期を迎える場所

問 46 人生の最期をどこで迎えたいですか。(〇は1つ)

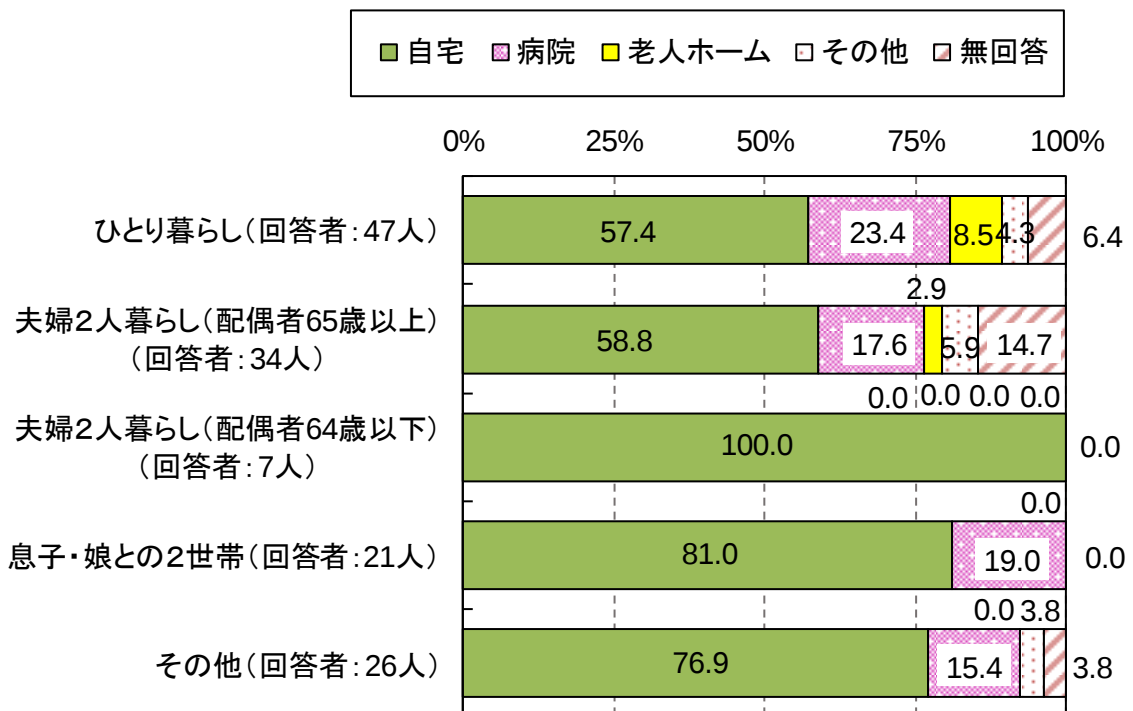


(回答者:140人)

人生の最期をどこで迎えたいかは、67.9%が「自宅」と回答している。その他、「病院」(18.6%)、「老人ホーム」(3.6%)となっている。

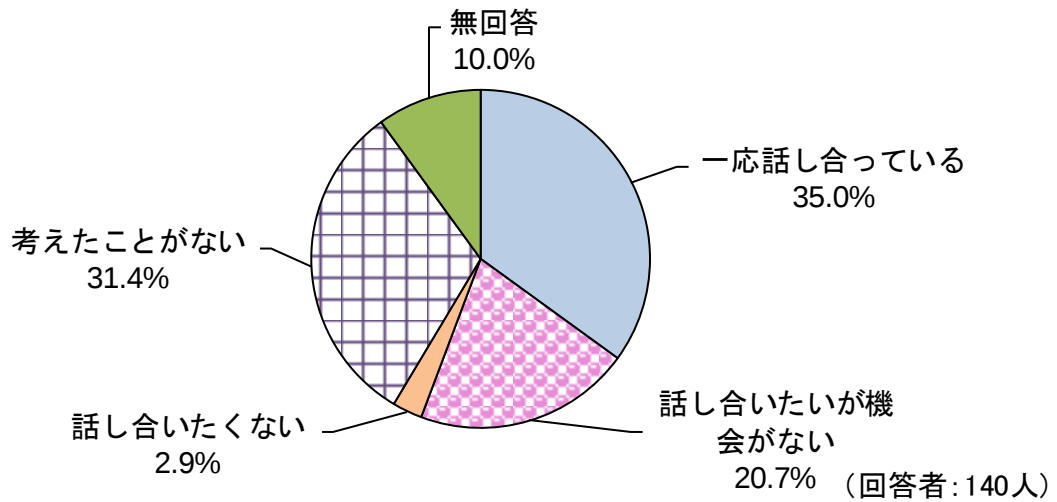
世帯構成別では、全体的には、「自宅」という回答が多いものの、「ひとり暮らし」では、比較的「病院」、「老人ホーム」という回答が多くなっている。

●世帯構成別人生の最期を迎える場所



(2) 人生の最終段階の医療について

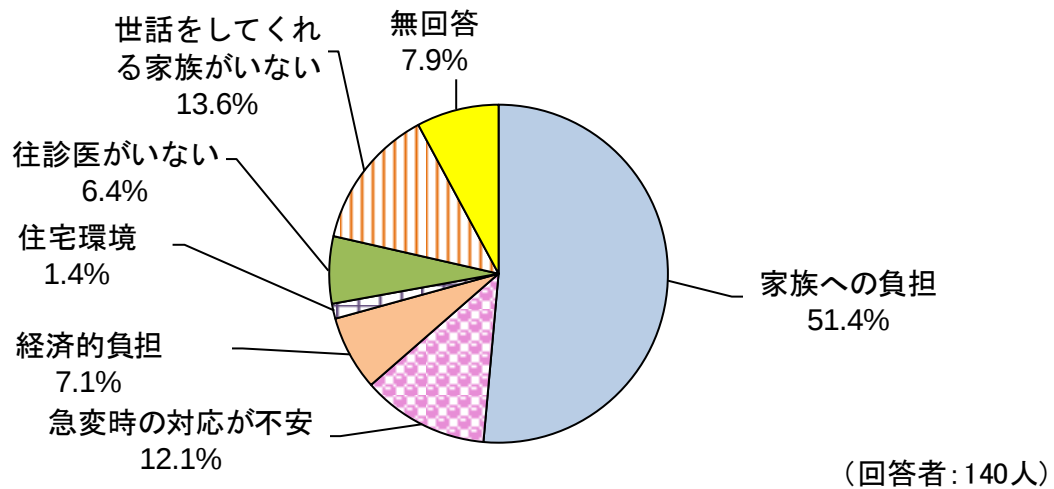
問47 人生の最終段階で受けたい又は受けたくない医療に関する話を家族や医療関係者としたことがありますか。(○は1つ)



人生の最終段階で受けたい又は受けたくない医療に関する話を家族や医療関係者としたことがあるかは、「一応話し合っている」(35.0%)、「話し合いたいが機会がない」(20.7%)、「話し合いたくない」(2.9%)、「考えたことがない」(31.4%)となっている。

(3) 自宅療養の心配点

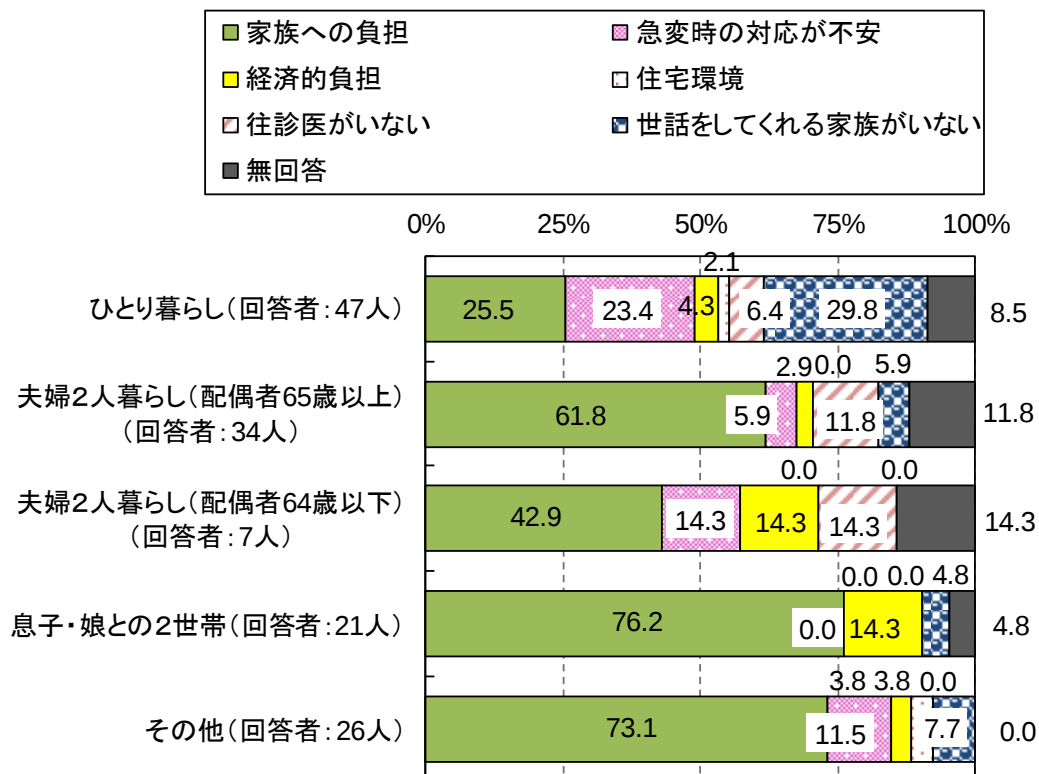
問 46 自宅で長期療養する場合の心配は何ですか。(○は1つ)



自宅で長期療養する場合の心配は、51.4%が「家族への負担」と回答している。その他、「急変時の対応が不安」(12.1%)、「経済的負担」(7.1%)、「住宅環境」(1.4%)、「往診医がいない」(6.4%)、「世話をしてくれる家族がいない」(13.6%)となっている。

世帯構成別では、同居の家族がいれば、「家族への負担」という回答が最も多く、「ひとり暮らし」では、「急変時の対応が不安」、「世話をしてくれる家族がいない」という回答が比較的多くなっている。

●世帯構成別自宅療養の心配点



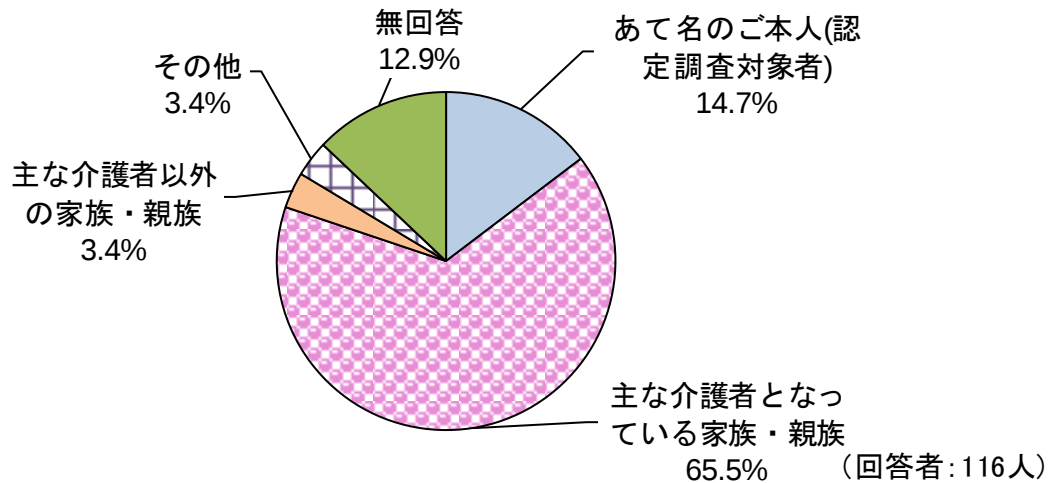
Ⅳ 在宅要介護認定者調査

IV 在宅要介護認定者調査

調査対象者の基本属性

(1) 調査票記入者

この調査票に記入される方はどなたですか（○は1つ）

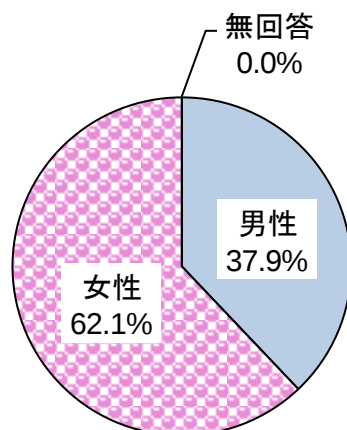


調査票の記入者は、「あて名のご本人(認定調査対象者)」が 14.7%、「主な介護者となっている家族・親族」が 65.5%、「主な介護者以外の家族・親族」が 3.4%となっている。

1 調査対象者(あて名)ご本人について

(1) 性別

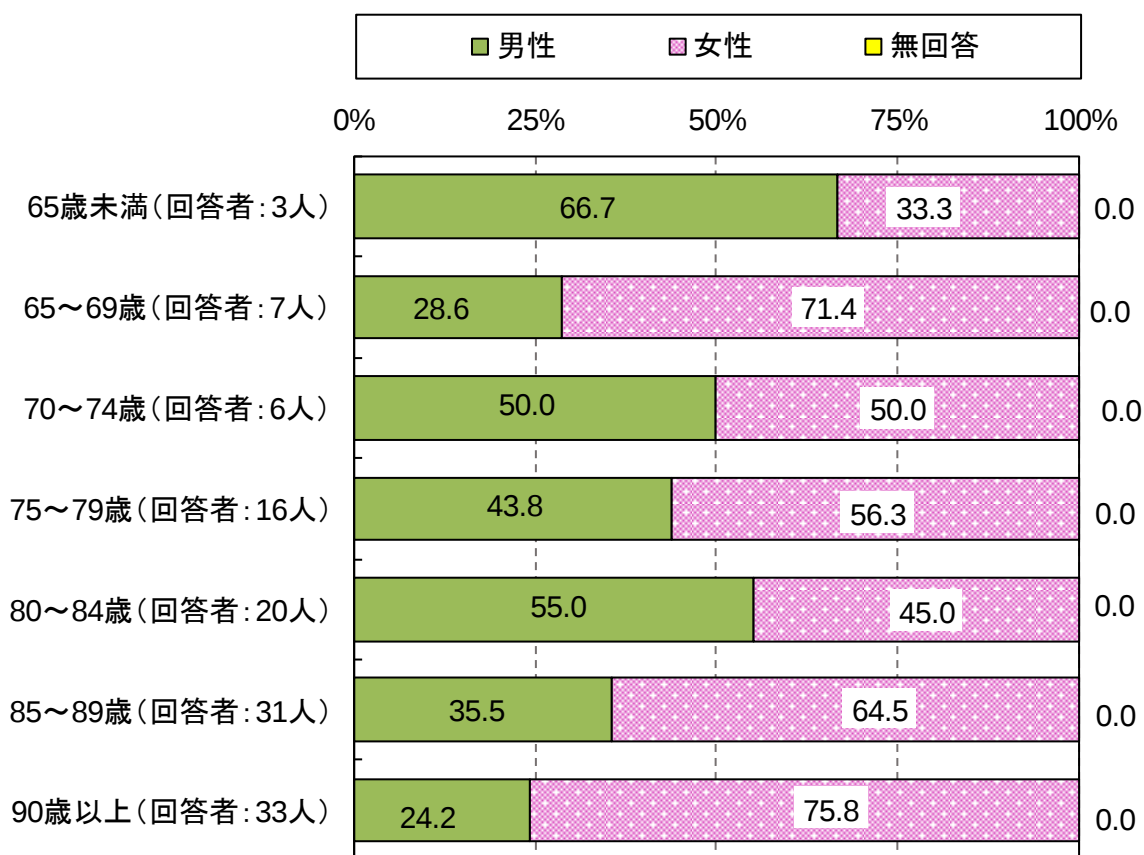
問1 性別は、どちらですか。(○は1つ)



(回答者:116人)

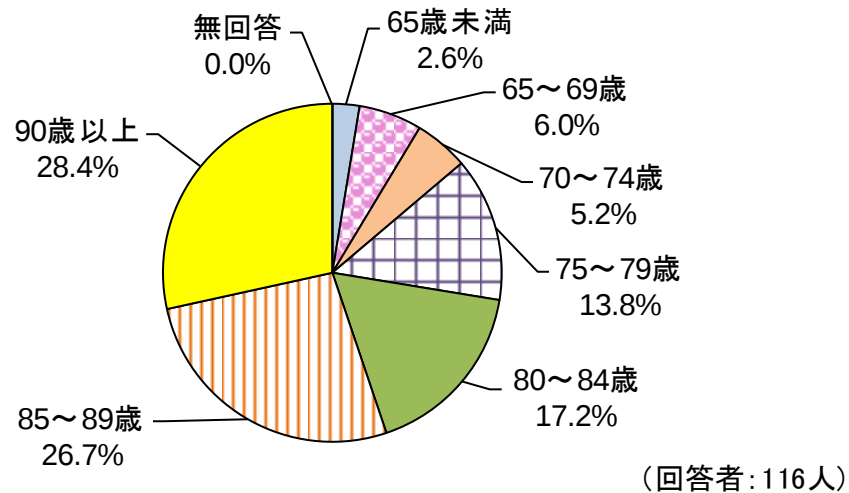
性別は、「男性」が37.9%、「女性」が62.1%となっている。

●年齢別男女比



(2) 年齢

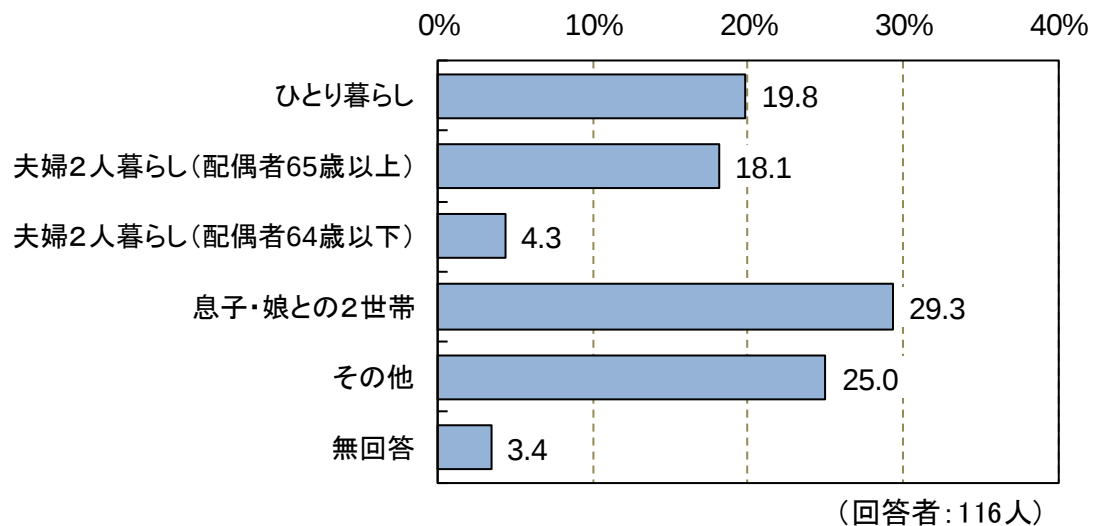
問2 令和2年1月1日現在、年齢はおいくつですか。



年齢は、「90歳以上」が28.4%で最も多く、次いで「85～89歳」(26.7%)、「80～84歳」(17.2%)、「75～79歳」(13.8%)、「65～69歳」(6.0%)、「70～74歳」(5.2%)、「65歳未満」(2.6%)となっている。

(3) 世帯構成

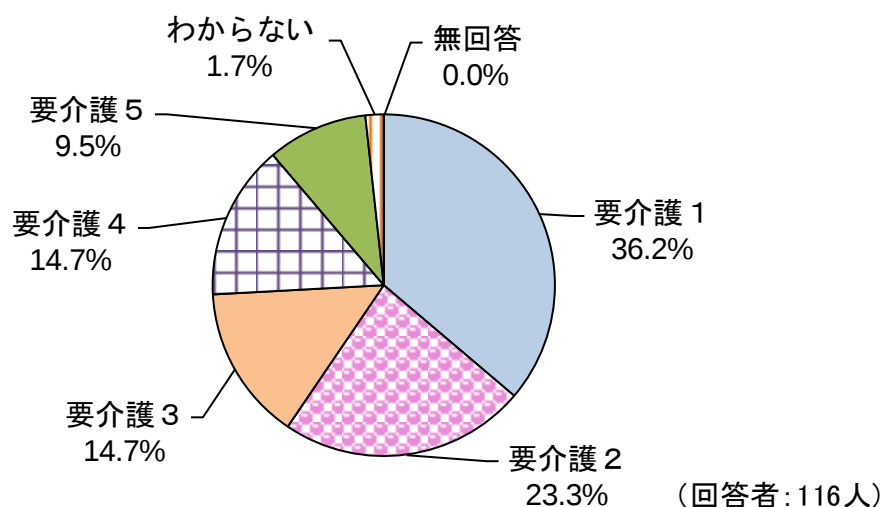
問3 ご家庭の世帯構成は、次のどれですか。(○は1つ)



家族構成は、「息子・娘との2世帯」が29.3%と最も多く、次いで「ひとり暮らし」(19.8%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(18.1%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(4.3%)となっている。

(4) 要介護度

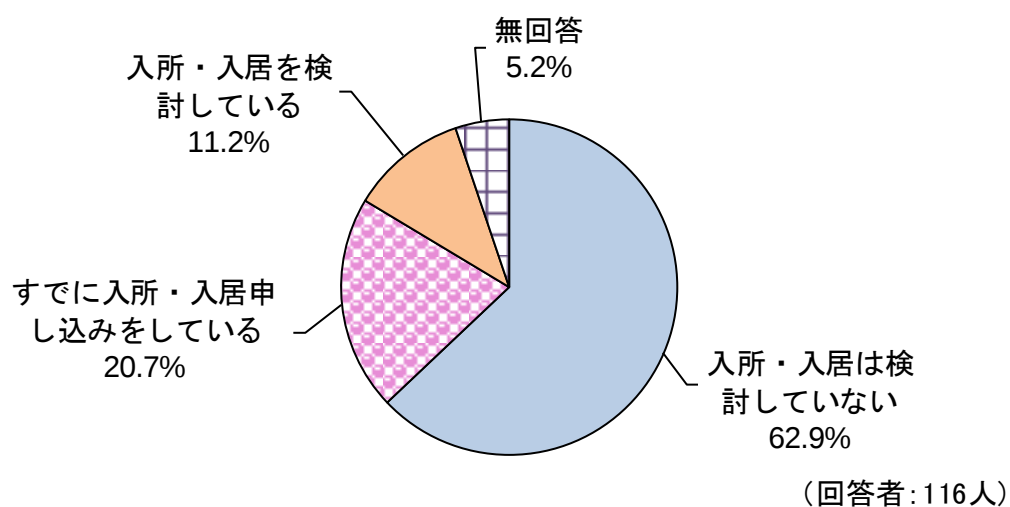
問4 現在の要介護認定の状況（要介護度）は、次のどれですか。（○は1つ）



要介護度は、「要介護1」が36.2%と最も多く、次いで、「要介護2」(23.3%)、「要介護3」、「要介護4」(ともに14.7%)、「要介護5」(9.5%)となっている。

(5) 施設等への入所・入居の検討状況

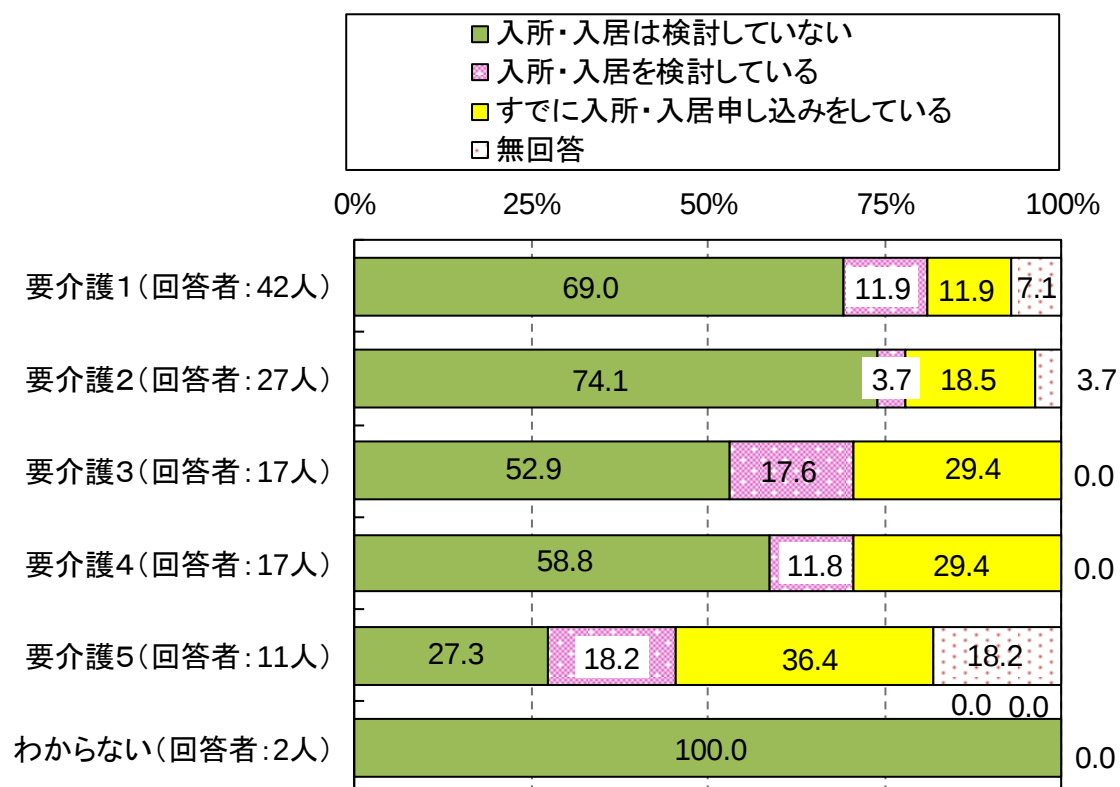
問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（○は1つ）



施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が62.9%と最も多く、次いで「すでに入所・入居申し込みをしている」(20.7%)、「入所・入居を検討している」(11.2%)となっている。

要介護度別では、要介護3～5の約5割に施設等への入所意向がある。

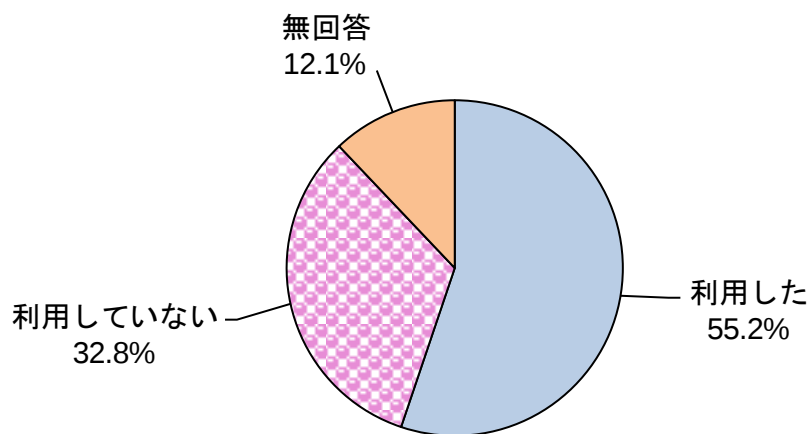
●要介護度別施設等への入所意向



2 介護保険サービスについて

(1) 介護保険サービスの利用有無

問6 令和元年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)



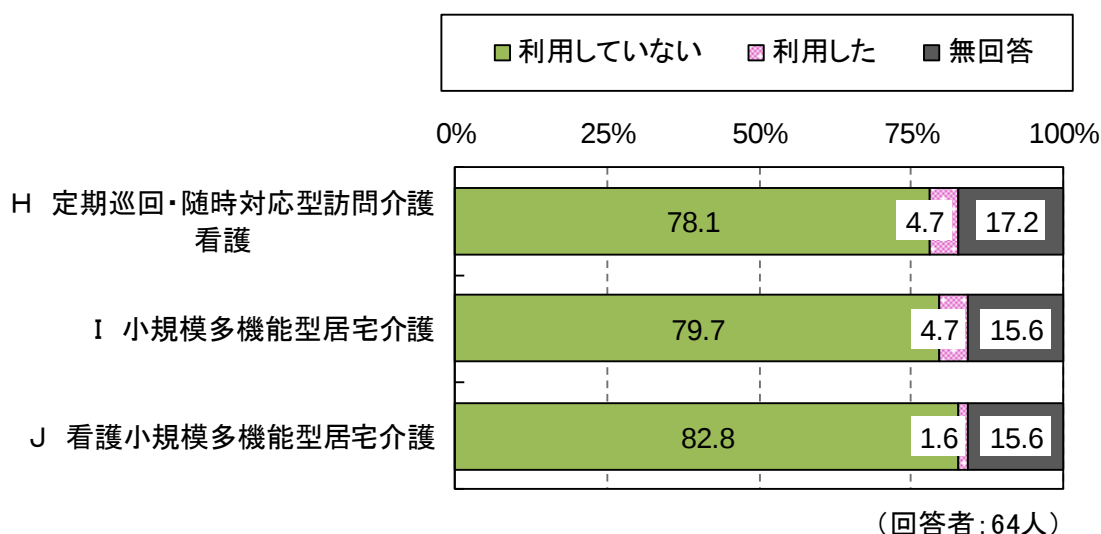
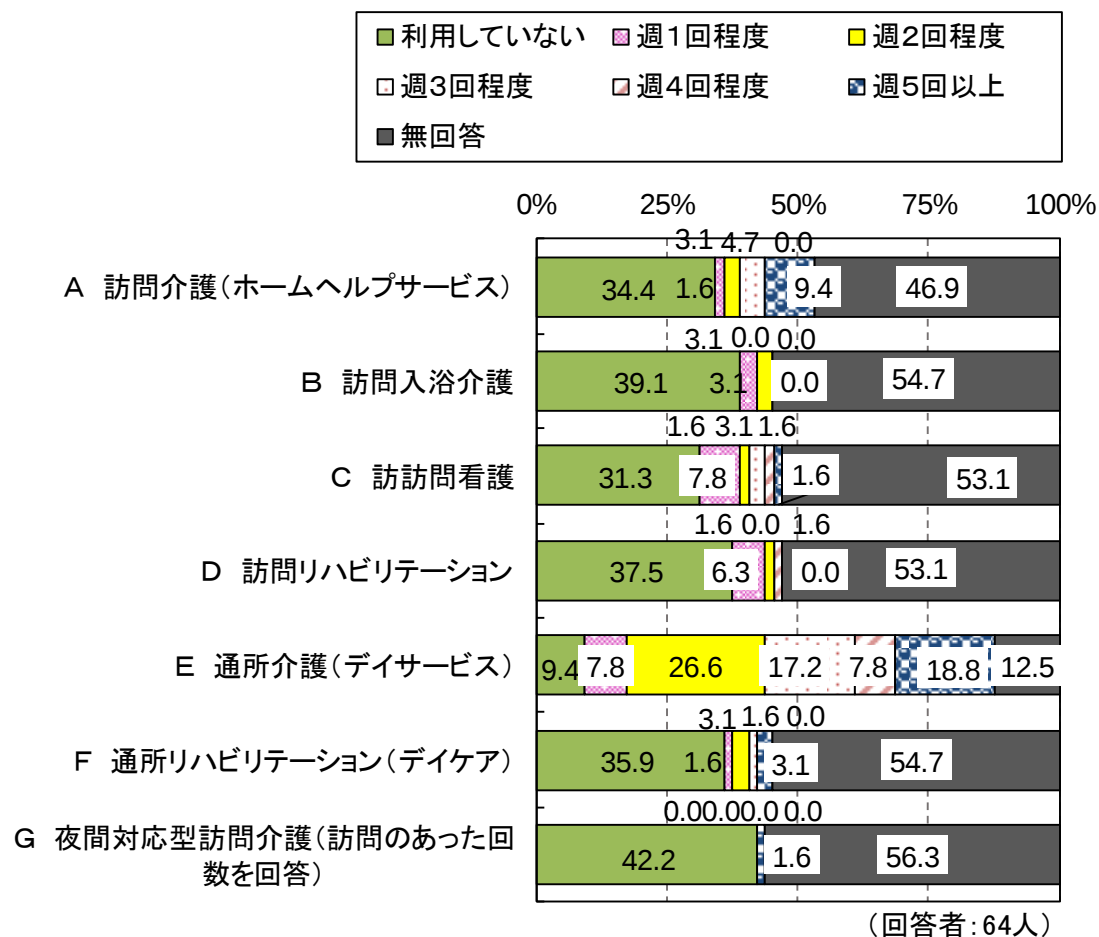
(回答者:116人)

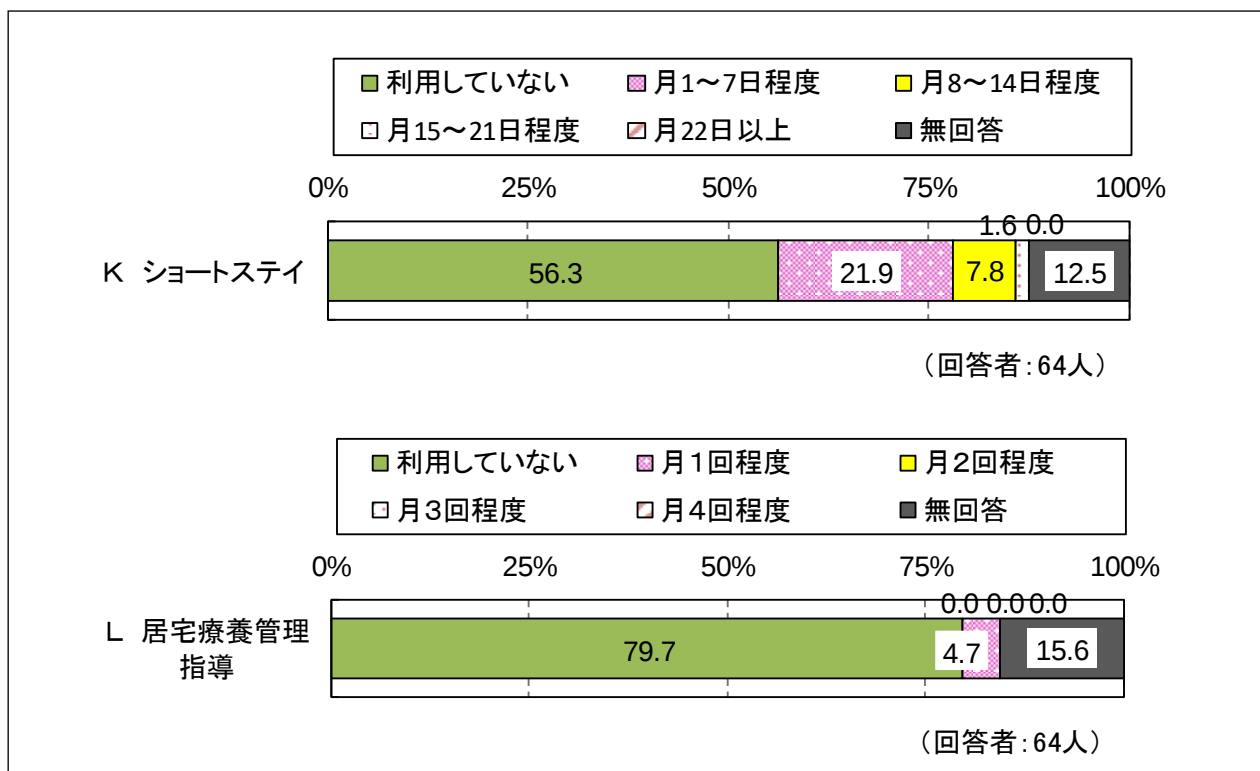
令和元年12月の1か月の間に、介護保険サービスを利用したかは、「利用した」が55.2%、「利用していない」が32.8%となっている。

(2) 介護保険サービスの利用状況

問6で「1 利用した」と回答した方にお聞きします。

問6-1 以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1 利用していない)」を選択してください。(〇はそれぞれ1つずつ)

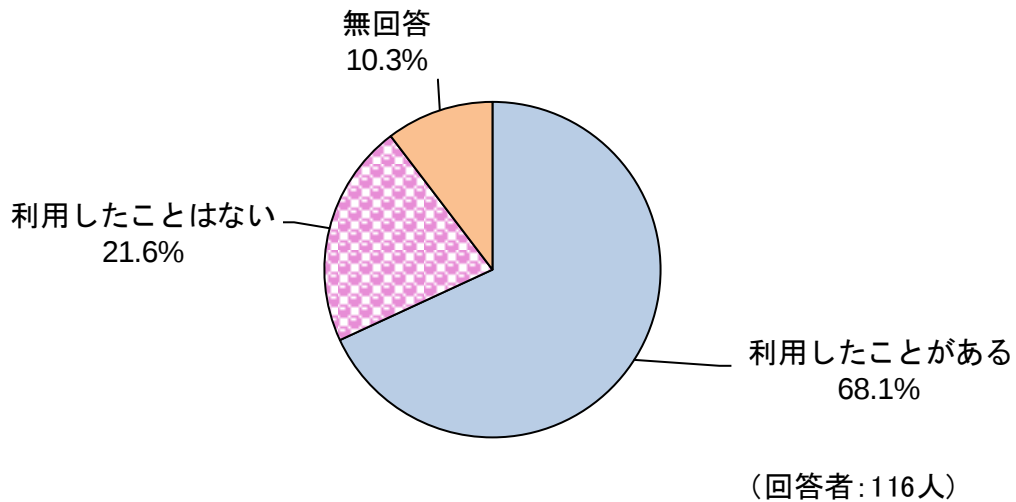




各サービスの利用状況は、上記の通りとなっている。

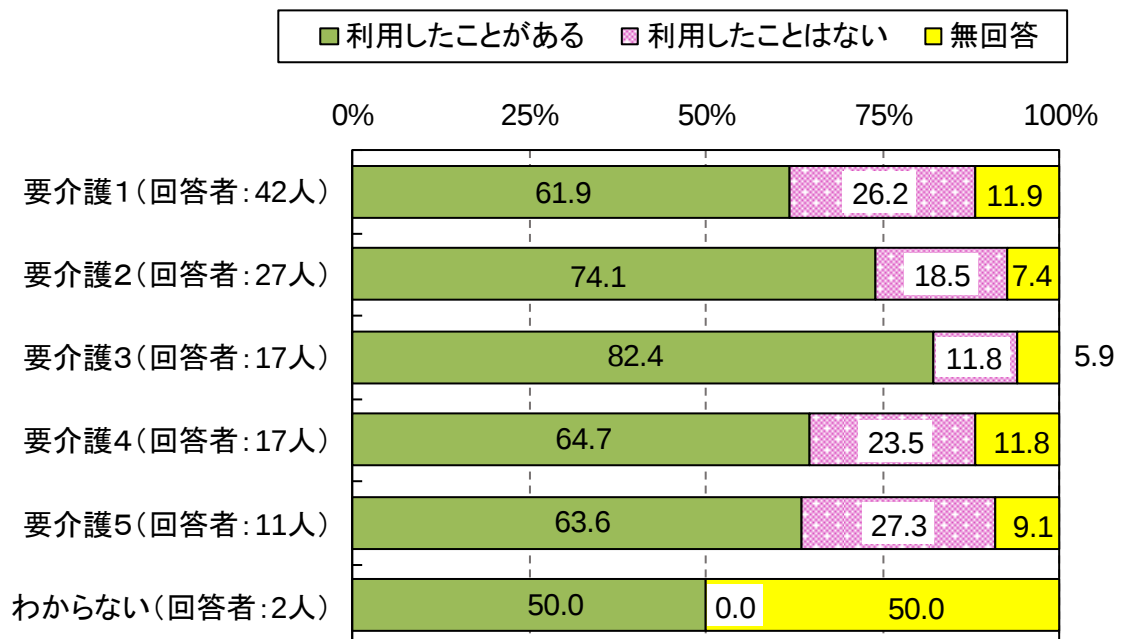
(3) 介護保険サービスの利用経験

問7 それでは、この1か月間に限らず介護保険サービスを利用したことがありますか。
(○は1つ)



介護保険サービスの利用経験は、68.1%が「利用したことがある」と回答している。
要介護度別では、全体的に、6割以上に介護保険サービスの利用経験があり、特に要介護3では8割以上に利用経験がある。

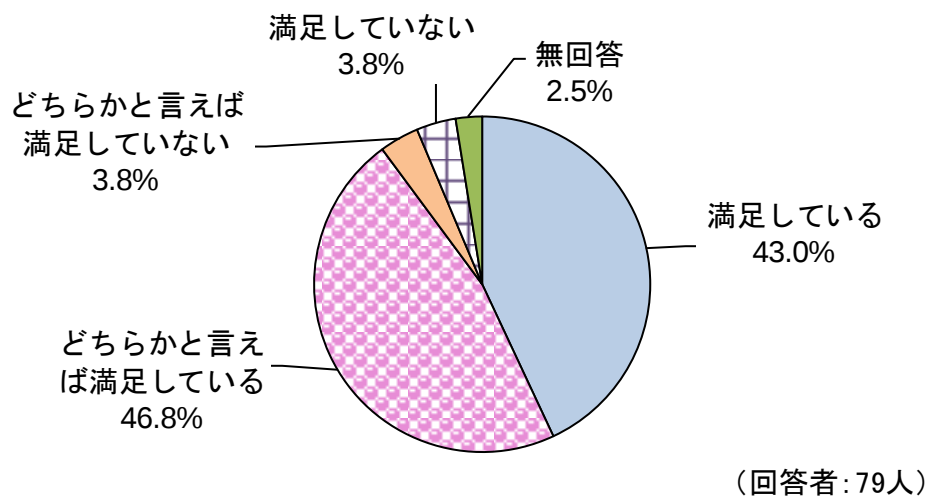
●要介護度別介護保険サービスの利用経験



(4) 介護保険制度全般について

問7-1～問7-2は、問7で「1 利用したことがある」と回答した方にお聞きします。

問7-1 介護保険制度全般についてどのように思いますか。(○は1つ)

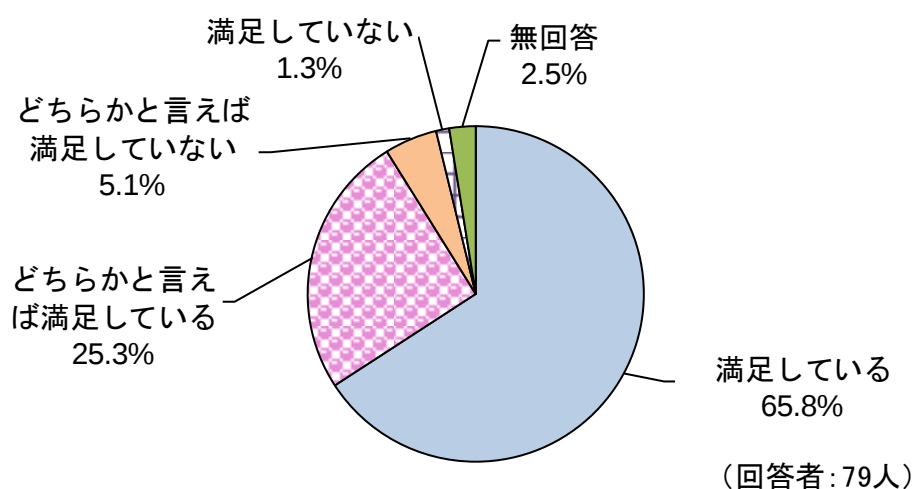


問7で「利用したことがある」と回答した79人に介護保険制度全般についてどのように思うか尋ねると、「満足している」(43.0%)、「どちらかと言えば満足している」(46.8%)で、合わせると、89.8%が満足していると回答している。一方、「満足していない」(3.8%)、「どちらかと言えば満足していない」(3.8%)で、合わせると7.6%が満足していないと回答している。

(5) ケアマネジャーについて

問7-1～問7-2は、問7で「1 利用したことがある」と回答した方にお聞きします。

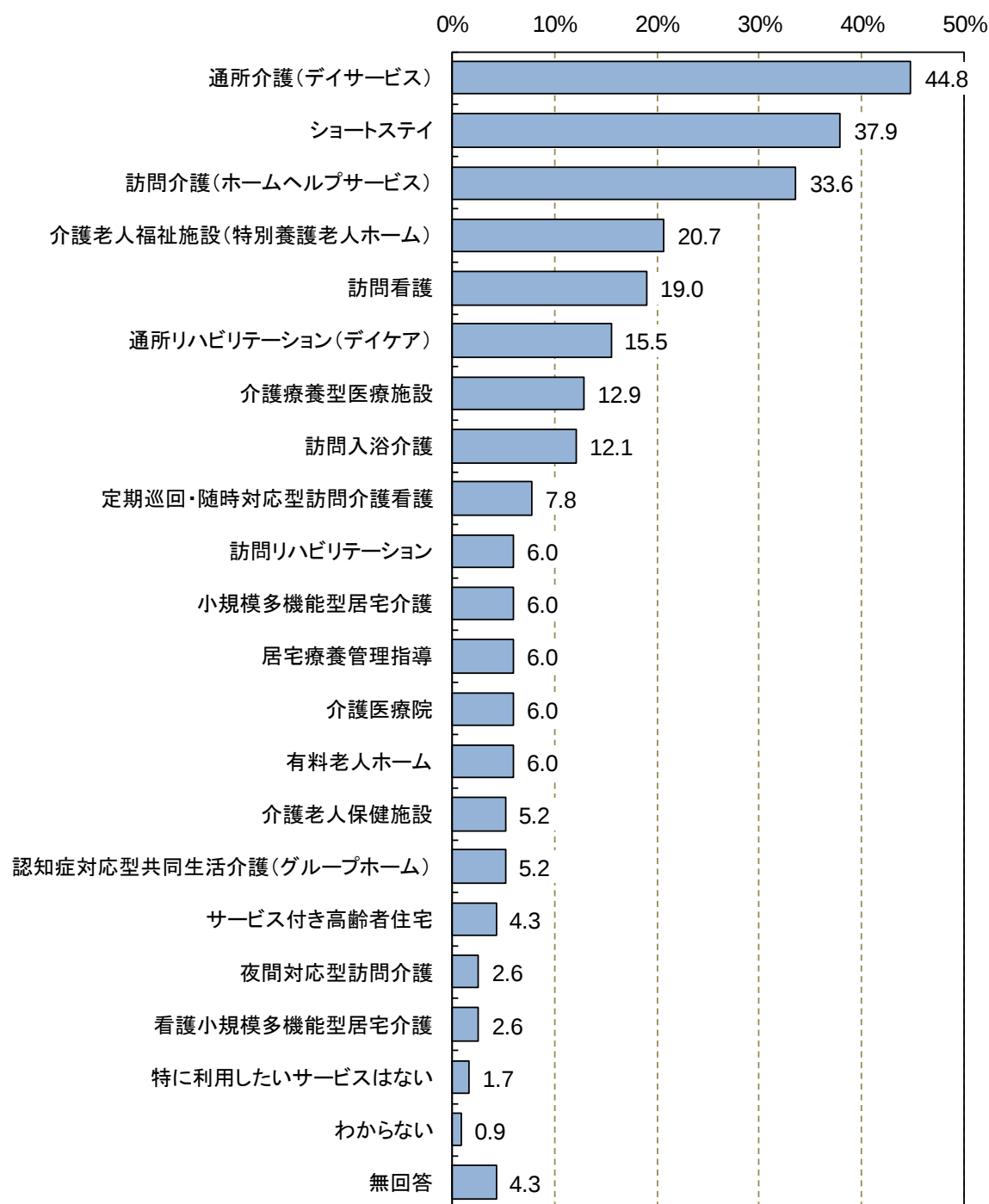
問7-2 あなたは担当のケアマネジャーに満足していますか。(○は1つ)



問7で「利用したことがある」と回答した79人に担当のケアマネジャーに満足しているか尋ねると、「満足している」(65.8%)、「どちらかと言えば満足している」(25.3%)で、合わせると、91.1%が満足していると回答している。一方、「満足していない」(1.3%)、「どちらかと言えば満足していない」(5.1%)で、合わせると6.4%が満足していないと回答している。

(6) 必要な介護保険サービス

問8 これまでの利用状況に限らず、あなたが安心して住み慣れた地域で暮らしていくために、必要と思う介護保険サービスは何ですか。(〇は3つまで)



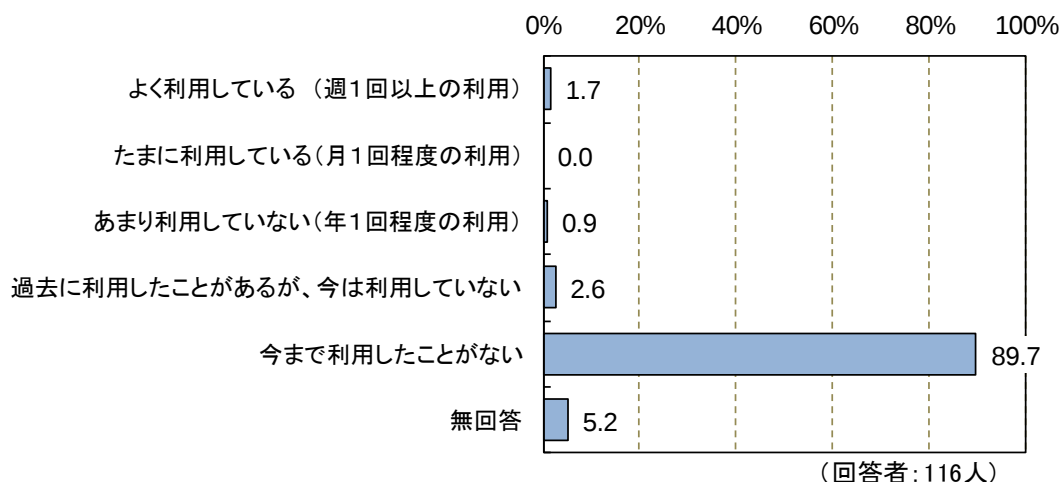
(回答者:116人)

安心して住み慣れた地域で暮らしていくために、必要と思う介護保険サービスは、「通所介護(デイサービス)」が44.8%と最も多く、次いで「ショートステイ」(37.9%)、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」(33.6%)と続いている。

3 老人いきいの家について

(1) 老人いきいの家の利用状況

問9 柏谷にあります「函南町老人いきいの家」についておうかがいします。
あなたはどのくらい「老人いきいの家」を利用していますか。(○は1つ)

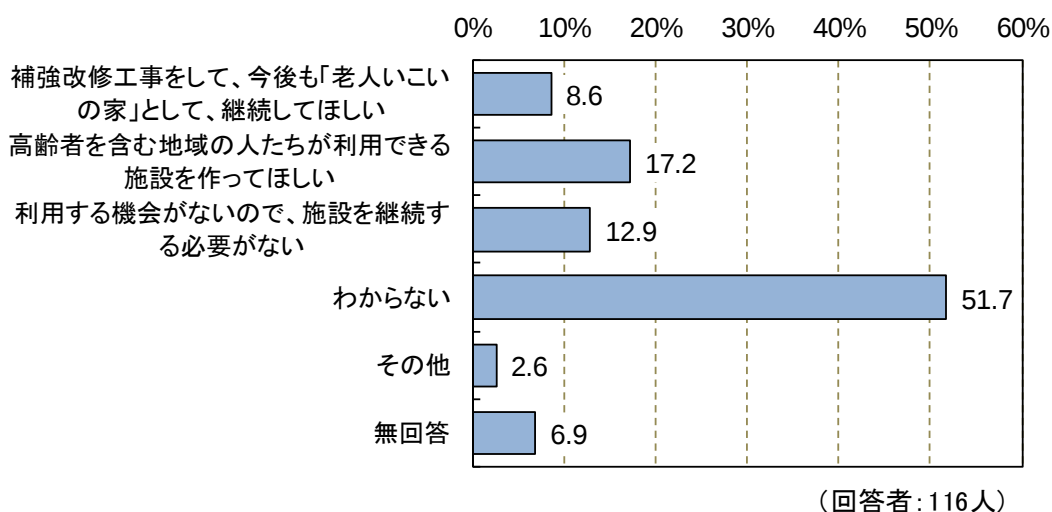


老人いきいの家の利用状況は、89.7%が「今まで利用したことがない」と回答している。

また、利用している方の頻度は、「よく利用している（週1回以上の利用）」(1.7%)、「あまり利用していない（年1回程度の利用）」(0.9%)となっている。

(2) 施設の在り方

問10 「老人いきいの家」は老朽化が進んでおり、今後の施設の在り方についてあなたの考えをご回答ください。(○は1つ)

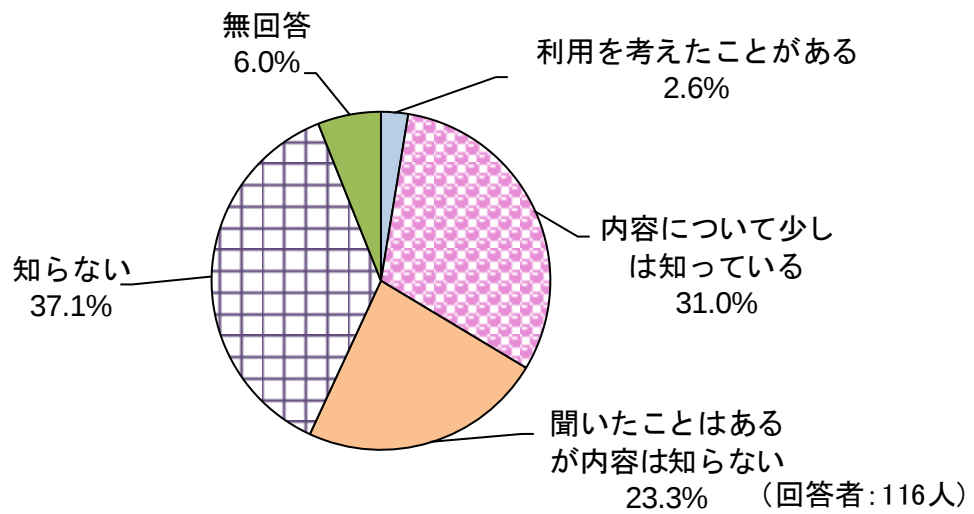


今後の施設の在り方は、51.7%が「わからない」と回答しており、判断しかねている様子が見える。その他、「補強改修工事をして、今後も「老人いきいの家」として、継続してほしい」(8.6%)、「高齢者を含む地域の人たちが利用できる施設を作してほしい」(17.2%)となっている。また、「利用する機会がないので、施設を継続する必要がない」という回答は12.9%となっている。

4 成年後見制度について

(1) 成年後見制度

問 11 成年後見についてご存知ですか。(○は1つ)



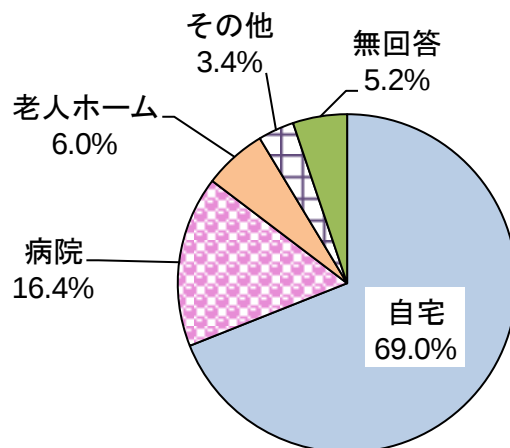
成年後見の認知度は、「利用を考えたことがある」(2.6%)、「内容について少しは知っている」(31.0%)、「聞いたことはあるが内容は知らない」(23.3%)となっている。

また、37.1%は「知らない」と回答している。

5 人生のしまい方について

(1) 人生の最期を迎える場所

問 12 人生の最期をどこで迎えたいですか。(〇は1つ)

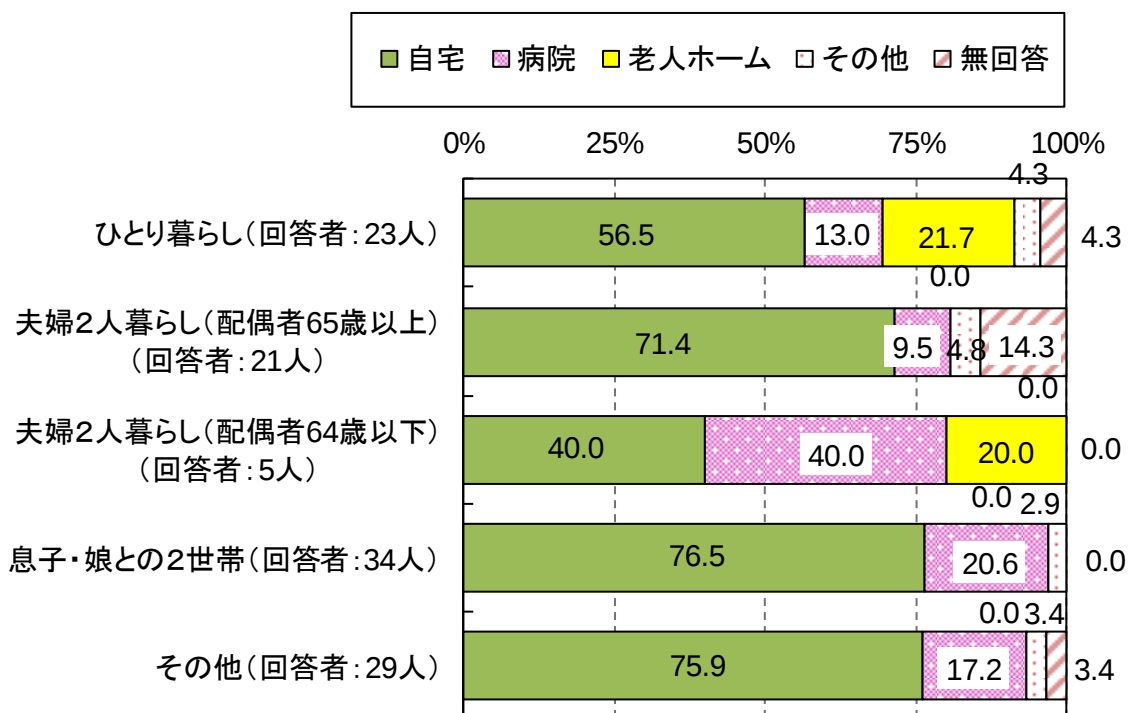


(回答者:116人)

人生の最期をどこで迎えたいかは、69.0%が「自宅」と回答している。その他、「病院」(16.4%)、「老人ホーム」(6.0%)となっている。

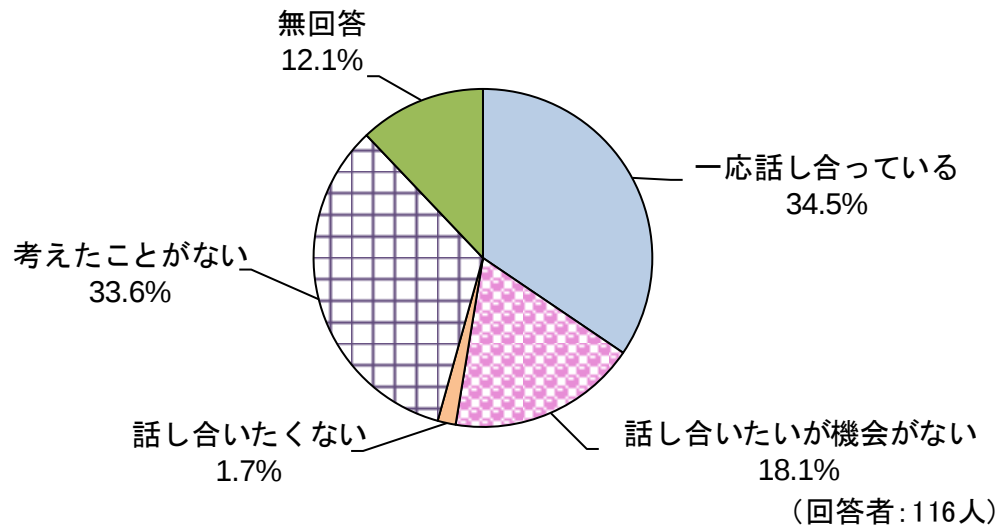
世帯構成別では、全体的には、「自宅」という回答が多いものの、「ひとり暮らし」、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」では、比較的「病院」、「老人ホーム」という回答が多くなっている。

●世帯構成別人生の最期を迎える場所



(2) 人生の最終段階の医療について

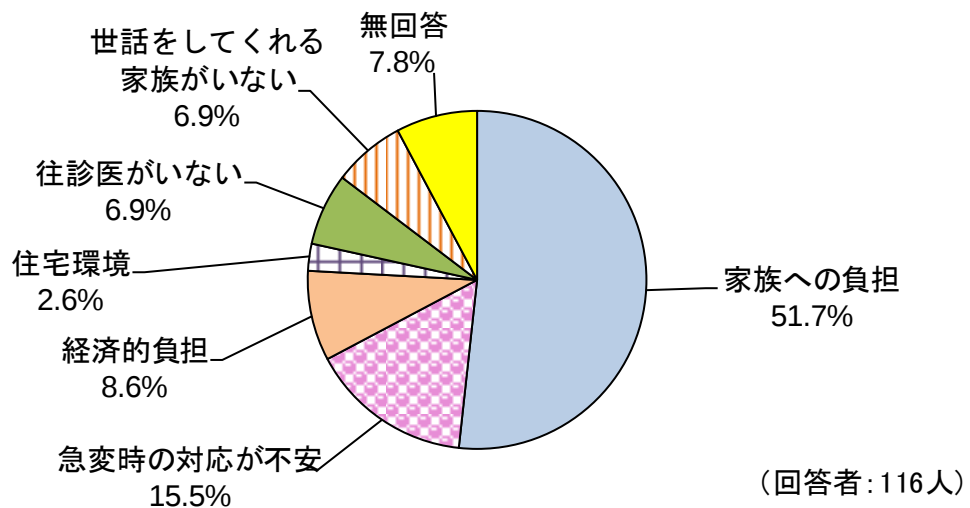
問13 人生の最終段階で受けたい又は受けたくない医療に関する話を家族や医療関係者としたことがありますか。(〇は1つ)



人生の最終段階で受けたい又は受けたくない医療に関する話を家族や医療関係者としたことがあるかは、「一応話し合っている」(34.5%)、「話し合いたいが機会がない」(18.1%)、「話し合いたくない」(1.7%)、「考えたことがない」(33.6%)となっている。

(3) 自宅療養の心配点

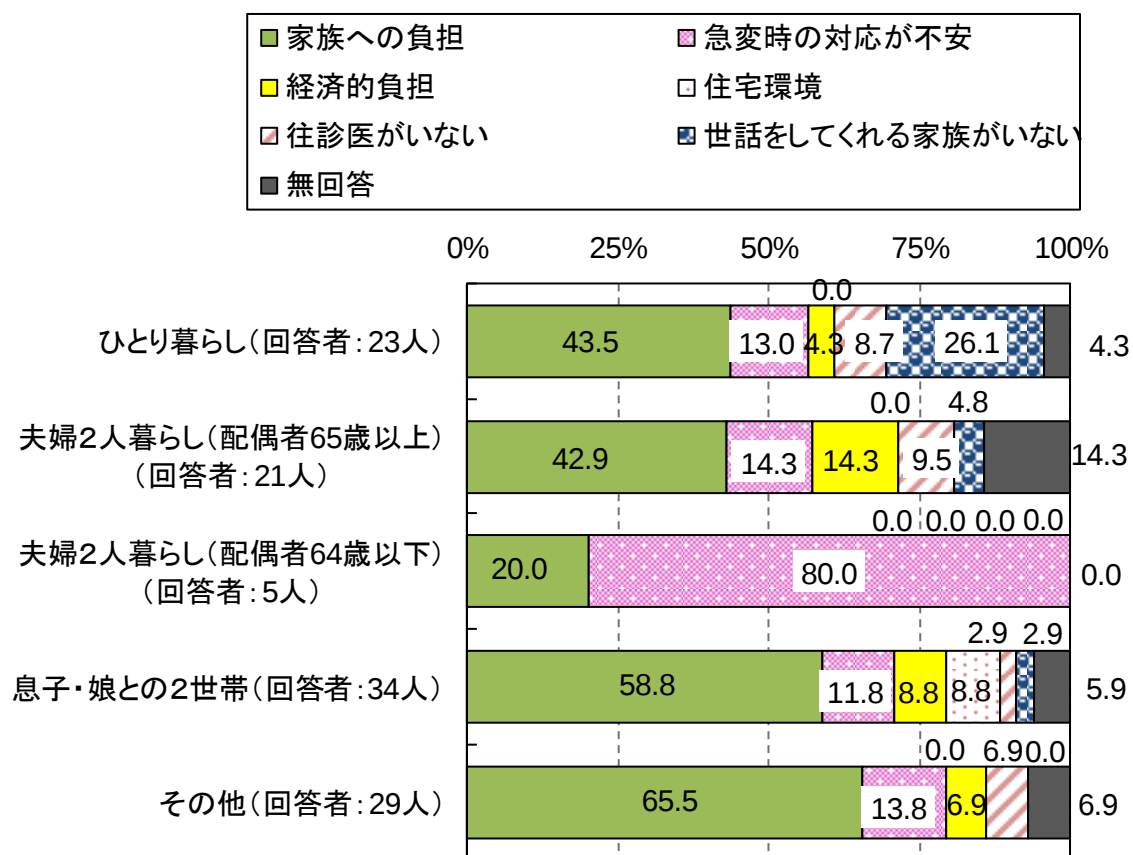
問14 自宅で長期療養する場合の心配は何ですか。(〇は1つ)



自宅で長期療養する場合の心配は、51.7%が「家族への負担」と回答している。その他、「急変時の対応が不安」(15.5%)、「経済的負担」(8.6%)、「住宅環境」(2.6%)、「往診医がない」(6.9%)、「世話をしてくれる家族がいない」(6.9%)となっている。

世帯構成別では、同居の家族がいれば、「家族への負担」、「急変時の対応が不安」という回答が最も多く、「ひとり暮らし」では、「家族への負担」、「世話をしてくれる家族がいない」という回答が比較的多くなっている。

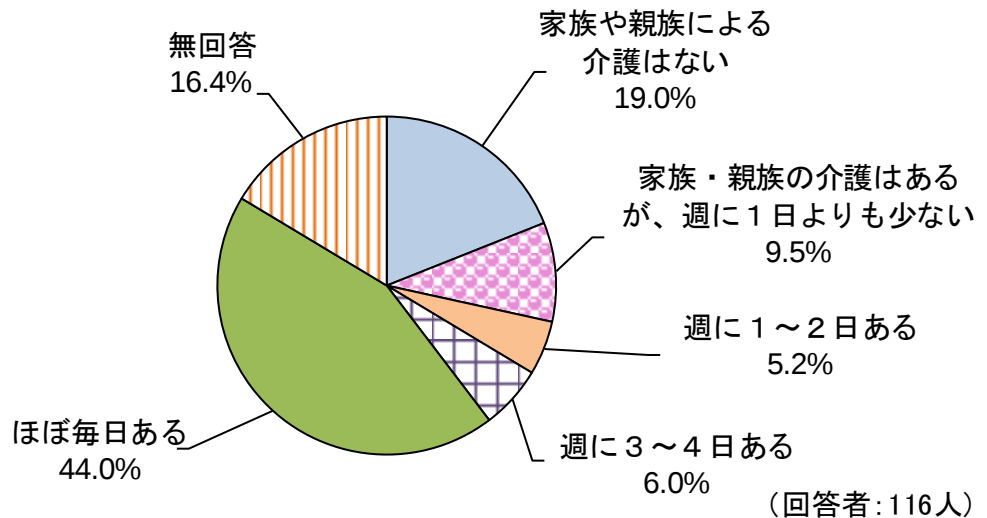
●世帯構成別自宅療養の心配点



6 介護の状況について

(1) ご家族やご親族の方からの介護

問 15 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○は1つ）



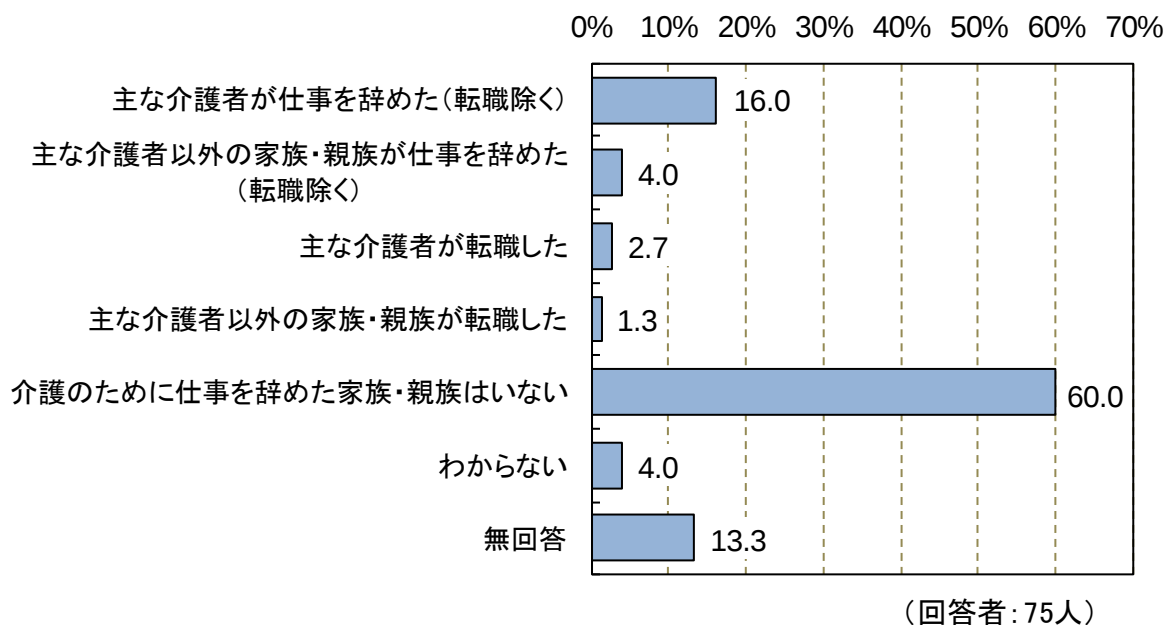
ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいあるかは、「ほぼ毎日ある」が 44.0% となっている。その他、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」(9.5%)、「週に1～2日ある」(5.2%)、「週に3～4日ある」(6.0%) となっており、6割以上が家族や親族からの介護を受けている。

また、19.0%が「家族や親族による介護はない」と回答している。

7 主な介護者について

(1) 介護を主な理由として、過去1年間に退職した方がいるか

問 16 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（○はいくつでも）

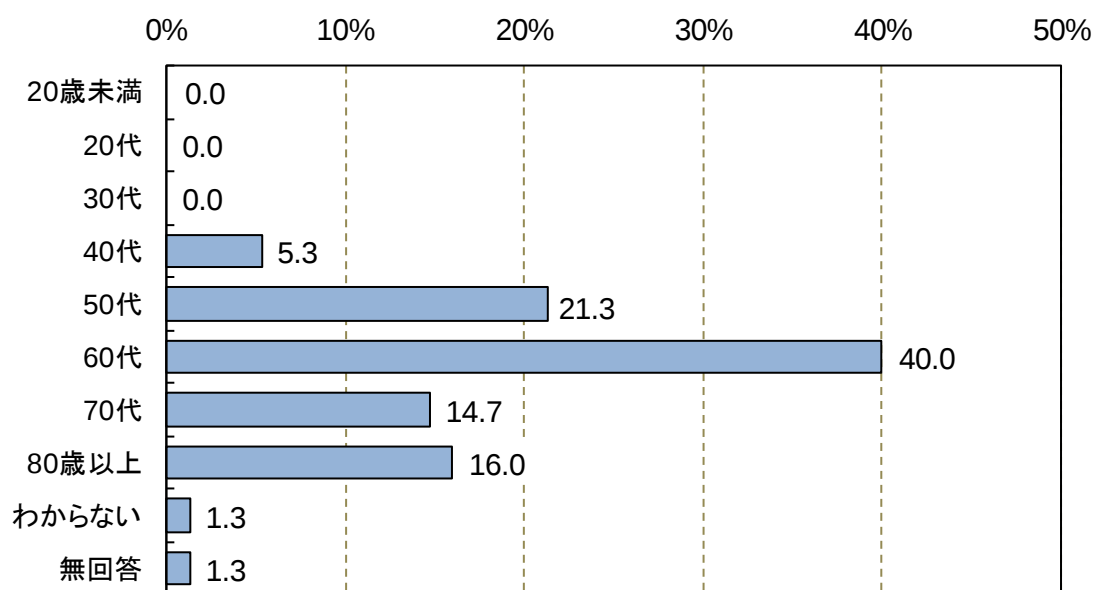


家族や親族の中で、介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかは、60.0%が「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答している。

その他、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（16.0%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（4.0%）、「主な介護者が転職した」（2.7%）、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」（1.3%）となっており、介護を理由として離職や転職した家族や親族が24.0%いる。

(2) 主な介護者の年齢

問 17 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

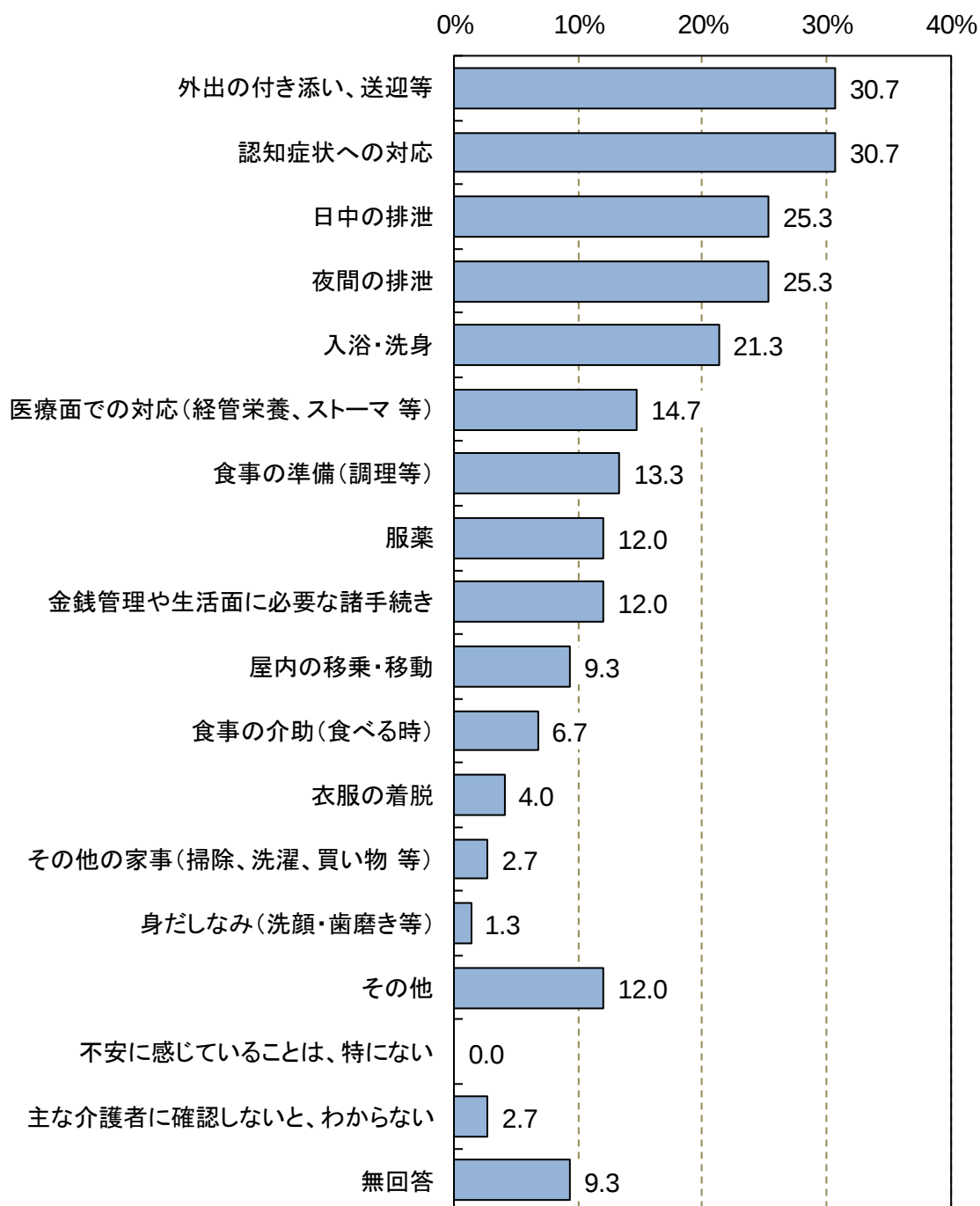


（回答者：75人）

主な介護者の年齢は、「60代」が40.0%で最も多く、次いで「50代」（21.3%）、「80歳以上」（16.0%）と続いている。

(3) 主な介護者の方が不安に感じる介護等

問 18 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）

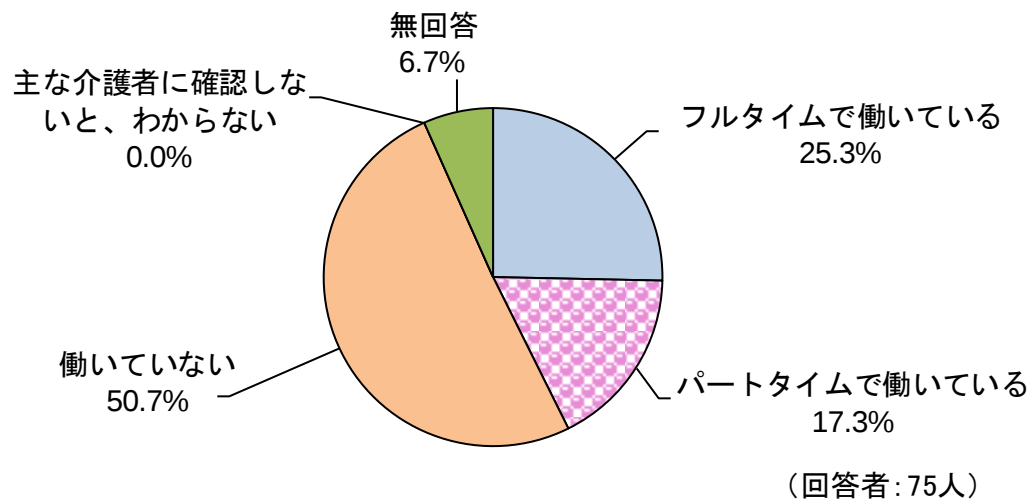


(回答者: 75人)

主な介護者が不安に感じる介護等の内容は、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」がともに 30.7% で最も多く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」(ともに 25.3%)、「入浴・洗身」(21.3%) と続いている。

(4) 主な介護者の方の現在の勤務形態

問 19 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）



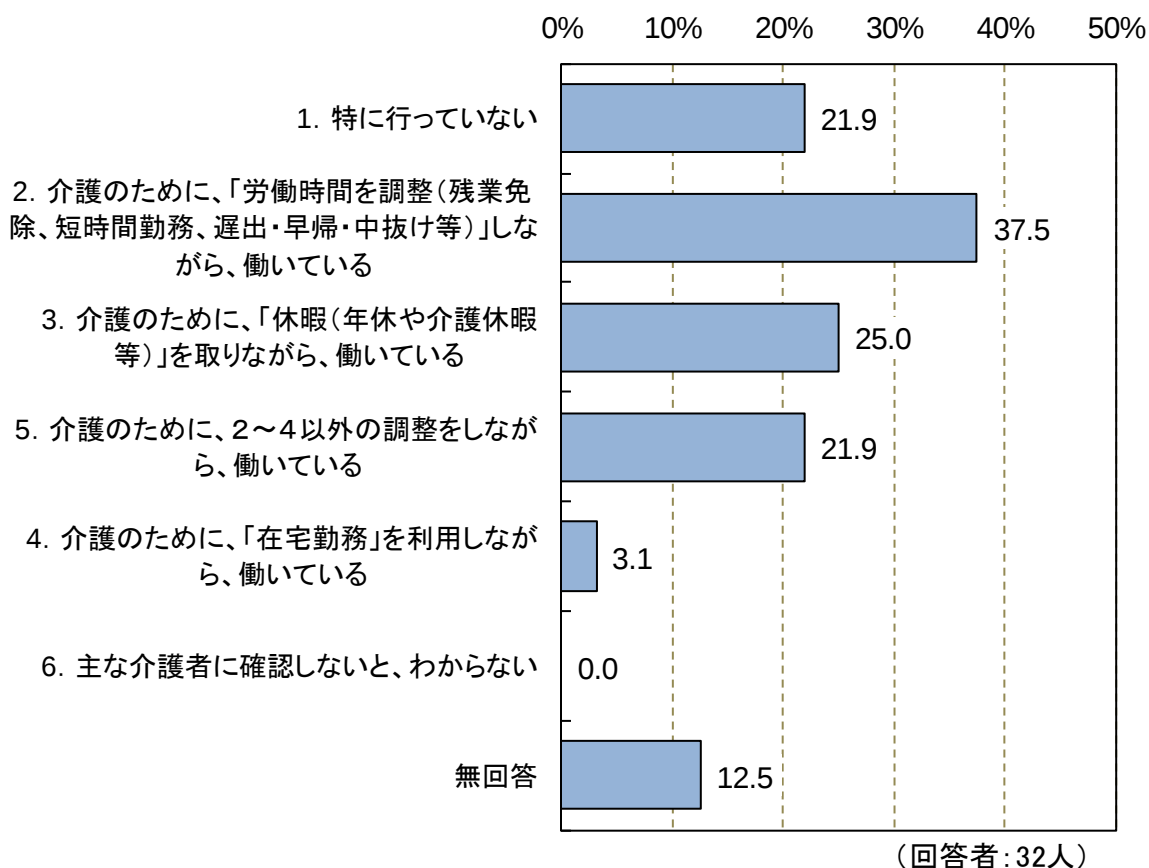
主な介護者の現在の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が 25.3%、「パートタイムで働いている」が 17.3%となっている。

また、50.7%が「働いていない」と回答している。

(5) 介護をするにあたり、働き方についての調整等をしたか

問 19-1～問 19-2 は、問 19 で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。

問 19-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(〇はいくつでも)

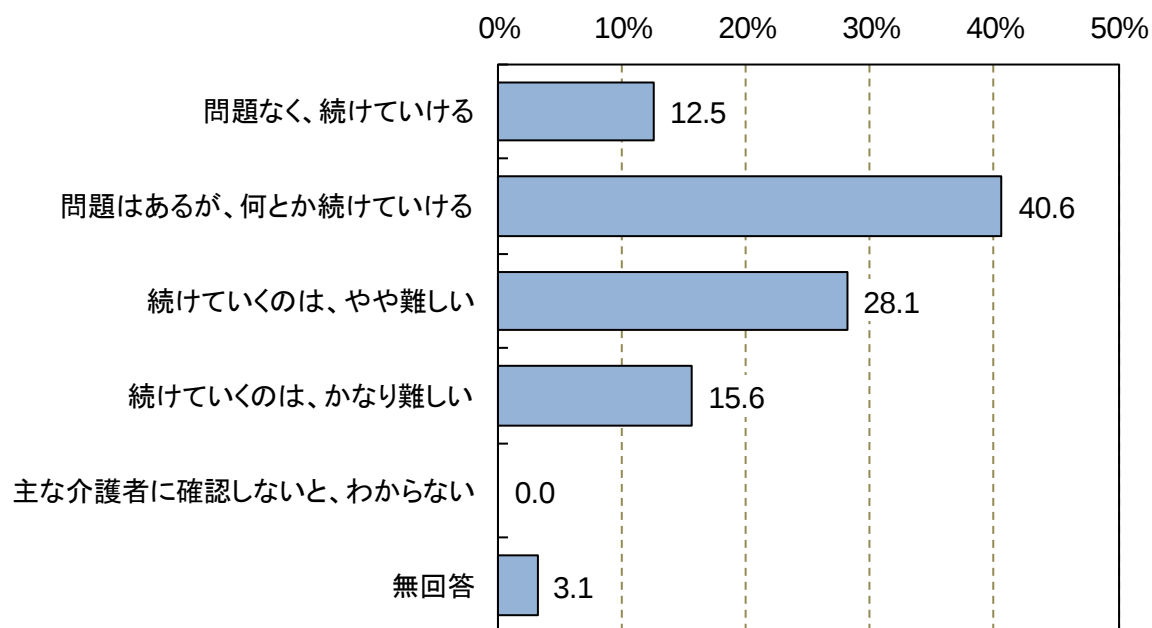


問 19 で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した 32 人に介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしたか尋ねると、「2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が 37.5%と最も多く、次いで「3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」(25.0%)、「5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」(21.9%)、「4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」(3.1%)となっている。

また、21.9%が「1. 特に行っていない」と回答している。

(6) 今後も働きながら介護を続けていけそうか

問 19-2 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は1つ）



(回答者:32人)

問 19 で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した 32 人に、今後も働きながら介護を続けていけそうか尋ねると、「問題なく、続けていける」(12.5%)、「問題はあるが、何とか続けていける」(40.6%) を合わせると 53.1%は続けていけると回答している。

また、「続けていくのは、やや難しい」(28.1%)、「続けていくのは、かなり難しい」(15.6%) を合わせると 43.7%は続けていくのは難しいと回答している。

函南町 高齢者実態調査

調査結果報告書

令和2年3月

発行：函南町役場

企画・編集：福祉課
